

# ソリッドステート メモリーカムコーダー

## 取扱説明書

PXW-Z280V

ソフトウェアバージョン 2.0

お買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。  
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



# 目次

---

## 概要

各部の名称と働き .....	7
本体 .....	7
画面表示 .....	12
液晶画面 / ビューファインダー画面 .....	12
ステータス画面 .....	14

---

## 準備

電源 .....	20
バッテリーパックを使う .....	20
コンセントにつないで使う .....	21
電源を入れる / 切る .....	21
時計を合わせる .....	22
機器を取り付ける .....	22
レンズフードを取り付ける .....	22
大型アイカップを取り付ける .....	22
画面を調節する .....	23
液晶画面を調節する .....	23
ビューファインダーを調節する .....	23
アサイナブルボタンで液晶画面 / ビューファインダー画面の 明るさを調節する .....	23
SxS メモリーカードを使う .....	24
SxS メモリーカードについて .....	24
SxS メモリーカードを入れる .....	24
SxS メモリーカードを取り出す .....	24
使用する SxS メモリーカードを切り替える .....	24
SxS メモリーカードをフォーマット（初期化）する .....	25
残りの記録可能時間を確認する .....	25
SxS メモリーカードを修復する .....	25
他のメディアを使う .....	26
XQD メモリーカード .....	26
SD カード .....	27

---

## 撮影

基本操作手順 .....	29
撮影手順 .....	29

ズームする	30
フォーカスを調節する	31
撮影中に音声を聞く	32
<b>基本設定を変更する</b>	<b>33</b>
ビデオフォーマット	33
明るさを調節する	33
自然な色合いに調節する (ホワイトバランス)	35
記録する音声を設定する	37
手ぶれ補正	39
タイムデータ	39
<b>便利な機能を使う</b>	<b>40</b>
ダイレクトメニュー操作	40
顔検出 AF	40
カラーバー / 基準音声信号	42
ショットマーク	42
OK/NG/ KEEP フラグ (exFAT、UDF)	42
レックレビュー	43
アサインナブルボタン	43
インターバルレック	44
クリップコンティニューアスレック (exFAT、UDF)	45
ピクチャーキャッシュレック	46
スロー&クイックモーション	46
2 スロット同時記録	47
4K & HD (Sub) 記録	48
ハイダイナミックレンジ (HDR) 撮影	49
フランジバックの自動調整	49
設定データの保存と呼び出し	50
プランニングメタデータ	53
測位情報を取得する (GPS)	56
<b>プロキシー記録をする</b>	<b>57</b>
本機で使用可能な SD カード	57
SD カードをフォーマット (初期化) する	57
残容量を確認する	57
プロキシー記録する	57
プロキシー記録時の設定を変更する	58
記録されるファイルについて	58
ファイルの保存先について	58
ファイル名について	58
プロキシーデータのみ記録する	58
<b>デバイスと LAN 接続する</b>	<b>59</b>
ワイヤレス LAN アクセスポイントモード (Access Point モード) で接続する	59
ワイヤレス LAN ステーションモード (Station モード) で 接続する	61
LAN ケーブルを使用してデバイスと接続する	63

<b>インターネット接続する</b> .....	<b>65</b>
モデムを使用して接続する .....	65
ワイヤレス LAN ステーションモード (Wi-Fi Station モード) で接続する .....	66
LAN ケーブルを使用して接続する .....	66
ネットワーク接続による対応機能一覧 .....	67
<b>ファイルを転送する</b> .....	<b>68</b>
準備する .....	68
ファイルを選んで転送する .....	69
プロキシファイルの自動転送について .....	70
セキュアな FTP 転送を行うには .....	70
<b>映像・音声をストリーミング伝送する</b> .....	<b>71</b>
ストリーミングを開始する .....	71
ストリーミングを停止する .....	72
ネットワーククライアントモードについて .....	72
<b>Web リモコンを使用する</b> .....	<b>76</b>
<b>Web リモコンのメニューについて</b> .....	<b>78</b>
モニタリング映像の設定「Monitoring Settings」 .....	78
ファイル転送先設定「Upload Settings」 .....	78
ファイル転送管理「File Transfer」 .....	79

---

## サムネイル画面

<b>サムネイル画面の構成</b> .....	<b>81</b>
<b>クリップの再生</b> .....	<b>82</b>
記録したクリップを再生する .....	82
選択したクリップ以降のクリップを連続再生する .....	82
再生中にショットマークを追加する (exFAT、UDF) .....	82
再生中の音声を聞く .....	82
<b>クリップ操作</b> .....	<b>83</b>
Thumbnail メニューの操作方法 .....	83
クリップの詳細情報を表示する .....	84
クリップを保護する (exFAT、UDF) .....	85
クリップをコピーする .....	85
クリップを削除する .....	86
フラグを付ける / フラグを削除する (exFAT、UDF) .....	86
フィルタードクリップサムネイル画面で表示するクリップを 絞り込む (exFAT、UDF) .....	87
ショットマークを削除する (exFAT、UDF) .....	87
エッセンスマークサムネイル画面でクリップ (フレーム) を 絞り込む (exFAT、UDF) .....	87
サムネイル画面の情報を変更する .....	88
クリップの代表画を変更する .....	88

---

## 外部機器接続

外部モニターや記録装置を接続する .....	89
外部同期 .....	90
パソコンでクリップを管理・編集する .....	91
USB ケーブルを使って接続する .....	91
外付け HDD / USB メディアを接続する .....	92

---

## メニュー表示と詳細設定

セットアップメニューの構成と階層 .....	95
セットアップメニューの階層 .....	95
セットアップメニューの操作方法 .....	97
User メニューの編集 .....	99
セットアップメニュー一覧 .....	101
User メニュー .....	101
Edit User Menu .....	101
Camera メニュー .....	102
Paint メニュー .....	106
Audio メニュー .....	113
Video メニュー .....	114
LCD/VF メニュー .....	115
TC/UB メニュー .....	119
Recording メニュー .....	119
Thumbnail メニュー .....	122
Media メニュー .....	123
File メニュー .....	126
Network メニュー .....	127
System メニュー .....	133

---

## 付録

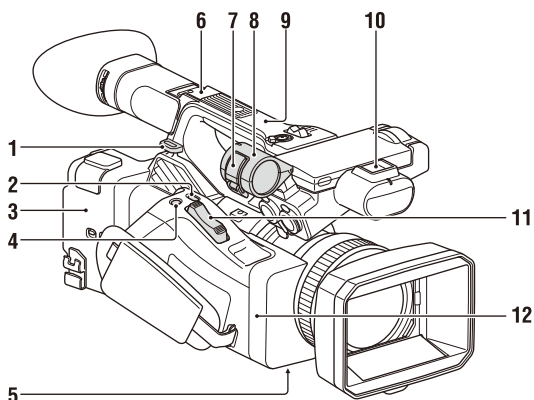
使用上のご注意 .....	139
海外で使う .....	139
ビデオフォーマットについて .....	144
記録メディアについて .....	144
特殊記録の対応 .....	145
クリップの最大記録時間 .....	145
出力のフォーマットと制限 .....	146
ビデオフォーマットと出力信号 .....	146
ネットワークと映像出力の組み合わせ .....	150
記録機能間の制約 .....	150


<b>All File/Scene File に保存される項目 .....</b>	<b>151</b>
Camera .....	151
Paint .....	152
Audio .....	155
Video .....	155
LCD/VF .....	155
TC/UB .....	158
Recording .....	158
Thumbnail .....	158
Media .....	159
File .....	160
Network .....	160
System .....	163
<b>トラブル時の対処 .....</b>	<b>165</b>
電源 .....	165
記録・再生 .....	165
外部機器 .....	166
ワイヤレス LAN 使用時 .....	166
インターネット接続 .....	166
ND フィルターダイヤルについて .....	167
<b>エラー / 警告表示 .....</b>	<b>168</b>
エラー表示 .....	168
警告表示 .....	168
注意・動作確認表示 .....	169
<b>ブロックダイアグラム .....</b>	<b>172</b>
<b>保証書とアフターサービス .....</b>	<b>175</b>
保証書 .....	175
アフターサービス .....	175
<b>主な仕様 .....</b>	<b>175</b>
一般仕様 .....	175
レンズ .....	177
カメラ部 .....	177
ワイヤレス LAN .....	178
入出力 .....	178
表示部 .....	178
内蔵マイク .....	179
メディアスロット部 .....	179
付属品 .....	179
<b>索引 .....</b>	<b>181</b>

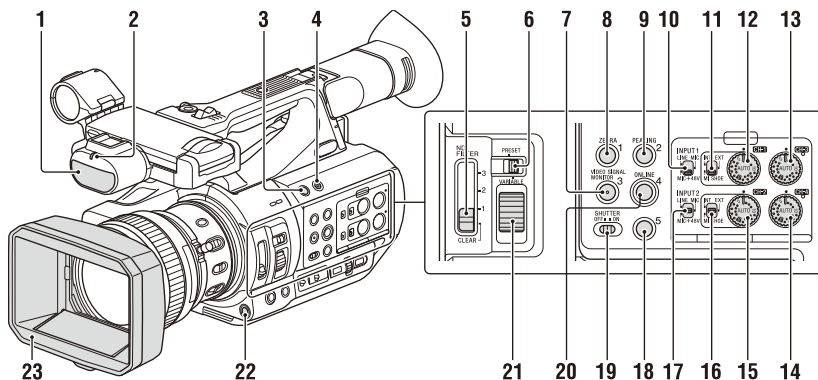
## 各部の名称と働き

◆それぞれの機能・使いかたについて詳しくは、( ) 内のページをご覧ください。

### 本体

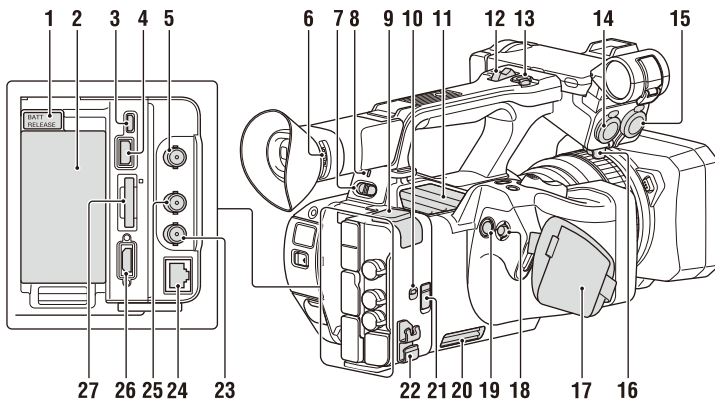


- |  |   |
|--|---|
| <p>1. ショルダーストラップ取り付け部 (10)</p> <p>2. ASSIGN7ボタン/DIRECT MENUボタン (43)</p> <p>3.  (Nマーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• NFC機能搭載のスマートフォンと本機を無線接続するときにタッチします。一部のおサイフケータイ対応のスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。</li> <li>• NFC (Near Field Communication) は近距離無線通信技術の国際標準規格です</li> </ul> <p>4. ASSIGN8ボタン/FOCUS MAGボタン</p> <p>5. ZOOMスイッチ (底面) (30)</p> <p>6. マルチインターフェースシュー (Rear)</p> <p><b>ni</b> Multi<br/>Interface Shoe</p> <p>マルチインターフェースシュー対応アクセサリーについては販売店にお問い合わせください。</p> <p>7. マイク固定用クランパー</p> <p>8. マイクホルダー (38)</p> <p>9. GPSアンテナ</p> | <p>10. マルチインターフェースシュー (Front)</p> <p>11. ズームレバー (30)</p> <p>12. Wi-Fiアンテナ</p> |
|--|---|



1. 内蔵マイク (37)
2. 記録/タリーランプ (Front) (137)  
記録メディアやバッテリー残量が少なくなると点滅します。
3. ASSIGN6ボタン
4. FULL AUTOボタン (29)
5. ND FILTERスイッチ
6. ND FILTERモード切り替えスイッチ
7. ASSIGN3ボタン/VIDEO SIGNAL MONITORボタン
8. ASSIGN1ボタン/ZEBRAボタン
9. ASSIGN2ボタン/PEAKINGボタン
10. INPUT1スイッチ (37)
11. CH1 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ (37)
12. AUDIO LEVEL (CH1) ダイアル (37)
13. AUDIO LEVEL (CH3) ダイアル
14. AUDIO LEVEL (CH4) ダイアル
15. AUDIO LEVEL (CH2) ダイアル
16. CH2 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ
17. INPUT2スイッチ (37)
18. ASSIGN5ボタン
19. SHUTTERスイッチ
20. ASSIGN4ボタン/ONLINEボタン
21. NDコントロールダイヤル
22. WB SETボタン
23. レンズカバー付きフード (22)





1. BATT RELEASEボタン (20)
2. バッテリーバック装着部 (20)
3. マルチ/マイクロUSB端子 (91)
4. USB3.0 (HOST) 端子 (Aタイプ)
5. SDI OUT端子 (89)
6. 視度調節ダイヤル (23)
7. 電源スイッチ (21)  
I : ON  
⏻ : STANDBY
8. 電源ランプ
9. USB2.0 (HOST) 端子 (Aタイプ) (65)
10. IN/OUT (入出力切り替え) スイッチ
11. 排気口  
**ご注意**
  - 排気口周辺は、高温になるおそれがあります。
  - 排気口をふさがないでください。
12. ハンドルズームレバー (30)
13. ハンドル録画ボタン  
HOLD位置にするとハンドル録画ボタンが効かなくなります。
14. AUDIO INPUT1端子 (37)
15. AUDIO INPUT2端子 (37)
16. ケーブルホルダー  
マイクケーブルなどを固定するときに使います。
17. グリップベルト
18. マルチセレクター (▲/▼/◀/▶/SETボタン)
19. 録画ボタン (29)
20. 吸気口

**ご注意**

- 吸気口をふさがないでください。

**21. REMOTE端子**

REMOTE端子は、ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、録画のスタート/ストップなどをコントロールできるようにした端子です。

**22. ケーブルクランパー**

**ご注意**

- ケーブル保持以外の用途には使用しないでください。

**23. GENLOCK IN/VIDEO OUT端子**

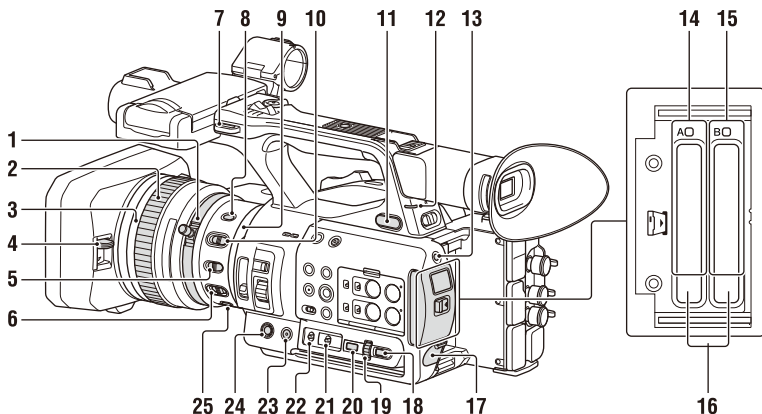
**24. 有線LAN端子**

**25. TC IN/OUT端子**

**26. HDMI OUT端子 (89)**

**27. UTILITY SD/MSスロット/アクセスランプ**

プロキシー記録、設定内容の保存・読み出し (File機能) と、バージョンアップ (ソフトウェアアップデート) 時に使用します。



### 1. ズームリング (31)

#### ご注意

- 電源スイッチをONにしてからレンズの初期動作が完了するまで動かさないでください。フォーカスが合わなくなります。

### 2. フォーカスリング (31)

### 3. Full MFスイッチ (31)

フォーカスリングを前後に動かすことで、ON/OFFが切り替わります。

### 4. レンズカバーレバー (22)

レンズカバーを開閉します。

### 5. MACROスイッチ (32)

### 6. FOCUSスイッチ (31)

### 7. ショルダーストラップ取り付け部

### 8. STEADY SHOTボタン (39)

### 9. アイリスリング (33)

### 10. IRISスイッチ (33)

### 11. $\phi$ (ヘッドホン) 端子

ヘッドホンを使うときは、ステレオミニジャックのものを使ってください。

### 12. 記録/タリーランプ (Rear) (137)

記録メディアやバッテリー残量が少なくなると点滅します。

### 13. SLOT SELECTボタン

### 14. SxSメモリーカード Aスロット/アクセスランプ (24)

### 15. SxSメモリーカード Bスロット/アクセスランプ (24)

### 16. EJECTボタン

押すとEJECTボタンが飛び出します。もう一度押し込むとカードが取り出せます。

#### ご注意

- 記録中にEJECTボタンを押すと、記録が停止します。

### 17. DC IN端子

### 18. CANCEL/BACKボタン (97)

### 19. SEL/SETダイヤル (97)

### 20. MENUボタン (97)

ボタンに凸バー (突起) が付いています。操作の目印としてお使いください。

### 21. WHT BALスイッチ (36)

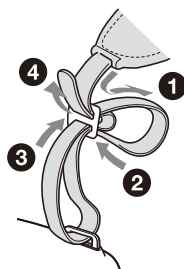
### 22. GAINスイッチ (34)

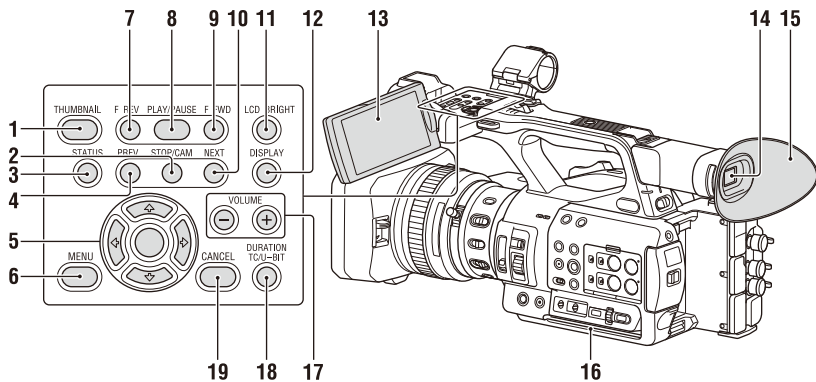
### 23. ASSIGN10ボタン/IRIS PUSH AUTOボタン

### 24. ASSIGN9ボタン

### 25. FOCUS PUSH AUTOボタン (31)

ショルダーストラップを取り付けるにはショルダーストラップ取り付け部に図のように取り付けてください。





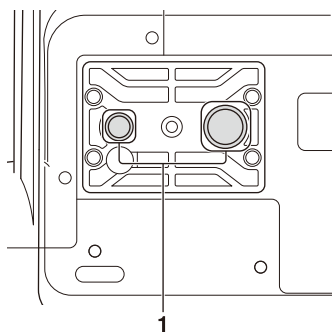
1. THUMBNAILボタン (81)
2. STOPボタン (82)
3. STATUS CHECKボタン (14)
4. PREVボタン (82)
5. 4/2/1/2/4/SETボタン (97)
6. MENUボタン (97)
7. F REVボタン (82)
8. PLAY/PAUSEボタン (82)
9. F FWDボタン (82)
10. NEXTボタン (82)
11. LCD BRIGHTボタン (23)
12. DISPLAYボタン (12)
13. 液晶画面 (23)
14. ビューファインダー (23)
15. 大型アイカップ
16. 吸気口

#### ご注意

- 吸気口をふさがらないでください。

17. VOLUMEボタン (32)
18. DURATION/TC/U-BITボタン (39)
19. CANCEL (キャンセル) ボタン (97)

#### 底面



1. 三脚用ネジ穴 (1/4インチ、3/8インチ)  
1/4-20UNC、3/8-16UNCのネジに対応  
三脚 (別売、ネジの長さ5.5mm以下) を  
取り付けます。

# 画面表示

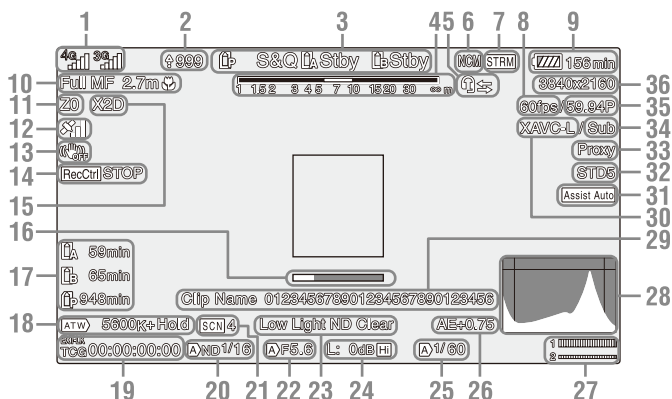
## 液晶画面/ビューファインダー画面

撮影中（記録中/記録待機中）および再生中は、液晶画面/ビューファインダー画面の映像に本機の状態や設定が重ねて表示されます。

表示/非表示の切り替えは、DISPLAYボタンで行います。

また、項目ごとに表示/非表示を選択することもできます（117ページ）。

### 撮影中の画面に表示される情報



#### 1. ネットワーク状態表示（14ページ）

ネットワーク接続の状態がアイコンで表示されます。

#### 2. アップロード中表示/転送ファイル残数表示

#### 3. 記録モード/スロットA/B/動作状態表示

●Rec	記録中
Stby	記録待機中

#### 4. 被写界深度表示

#### 5. インカム表示（14ページ）

インカム接続の状態がアイコンで表示されます。

#### 6. ネットワーククライアントモード状態表示

ネットワーククライアントモード時の接続状態を表示します。

#### 7. ストリーミング状態表示

#### 8. スロー&クイックモーション撮像フレームレート表示

#### 9. バッテリー残量/DC IN電圧表示

#### 10. フォーカスモード表示（40ページ）

Full MFモード	Full MF
MFモード	MF
AFモード	AF
顔検出AF (AF/☒/Only/☼/☒)	
顔検出アイコン	☒
顔限定AFアイコン	Only
登録顔ありアイコン	☼
顔限定AF中のAF一時停止アイコン <sup>a)</sup>	☒

a) 顔が登録されていない状態で顔が検出されないとき、または顔が登録されているが登録顔が検出されないときに表示されます。

### ご注意

- 被写界深度の数値は目安です。

11. **ズームポジション表示**  
ズームの位置が0（広角端）～99（望遠端）の範囲で表示されます。
12. **GPS状態表示**
13. **手ぶれ補正モード表示**
14. **SDI出力/HDMI出力のRec Control状態表示**  
LCD/VFメニューのDisplay On/OffのSDI/HDMI Rec Controlと、VideoメニューのSDI/HDMI Rec ControlのSettingがともにOnのときに表示されます。
15. **デジタルエクステンダー表示**
16. **フォーカスアシスト表示**

### ご注意

- 顔検出AFを使用しているときは表示できません。

17. **メディア残量表示**
18. **ホワイトバランスモード表示**

ATW	自動モード
ATW Hold	自動モード一時停止
W:P	プリセットモード
W:A	メモリー A モード
W:B	メモリー B モード
19. **タイムコード表示（39ページ）**
20. **NDフィルター表示（34ページ）**
21. **シーンファイル表示（50ページ）**
22. **アイリスポジション表示**
23. **映像レベル注意表示**
24. **ゲイン表示（34ページ）**
25. **シャッターモード/シャッタースピード表示**
26. **AEモード/AEレベル表示**
27. **オーディオレベルメーター**
28. **VIDEO SIGNAL MONITOR表示（波形モニター/ベクトルスコープ/ヒストグラム表示）**

### ご注意

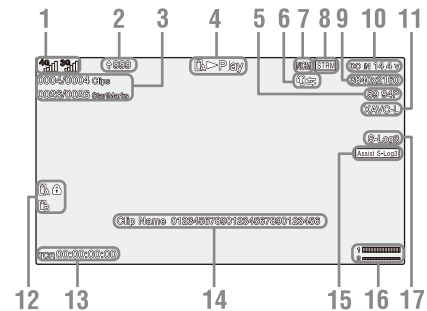
- VideoメニューのOutput Format設定が3840x2160Pのときは表示できません。

29. **クリップ名表示**

30. **記録フォーマット（コーデック）表示（133ページ）**  
SxSメモリーカードに記録されるフォーマット名称を表示します。
31. **ガンマ表示アシスト表示**
32. **ガンマ表示（108ページ）**  
ガンマ設定値を表示します。
33. **プロキシ状態表示**
34. **4K & HD（Sub）記録表示**
35. **システム周波数とスキャン方式表示**
36. **記録フォーマット（画サイズ）表示（133ページ）**  
SxSメモリーカードに記録される画サイズを表示します。

### 再生中の画像に表示される情報

再生画像には、次のような情報が重ねて表示されます。



1. **ネットワーク状態表示**
2. **アップロード中表示/転送ファイル残数表示**
3. **クリップ番号/クリップ総数**
4. **再生モード表示**
5. **再生フォーマット（フレームレート）表示**
6. **インカム表示**
7. **ネットワーククライアントモード状態表示**
8. **ストリーミング状態表示**
9. **再生フォーマット（画サイズ）表示**
10. **バッテリー残量/DC IN電圧表示**
11. **再生フォーマット（コーデック）表示**

## 12. メディア表示

メモリーカードがプロテクトされている場合は、左に🔒マークが表示されます。

## 13. タイムデータ表示

LCD/MFメニューのDisplay On/OffのTimecodeがOnのとき、画面を表示した状態でDISPLAYボタンを押すと表示されま







## 14. クリップ名表示




## 15. ガンマ表示アシスト表示

## 16. オーディオレベルメーター





## 17. ガンマ表示

## ネットワーク接続のアイコン表示





ネットワークモード	接続状態	アイコン
アクセスポイントモード	アクセスポイントとして動作中	AP
	アクセスポイント動作エラー	AR
ステーションモード	Wi-Fi接続中	 
	電波強度によりアイコンが変化（4段階）	 
	Wi-Fi接続断（準備中含む）	
	Wi-Fi接続エラー	
モデム <sup>1)</sup>	3G/4G接続中	3G接続中  - 
	電波強度によりアイコンが変化（5段階）	4G接続中  - 
	電波強度を通知しないモデムの場合、接続中は強度3のアイコンを表示	3G/4Gが判別できないネットワークに接続中  - 
	3G/4G接続断（準備中含む）	
	3G/4G接続エラー	

ネットワークモード	接続状態	アイコン
有線LAN	LAN接続中	
	LAN接続断（準備中含む）	
	LAN接続エラー	

1)本機にはモデムを2台接続できます。モデムを2台接続したとき、モデムの状態によりアイコンは次のように変化します。

接続状態	アイコン
モデムを2台接続して、Modem 1のみ使用中	
モデムを2台接続して、Modem 2のみ使用中	
モデムを2台接続して、両方とも使用中	 

## インカム接続のアイコン表示

接続状態	アイコン
• Network Client ModeがOff	なし
• Network Client ModeがOnでヘッドセットが未接続	
• Network Client ModeがOn • ヘッドセット接続中 • インカムには未接続だが接続可能（接続待機状態）	
• Network Client ModeがOn • ヘッドセット接続中 • インカム接続不可状態	
• Network Client ModeがOn • ヘッドセット、インカムともに接続中で正常通話可能状態	

## ステータス画面

ステータス画面で、本機の設定や状態を確認することができます。

## ステータス画面の操作

ステータス画面を表示させるには

- STATUS CHECKボタンを押す

ステータス画面を切り替えるには

- SEL/SETダイヤルを回す、または▲/▼ボタンを押す

ステータス画面を消すには

- STATUS CHECKボタンを押す

### カメラステータス画面

撮影画質やズームの設定、状態を表示します。

White Switch<B>	ホワイトバランスのメモリー Bの調整値
White Switch<A>	ホワイトバランスのメモリー Aの調整値
White Switch<P>	Preset Whiteの設定値
ND<Preset>	ND FilterのPreset1~3の設定値
Zebra1	ゼブラ1のOn/Offと設定レベル
Zebra2	ゼブラ2のOn/Offと設定レベル
Gamma	Gammaカテゴリとカーブ
Gain Switch	Gain<L>、Gain<M>、Gain<H>の設定値
Handle Zoom Speed	Handle Zoomの設定値
Scene File	使用中のScene FileとそのFile ID

### オーディオステータス画面

各チャンネルの入力設定、オーディオレベルメーターと風音低減フィルターの設定状態を表示します。

CH1のレベルメーター	CH1のレベルメーター
CH1 Source	CH1の入力ソース
CH1 Ref. /Sens.	CH1に入力されたINPUTのリファレンスレベル
CH1 Wind Filter	CH1に入力されたマイクのウインドフィルターの設定状態
CH2のレベルメーター	CH2のレベルメーター
CH2 Source	CH2の入力ソース
CH2 Ref. /Sens.	CH2に入力されたINPUTのリファレンスレベル
CH2 Wind Filter	CH2に入力されたマイクのウインドフィルターの設定状態
CH3のレベルメーター	CH3のレベルメーター
CH3 Source	CH3の入力ソース

CH3 Ref. /Sens.	CH3に入力されたINPUTのリファレンスレベル
CH3 Wind Filter	CH3に入力されたマイクのウインドフィルターの設定状態
CH4のレベルメーター	CH4のレベルメーター
CH4 Source	CH4の入力ソース
CH4 Ref. /Sens.	CH4に入力されたINPUTのリファレンスレベル
CH4 Wind Filter	CH4に入力されたマイクのウインドフィルターの設定状態
HDMI Output CH	HDMIに出力される音声チャンネルの組み合わせの設定状態
Analog Output CH	アナログオーディオ出力に出力される音声チャンネルの組み合わせの設定状態
Monitor CH	モニターチャンネルの設定状態
Headphone Out	ヘッドホン出力方式の設定状態

### システムステータス画面

ビデオ信号の設定を表示します。

Frequency/Scan	システム周波数と走査方式の設定値
File System	File Systemの設定値
Codec	Codecの設定値
Simul Rec	2スロット同時記録機能のOn/Off設定
Title Prefix	クリップ名のタイトル部分
Picture Size	録画フォーマットの画サイズ
Rec Function	Onになっている特殊記録とその設定
Clip Continuous Rec	Clip Continuous RecのOn/Off状態
Picture Cache Rec	Picture Cache RecのOn/Off状態と設定値
Number	クリップ名の最後の数値部分
Shooting Mode	撮影モードの設定値
4K & HD (Sub) Rec	4K & HD (Sub) 記録機能のOn/Off状態

Proxy Rec	プロキシ記録のOn/Off 状態と設定値
Genlock	ゲンロックの状態

## ビデオアウトステータス画面

SDI、HDMI、ビデオ出力の設定を表示します。

SDI	出力画サイズ Rec Control状態 出力On/Off
HDMI	出力画サイズ Rec Control状態 出力On/Off
VIDEO	出力画サイズ 出力On/Off
Gamma	Gammaの設定値
Color Gamut	色域の設定値
Gamma Display Assist	ガンマ表示アシストの設定値

## アサインボタンステータス画面

各アサインボタンに割り当てた機能を表示します。

1	Assign1ボタンに割り当てられている機能
2	Assign2ボタンに割り当てられている機能
3	Assign3ボタンに割り当てられている機能
4	Assign4ボタンに割り当てられている機能
5	Assign5ボタンに割り当てられている機能
6	Assign6ボタンに割り当てられている機能
7	Assign7ボタンに割り当てられている機能
8	Assign8ボタンに割り当てられている機能
9	Assign9ボタンに割り当てられている機能
10	Assign10ボタンに割り当てられている機能

## バッテリーステータス画面

バッテリーまたはDC IN電源の情報を表示します。

Detected Battery	バッテリーの種類
Remaining	残容量 (%)

Charge Count	充電を行った回数
Capacity	残容量 (Ah)
Voltage	電圧 (V)
Manufacture Date	バッテリーの製造年月日
Video Light	ビデオライトバッテリー 残量表示
Power Source	電源供給源
Supplied Voltage	供給電源電圧

## メディアステータス画面

記録メディア (SxSメモリーカードA/SxSメモリーカードB) およびUTILITYメディアの残量、残記録可能時間、寿命データを表示します。

メディアAのメディア情報	Aスロットにメディアが挿入されているとき、Mediaアイコンを表示する
メディアAのプロテクト情報	Aスロットに挿入されている記録メディアがプロテクトされているとき、Protectアイコンを表示する
メディアAの残量メーター	Aスロットに挿入されている記録メディアの残容量を、残比率で表したバーで表示する
メディアAの残時間	現在と同じ状態でAスロットに挿入されている記録メディアに記録したときの予測残時間を分単位で表示する
メディアAの寿命	Aスロットに寿命データが入り可能なメディアが挿入されているときに、%単位で表示
メディアBのメディア情報	Bスロットにメディアが挿入されているとき、Mediaアイコンを表示する
メディアBのプロテクト情報	Bスロットに挿入されている記録メディアがプロテクトされているとき、Protectアイコンを表示する
メディアBの残量メーター	Bスロットに挿入されている記録メディアの残容量を、残比率で表したバーで表示する



メディアBの残時間	現在と同じ状態でBスロットに挿入されている記録メディアに記録したときの予測残時間を分単位で表示する
メディアBの寿命	Bスロットに寿命データが入り可能なメディアが挿入されているときに、%単位で表示
UTILITYメディアのメディア情報	UTILITY SD/MSスロットにメディアが挿入されているとき、Mediaアイコンを表示する
UTILITYメディアのプロテクト情報	UTILITY SD/MSスロットに挿入されているメディアがプロテクトされているとき、Protectアイコンを表示する
UTILITYメディアの残量メーター	UTILITY SD/MSスロットに挿入されているメディアの残容量を、残比率で表したバーで表示する
UTILITYメディアの残量	UTILITY SD/MSスロットに挿入されている記録メディアに記録したときの予測残時間を分単位で表示。または残容量を単位GBで表示する

### 個別 REC トリガー設定状態画面

録画ボタンとハンドル録画ボタンの設定状態を表示します。

Rec Button	録画ボタンで記録するスロットを表示する
Handle Rec Button	ハンドル録画ボタンで記録するスロットを表示する

### GPS ステータス画面

GPSの測位状態と情報を表示します。

GPS	GPS信号の測位状態
Dilution Of Precision	測位精度の情報
Latitude	緯度情報
Longitude	経度情報
Altitude	高度情報
Positioning date and time	測位日時
Current date and time	現在日時
Time Zone	Time Zoneの設定値

### ネットワークステータス画面

ネットワーク接続の接続状態を表示します。

Wireless LAN	ワイヤレスネットワークの設定、接続状態
Wired LAN	有線LANネットワークの設定、接続状態
Modem 1	モデム (別売) によるワイヤレスネットワークの設定、接続状態
Modem 2	モデム (別売) によるワイヤレスネットワークの設定、接続状態

### Wireless LAN の内容

Setting表示	Status表示	説明
Off	---	ワイヤレスLAN設定がOFF
Access Point Mode	Non Active	アクセスポイントとして動作していない状態 Wi-Fiチップ故障時に表示
	Active	アクセスポイントとして動作中
Station Mode	Non Active	ステーションモードとして動作していない状態 Wi-Fiチップ故障時に表示
	Searching	前回接続したネットワーク (アクセスポイント) に接続しようとしている状態
Disconnected		ネットワーク (アクセスポイント) に接続していない状態 DHCPでIPアドレスが割り当てられていない場合もこの状態になる
<SSID>		<SSID>のネットワーク (アクセスポイント) と接続している状態

## Wired LAN の内容

Setting表示	Status表示	説明
Off	---	有線LAN設定がOFF
On	Disconnected	ネットワークと切断している状態 DHCPでIPアドレスが割り当てられていない場合もこの状態になる
	Connected	ネットワークと接続している状態

## Modem 1 および Modem 2 の内容

Setting表示	Status表示	説明
Off	---	モデム設定がOFF
On	Disconnected	ネットワークに接続していない状態
	Connected	ネットワークに接続している状態
	Connecting	ネットワークに接続しようとしている状態
	No Modem	モデム dongle が挿入されていない状態

## NCM/ ストリーミングステータス画面

ネットワーククライアントモードの接続状態とストリーミングの状態を表示します。

Network Client Mode Status	ネットワーククライアントモードの状態
CCM Name	ネットワーククライアントモード時に接続中の CCM の名称
CCM Address	ネットワーククライアントモード時に接続中の CCM のアドレス
QoS Streaming1 Bit Rate	ストリーミングの配信ビットレート1
QoS Streaming2 Bit Rate	ストリーミングの配信ビットレート2

Streaming Status	ストリーミングの配信状態
Streaming Format	ストリーミングのフォーマット情報
Streaming Type	現在選択しているストリーミング設定の種別
Streaming Destination Address.	ストリーミングの送信先アドレス
Streaming Audio Channel	ストリーミング出力に乗せるオーディオチャンネルの設定値

## Network Client Mode Status の内容

状態表示	説明
Off	ネットワーククライアントモードがOFF
Connected	ネットワーククライアントモードがONでCCM/XDCAM airに接続しており、CCM/XDCAM airからの制御が可能な状態
Connecting	CCM/XDCAM airへの接続をしようとしている状態

### ご注意

- Connectingのまま状態が変化しない場合は、CCMのアドレス設定が間違っている可能性があります。正しいアドレスが設定されているか確認してください。

Destination Address Error	接続先のCCMのホスト名またはIPアドレスが間違っている可能性がある
Authentication Failed	CCMに接続するためのユーザー名またはパスワードが間違っている可能性がある
No Network Access	ネットワークに接続できない ネットワークの接続状況および設定を確認が必要
Certificate is not yet Valid	CCMの証明書が有効ではない 日付設定が間違っている可能性がある
Certificate has Expired	CCMの証明書の期限が切れている 日付設定が間違っている可能性がある

状態表示	説明
Root Certificate Error	ルート証明書が不正
	<p><b>ご注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>このエラーが表示された場合は、ソニーのサービス担当者にご相談ください。</li> </ul>
Intermediate Cert. Error	中間証明書が不正
	<p><b>ご注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>このエラーが表示された場合は、ソニーのサービス担当者にご相談ください。</li> </ul>
Server Certificate Error	サーバー証明書が不正
	<p><b>ご注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>このエラーが表示された場合は、ソニーのサービス担当者にご相談ください。</li> </ul>

Server Address	ファイル転送先サーバーのアドレス
Destination Directory	ファイル転送先サーバーの転送先ディレクトリー

## Streaming Status の内容

状態表示	説明
Off	ストリーミングがOFF
Distributing	ストリーミングの送信中
Preparing	ストリーミングの送信準備中
Destination Address Error	送信先のホスト名またはIPアドレスが間違っている可能性がある
No Network Access	ネットワークに接続できない ネットワークの接続状況および設定の確認が必要

## ファイル転送ステータス画面

ファイル転送の情報を表示します。

Auto Upload (Proxy)	Auto Upload (Proxy) の On/Off状態
Job Status (Remain / Total)	総ジョブ数と残りのジョブ数
Total Transfer Progress	総ジョブの転送進捗状況
Auto Upload Server	Auto Upload (Proxy) の転送先サーバー名
Current File Transfer Progress	転送中ファイルの転送進捗状況
Current Transferring File Name	転送中のファイル名

## 電源

バッテリーパック、またはACアダプターを介してAC電源を使用できます。

ACアダプターを接続した場合は、バッテリーパックが装着されていても、ACアダプターが優先されます。

安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーパックおよびACアダプターを使用しないでください。

### リチウムイオンバッテリーパック（別売）

BP-U30

BP-U60

BP-U60T

BP-U90

### AC アダプター / チャージャー（別売）

BC-U1A

BC-U2A



#### 警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

#### ご注意

- コンセントにつないで使うときは、ACアダプターをご使用ください。

## バッテリーパックを使う

バッテリーパックをバッテリーパック装着部（9ページ）の奥まで差し込んで、下にスライドさせてロックします。

取り外すときは、BATT RELEASEボタン（9ページ）を押しながらバッテリーパックを上にもスライドさせてロックを外し、引き抜きます。

#### ご注意

- 装着する前に、専用のチャージャー BC-U1AまたはBC-U2Aを使用して充電してください。
- 使用直後でバッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。

- BP-U30は、モデムと同時には使用できません。モデムを使用する場合は、BP-U60、BP-U60T、BP-U90を使用してください。
- バッテリーパックBP-U90は大容量でサイズが大きいため、装着時に本体からの突出が大きくなります。BP-U90は三脚などに本機を固定して長時間撮影をする場合などに便利です。

## 残量を確認する

バッテリーパックを使用して撮影・再生しているときは、液晶画面/ビューファインダー画面（12ページ）にバッテリー残量アイコンと残り時間が表示されます。

アイコン	残量
	100%～91%
	90%～71%
	70%～51%
	50%～31%
	30%～11%
	10%～0%

残り時間は、現在の消費電流のペースで本機を継続使用した場合のバッテリーパックの使用可能時間を計算して分単位で表示されます。

## バッテリーパックの容量が低下すると

使用中にバッテリーパックの容量が一定の値まで低下すると（Low Battery状態）、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージが画面に表示され、記録/タリールンプの点滅とブザー音で警告します。

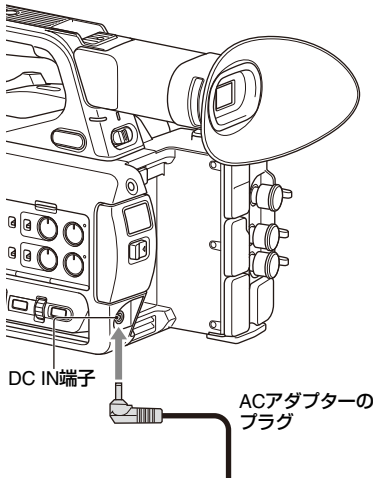
さらに容量が減り、動作が継続不可能な状態になると（Battery Empty状態）、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージに切り替わります。充電されたバッテリーパックに交換してください。

## 警告残量を変更する

工場出荷時には、Low Batteryはフル充電の10%、Battery Emptyは3%に設定されています。これらの設定は、SystemメニューのBattery Alarm（138ページ）で変更することもできます。

## コンセントにつないで使う

バッテリーが切れることを心配しないで使えます。



- 1 電源コードをACアダプターにつなぐ。
- 2 ACアダプターを本体のDC IN端子につなぐ。
- 3 電源コードをコンセントにつなぐ。

## ACアダプターについて

- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターをつないで本体を充電することはできません。

## 電源を入れる/切る

電源を入れるときは、電源スイッチ（9ページ）をON（**I**の位置）にします。電源を切るときは、電源スイッチをSTANDBY（**⏻**の位置）にします。

### ご注意

- 本機は、電源スイッチをSTANDBYにした状態でも、わずかに待機電力を消費します。本機を長時間使用しないときは、バッテリーパックを取り外してください。
- バッテリーパックやDC IN電源は、電源スイッチをSTANDBYにして電源ランプが消えてから取り外してください。ONのまま取り外すと、本機やSxSメモリーカードの故障の原因となることがあります。

## 時計を合わせる

本機を初めて使用するときやバックアップ電池が放電してしまった後に、初めて本機の電源を入れるとビューファインダー画面と液晶画面に初回設定画面が表示されます。この画面を使用して内蔵時計の日付/時刻を設定してください。

### Time Zone について

UTC（協定世界時）からの時差を設定します。必要に応じて変更してください。

### 日付/時刻を設定する

▲/▼/←/→ボタン（9ページ）またはSEL/SETダイヤル（10ページ）でカーソルを移動し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押して各項目を設定します。最後にカーソルをFinishに合わせ、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押すと、設定画面が消え、時計合わせが完了します。

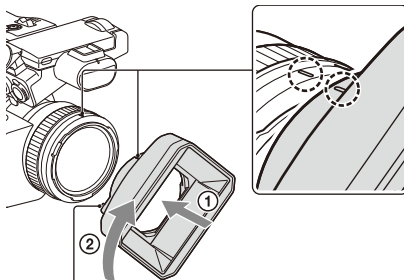
設定画面が消えた後は、SystemメニューのClock Set（137ページ）でTime Zoneおよび日時の設定を変更することができます。

### ご注意

- 動作電源が供給されていない（バッテリーパックもDC IN電源も接続されていない）状態でバックアップ電池が消耗するなどして現在の情報の情報が失われた場合は、次に電源を入れると初回設定画面が表示されます。
- 初回設定画面が表示されている状態では、この画面での設定が完了するまで電源を切る以外の操作はできません。
- 3か月近く使わないでおくと、内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください（141ページ）。

## 機器を取り付ける

### レンズフードを取り付ける



PUSH（レンズフード取り外し）ボタン

本体とフードの印を合わせて、矢印②の方向にロックされるまで回す。

### レンズフードを取り外す

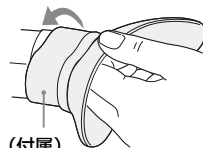
PUSH（レンズフード取り外し）ボタンを押しながら、取り付け方向と反対方向に回す。

### ご注意

- φ77mmの偏光フィルターや保護フィルターの取り付け/取り外しの際は、レンズフードを取り外してください。

### 大型アイカップを取り付ける

大型アイカップを少し伸ばしてビューファインダーにはめ、縁を水平の溝に合わせてはめ込んでください。

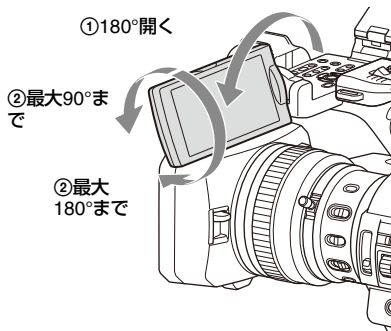


大型アイカップ（付属）

## 画面を調節する

### 液晶画面を調節する

液晶画面を180°に開ききった状態(①)で、見やすい角度に調節します(②)。



対面撮影にも使用できます。液晶画面には左右反転して映りますが、実際には左右正しく録画されます。

### バックライトを調節する

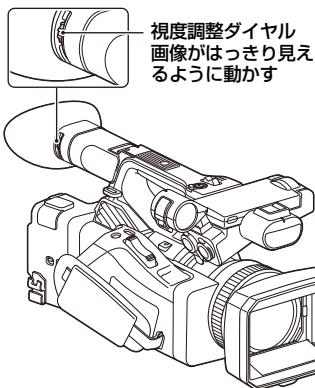
LCD BRIGHTボタン(11ページ)でバックライトの明るさを調節できます。

### 明るさを調節する

LCD/VFメニューのLCD SettingのBrightness(115ページ)で調整できます。明るさを変えても、記録される映像に影響はありません。

### ビューファインダーを調節する

ビューファインダーで見るときは、液晶画面を閉じた状態でビューファインダーに目を近づけます。ビューファインダーの画面表示がぼやけているときは、ビューファインダー下の視度調整ダイヤルで調節します。



### 明るさを調節する

LCD/VFメニューのVF SettingのBrightnessで調節します(115ページ)。

### アサイナブルボタンで液晶画面/ビューファインダー画面の明るさを調節する

アサイナブルボタン(43ページ)にLCD/VF Adjustを割り当てておくと、このボタンを押すことで、液晶画面/ビューファインダー画面の明るさ調節用レベルバーを表示することができます。

- 1 LCD/VF Adjustを割り当てたボタンを押し、明るさ調節用レベルバーを表示する。**  
ボタンを押すたびに、液晶画面用のレベルバー → ビューファインダー画面用のレベルバー → 非表示の順で表示が切り替わります。
- 2  $\blacktriangle/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ ボタンまたはSEL/SETダイヤルでレベルを調節し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**  
レベルバーが非表示になります。LCD/VF Adjustを割り当てたボタンを押すか、何も操作しないで3秒経過した場合も、レベルバーが消えます。

# SxSメモリーカードを使う

本機では、撮影した映像・音声を、カードスロット内のSxSメモリーカード（別売）に記録します。

## SxSメモリーカードについて

### 本機で使用可能なSxSメモリーカード

下記のソニー製SxSメモリーカードをご使用ください。

下記のソニー製以外のメモリーカードをご使用の場合、動作の保証はいたしかねます。

#### SxS PRO+ シリーズ

#### SxS PRO シリーズ

#### SxS-1 シリーズ

これらのカードは、ExpressCard規格に準拠したメモリーカードです。

- ◆ SxSメモリーカードの使いかたや使用上のご注意について詳しくは、SxSメモリーカードの取扱説明書をご覧ください。
- ◆ 記録メディアと対応フォーマットについては144ページをご覧ください。

#### ご注意

- XAVC-I 3840×2160Pで記録する場合は、SxS Pro+メモリーカードを使用してください。
- XAVC-Iの記録フォーマットでの記録やスロー&クイックモーション撮影では、SxS PROまたはSxS-1メモリーカードを使用した場合、画面に非サポートメディアのエラーメッセージが表示され、正常に記録できないことがあります。SxS PRO+メモリーカードの使用をお勧めします。

## SxSメモリーカードを入れる

### 1 カードスロット部のカバーを開ける。

### 2 SxSメモリーカードを、SxSのラベルを右にして押し込む。

アクセスランプ（10ページ）が赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

### 3 カバーを閉める。

#### ご注意

- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。

## SxSメモリーカードを取り出す

### 1 カードスロット部のカバーを開け、EJECTボタンを押す。

EJECTボタンが飛び出します。

記録中の場合は、記録が停止します。

### 2 もう一度EJECTボタンを押し込んでカードを抜く。

#### ご注意

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのアクセスランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。
- 記録終了後にSxSメモリーカードを取り出した際、SxSメモリーカードが熱くなっている場合がありますが故障ではありません。

## 使用するSxSメモリーカードを切り替える

カードスロットAとBの両方にSxSメモリーカードが装着されているときは、SLOT SELECTボタン（10ページ）を押して使用するカードを切り替えることができます。記録実行中にカードがフルになったときは、自動的にもう1枚のカードに切り替わりません。



## ご注意

- 再生中は、SLOT SELECTボタンは無効になります。ボタンを押しても切り替わりません。サムネイル画面（81ページ）表示中はボタン操作が有効です。

## SxSメモリーカードをフォーマット（初期化）する

フォーマットされていないSxSメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたSxSメモリーカードを装着すると、メッセージ「ファイルシステムが異なります」が液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます。下記の手順に従ってフォーマットしてください。

**MediaメニューのFormat Media（123ページ）で、Media(A)（スロットA）かMedia(B)（スロットB）かを指定し、Executeを選択する。確認メッセージが表示されたら、もう一度Executeを選択する。**

実行中はメッセージが表示され、アクセスランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、SEL/SETダイヤルを押して画面を消します。

**フォーマットできなかったときは**  
プロテクトされたSxSメモリーカードや本機で使用できないメモリーカードはフォーマットされません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、使用できるSxSメモリーカードに交換してください。


## ご注意

- メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。

## 残りの記録可能時間を確認する

撮影中（記録中/記録待機中）は、液晶画面/ビューファインダー画面（12ページ）のA/Bスロットメディア状態/残量表示部で、各スロットに装着したSxSメモリーカードの残量を確認することができます。現在設定されているビデオフォーマット（記録ビットレート）で撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのスロット内のメディアの残量から計算して分単位で表示します。

## ご注意

- メモリーカードがプロテクトされている場合は、マークが表示されます。メモリーカードを挿入した状態でプロテクトスイッチを切り替えた場合、プロテクト表示になりません。メモリーカードを抜いた状態でプロテクトスイッチを切り替えてください。

## SxSメモリーカードの交換時期

- 記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分をきると、警告メッセージ「メディア残量がわずかです」（Media Near Full）が表示され、記録/タリールランプの点滅とブザー音（ヘッドホン出力）で警告します。空きのあるメディアに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、メッセージが「メディア残量がありません」（Media Full）に変わり記録が停止します。

## ご注意

- 1枚のSxSメモリーカードに約600個までのクリップを記録できます。記録できるクリップ数の上限に達すると、クリップ数が上限である旨が表示されます。

## SxSメモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。修復が必要なSxSメモリーカードを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認す

るメッセージが液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます。

## 修復を実行する

▲/▼/▶/◀ボタンまたはSEL/SETダイヤルでExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

実行中メッセージと進捗状況(%)が表示され、アクセスランプが赤く点灯します。修復が終了すると、完了メッセージが表示されます。

### 修復できなかったときは

- プロテクトされたSxSメモリーカードや、エラーが発生したSxSメモリーカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、プロテクトを解除するか、別のSxSメモリーカードに交換してください。
- エラーが発生したSxSメモリーカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。
- 修復を実行しても繰り返し「一部修復ができませんでした」とメッセージが表示されるようになったSxSメモリーカードは、以下の手順で正常に戻せる場合があります。
  - 1 本機のコピー機能(85ページ)を使用して、必要なクリップを他のSxSメモリーカードへコピーする。
  - 2 問題のあるSxSメモリーカードを本機でフォーマットする。
  - 3 フォーマットしたSxSメモリーカードに必要なクリップをコピーして戻す。

### ご注意

- 本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。
- 2秒以下のクリップは修復できません。

## 他のメディアを使う

### XQDメモリーカード

メディアアダプター QDA-EX1(別売)を使用することによって、XQDメモリーカードをSxSメモリーカードスロットに入れて、SxSメモリーカードと同様に記録・再生が行えます。

### 使用可能な XQD メモリーカード

XQDメモリーカード Gシリーズ  
XQDメモリーカード S (EB Stream) シリーズ

- ◆ メディアアダプター QDA-EX1の使いかたについて詳しくは、アダプターに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ◆ 記録メディアと対応フォーマットについては144ページをご覧ください

### ご注意

- XQDメモリーカードを使って高速再生(82ページ)を行う場合、正しく動作しないことがあります。
- XAVC-Iの記録フォーマットでの記録や3840×2160Pなどの高レートフォーマット記録では、XQDメモリーカードを使用した場合、画面に非サポートメディアのエラーメッセージが表示され、正常に記録できない場合があります。SxS PRO+メモリーカードの使用をお勧めします。
- すべてのXQDメモリーカードの動作を保証するものではありません。動作確認済みのメモリーに関しては各販売店にお問い合わせください。

### フォーマット(初期化)する

本機で初めてXQDメモリーカードを使用するときは、フォーマットが必要です。本機で使用するXQDメモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。XQDメモリーカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

本機が対応していないフォーマットで初期化されたXQDメモリーカードを装着すると、メッセージ「ファイルシステムが異なります

す」が液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます。

下記の「フォーマット（初期化）を実行する」に従ってフォーマットしてください。

### フォーマット（初期化）を実行する

**MediaメニューのFormat Media（123ページ）で、Media(A)（スロットA）かMedia(B)（スロットB）かを指定し、Executeを選択する。**

実行中はメッセージが表示され、アクセスランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されます。

#### ご注意

- XQDメモリーカードをフォーマットすると、プロテクトされた画像も含めて、すべてのデータが消去され、復元できません。

**本機でフォーマットしたメディアを他の機器のスロットで使用するには**

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

## SDカード

MEAD-SD02（別売）を使用することによって、SDカードをSxSメモリーカードスロットに入れて、SxSメモリーカードと同様に記録・再生が行えます。

- ◆メディアアダプター MEAD-SD02の詳しい使いかたについては、アダプターに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ◆記録メディアと対応フォーマットについては144ページをご覧ください

#### ご注意

- SDカードを使って高速再生（82ページ）を行う場合、正しく動作しないことがあります。

### SDXC カード（exFATのみ）

（Speed Class：Class10）

#### ご注意

- exFATモード時以外では使用できません。
- SDXCカードと他のメモリーカードを同時に使用しないでください。違う種類のメディアを使

用した場合、記録中にメディアがフルになっても自動切り替えができません。

- ご使用になるSDXCカードによっては、画面に非サポートメディアのエラーメッセージが表示され、XAVC-Iでの記録や、スロー&クイックモーション撮影（47ページ）が正常に記録できない場合があります。SxS PRO+メモリーカードの使用をお勧めします。
- PMWシリーズおよびPXWシリーズのカムコーダーで記録したSDXCカードは、機種によって本機で記録・再生できない場合があります。詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

### SDHC カード（FATのみ）

（Speed Class：Class10）

#### ご注意

- exFAT、UDFモード時は使用できません。

## フォーマット（初期化）する

本機で初めてSDカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用するSDカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。

SDカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

本機が対応していないフォーマットで初期化されたSDカードを装着すると、メッセージ「ファイルシステムが異なります」が液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます。

下記の「フォーマット（初期化）を実行する」に従ってフォーマットしてください。

### フォーマット（初期化）を実行する

**MediaメニューのFormat Media（123ページ）で、Media(A)（スロットA）かMedia(B)（スロットB）かを指定し、Executeを選択する。**

実行中メッセージが表示され、アクセスランプが赤く点灯します。

フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されます。

#### ご注意

- SDカードをフォーマットすると、プロテクトされた画像も含めて、すべてのデータが消去され、復元できません。

**本機でフォーマットしたメディアを他の機器のロットで使用するには**  
あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

## 基本操作手順

### 撮影手順

基本的な撮影は次の手順で行います。

- 1 **必要な機器が取り付けられ、電源が供給されていることを確認する。**
- 2 **必要なメモリーカードを入れる。**  
SxSメモリーカードはA/B両方のメモリーカードスロットに入れておくと、1枚目がフルになった時点で自動的に2枚目に切り替わります。
- 3 **電源スイッチをONにする。**  
液晶画面/ビューファインダーに撮影画面が表示されます。
- 4 **グリップまたはハンドルの録画ボタン（9ページ）を押す。**  
記録/タリーランプが点灯して、記録が始まります。
- 5 **記録を終了するとき、もう一度録画ボタンを押す。**  
記録が停止し、本機はSTBY（記録待機）モードになります。

### 撮影する（フルオートモード）

**FULL AUTOボタンを押して、ボタンのインジケーターを点灯させる。**

フルオートモードがONになり、Auto Exposure（103ページ）が動いて、Auto ND Filter、オートアイリス、AGC、オートシャッター、ATW（自動追尾ホワイトバランス）がONになり、明るさとホワイトバランスが常に自動調整されます。それぞれをマニュアルで調整したいときは、フルオートモードをOFFにしてください。

### メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影する（リレー記録）

A/B両方のメモリーカードスロットにメモリーカードを入れておけば、撮影中にメモリーカードA（またはメモリーカードB）の残量がなくなる直前に、自動的にもう一方のメモリーカードへの記録に切り替わります。メモリーカードが切り替わるたびに、記録済みのメモリーカードを新しいメモリーカードに交換することで、中断することなく撮影を続けられます。

#### ご注意

- 記録中のメモリーカードを取り出さないでください。記録中にメモリーカードを入れ換えるときは、スロットのランプが消灯しているスロットのみ行ってください。
- 記録中のメモリーカードの残量が1分未満のときに、もう一方のスロットに記録可能なメモリーカードが入っていると、メッセージ「まもなくスロットを切り替えます」が表示されます。メモリーカードスロットが切り替わると消えます。
- メモリーカードの残量が1分未満のときに記録を始めると、リレー記録ができない場合があります。リレー記録を正しく行うには、記録開始時にメモリーカードの残量が1分以上あることを確認してください。
- 本機を使ってリレー記録した動画は、本機上ではシームレス再生できません。
- 本機を使ってリレー記録した動画を結合するには、ソフトウェア「Content Browser」を使用してください。

## クリップについて

### クリップ（記録データ）

記録を停止すると、開始から停止までの画像・音声と付随データが、ひとつの「クリップ」としてSxSメモリーカードに記録されます。

### クリップ名について

本機で記録されるクリップには、MediaメニューのClip Naming（124ページ）で設定された形式でクリップ名がつけられます。

### クリップの最大時間

クリップの最大記録時間は、記録フォーマットにより異なります。

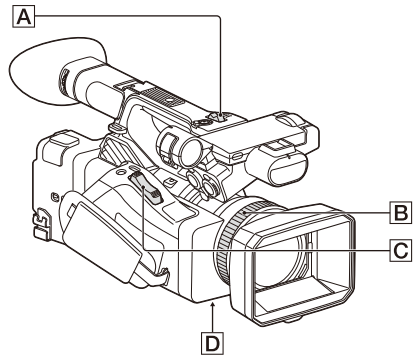
動画の連続撮影可能時間は、クリップの最大記録時間と同様です。録画時間がクリップの最大時間を超える場合、録画を継続したまま自動的に新しいクリップが作られます。新しいクリップはサムネイル画面で別のクリップとして確認できます。

記録フォーマットごとのクリップの最大記録時間については、「クリップの最大記録時間」（145ページ）をご覧ください。

### クリップを削除するには

Last Clip Delete機能（136ページ）を使用すると、直前に記録したクリップを削除できます。全クリップの削除やクリップを指定しての削除は、サムネイル画面（86ページ）から操作してください。

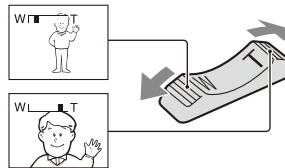
## ズームする



### ズームレバーを使う

1. ZOOMスイッチ **D** を「SERVO」にする。
2. ズームレバー **C** を押してズームする。  
ズームレバー **C** を浅く押し込むとゆっくり、深く押し込むと速くズームします。

#### 広角：Wide（ワイド）



#### 望遠：Telephoto（テレフォト）

- フォーカス合わせに必要な被写体との距離は、広角は約5cm以上、望遠は約80cm以上です。
- 被写体との距離が80cm以内の被写体は、ズーム位置によってはフォーカスが合わないことがあります。
- ズームレバー **C** から指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバー **C** の操作音が記録されることがあります。

### ハンドルズームを使う

1. CameraメニューのHandle Zoom（105ページ）のSettingで、ハンドル

ズームの動作を「Low」、「High」、「Variable」のいずれかに設定する。

- 「Variable」にすると、押し具合によってズームスピードが変化します。
- 「Low」または「High」にすると、押し具合に関わらず固定スピードで動きます。CameraメニューのHandle Zoomの「Low」または「High」で、スピードを切り替えることができます。
- アサインボタン（43ページ）にHandle ZoomのSetting機能を割り当てておくと、このボタンを押すたびにハンドルズームの動作を切り替えることができます。

## 2. ハンドルズームレバー **A**を押してズームする。

### ご注意

- ハンドルズームの動作が「OFF」になっていると、ハンドルズームレバー **A**は使えません。
- ズームスピードが低速のときにズーミングにむらが出ることがあります。

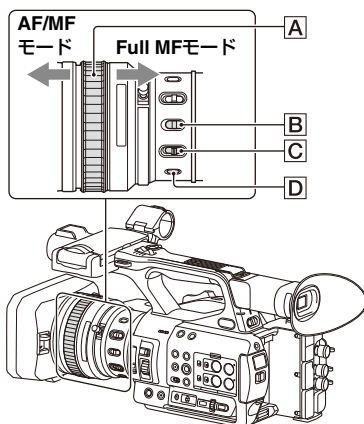
## ズームリングを使う

1. ZOOMスイッチ **D**を「MANUAL」にする。
2. ズームリング **B**を回してズームする。  
ズームリング **B**を回して好みの速さでズームすることができます。微調整も可能です。

## フォーカスを調節する

フォーカス合わせのコツ

- 始めにズームをT側（望遠）でフォーカスを合わせてから、W側（広角）に戻していきます。
- 接写時は、逆にズームをW側（広角）いっぱいにしてフォーカスを合わせます。



## Full MFモードで調節する

フォーカスリング **A**を後方（本体側）に引くと、常に手動でフォーカスを合わせるFull MFモードになります。

液晶画面/ビューファインダー画面の画像を見ながら、フォーカスリングを回してフォーカスを合わせます。

Full MFモードでは、フォーカスリングに印字されている距離指標の目盛りを使用してフォーカスを合わせることができます。フォーカスの合う距離は、距離指標の位置に対応します。

### ご注意

- フォーカスリングを回すときは、両端に強く当てないでください。
- Full MFモード中は、オートフォーカス、プッシュオートフォーカスは使用できません。
- レンズのMACROスイッチの設定によらず、マクロはOFFになります。

## MFモードで調節する

必要などきのみオートフォーカスを働かせることができるMF（マニュアルフォーカス）モードです。

フォーカスリング **A**を前方（レンズフード側）にスライドさせ、FOCUSスイッチ **C**をMANUALにします。

一時的にオートフォーカスで撮る（プッシュオートフォーカス）

MFモード中に、レンズのFOCUS PUSH AUTOボタン **D**、またはPush AF/Push MF

を割り当てたアサイナブルボタン（43ページ）を押すと、そのボタンを押している間はオートフォーカスになります。ボタンから指を離すと、手動フォーカス合わせに戻ります。

手動フォーカス合わせで、ある被写体から別の被写体にフォーカスを移すようなときに使うと便利です。

---

## AFモードで調節する

---

常にオートでフォーカスを合わせるAF（オートフォーカス）モードです。フォーカスリング[A]を前方にスライドさせ、FOCUSスイッチ[C]をAUTOにします。

### 一時的にマニュアルフォーカスで撮る（ブッシュマニュアルフォーカス）

AFモード中に、レンズのFOCUS PUSH AUTOボタン、またはPush AF/Push MFを割り当てたアサイナブルボタン（43ページ）を押すと、そのボタンを押している間はマニュアルフォーカスになります。ボタンから指を離すと、オートフォーカスに戻ります。

---

## マクロモードを使う

---

MFモードまたはAFモードのときは、MACROスイッチ[B]をON側にするとマクロモードになり、マクロ領域を含めた範囲でのフォーカス操作が可能になります。マクロモードは、Full MFモードでは無効です。

---

## 拡大表示をしてフォーカスを合わせる（ピント拡大）

---

アサイナブルボタン（43ページ）にFocus Magnifierを割り当て、そのボタンを押すと、ピント拡大画面に切り替わり、画面の一部が拡大されます。

記録フォーマットがQFHDの場合は、ボタンを押すたびに4倍、8倍の順に切り替わります。▲/▼/◆/▶ボタンで拡大位置を移動させることができます。

QFHD以外の場合は、画面中央が2倍に拡大されます。

もう一度押すと元に戻ります。

フォーカスが合っているかを確認するときに便利です。

### ご注意

- ピント拡大で表示されていても、記録される画像は拡大されません。

## 撮影中に音声を聞く

ヘッドホン端子（ステレオミニジャック）（10ページ）に接続したヘッドホンで、記録される音声をモニターできます。

### ご注意

- 撮影中（記録中/記録待機中）は内蔵スピーカーで音声をモニターすることはできません。

モニター音量を調節するにはVOLUMEボタン（11ページ）を使用します。

モニター音のチャンネルを切り替えるには

AudioメニューのAudio Output（114ページ）で選択できます。



## 基本設定を変更する

映像の用途や撮影の状況に応じて、設定を変更します。

### ビデオフォーマット

選択できるフォーマットは、exFAT/UDF/FAT、システム周波数、コーデックの設定によって異なります。

#### exFAT/UDF/FATを切り替える

SystemメニューのRec Format（133ページ）のFile Systemで切り替えます。切り替えを実行すると、本機は自動的に再起動します。

##### ご注意

- 記録・再生中にexFAT/UDF/FATを切り替えることはできません。

#### システム周波数を切り替える

SystemメニューのRec Format（133ページ）のFrequencyで切り替えます。切り替えを実行すると、本機は自動的に再起動します。

##### ご注意

- 記録・再生中にシステム周波数を切り替えることはできません。

#### コーデックを切り替える

SystemメニューのRec Format（133ページ）のCodecで切り替えます。

##### ご注意

- 記録・再生中にコーデックを切り替えることはできません。

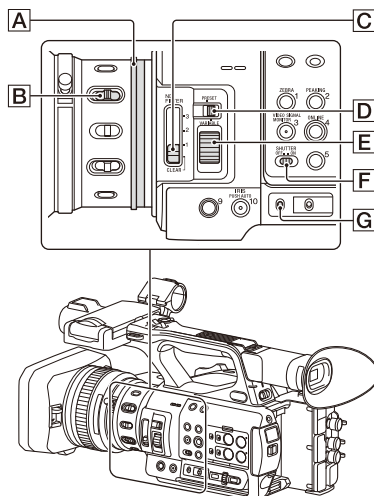
#### フォーマットを変更する

SystemメニューのRec Format（133ページ）のVideo Formatで切り替えます。SDI OUTおよびHDMI OUT端子からの信号も、このメニューで選択されたフォーマットに従って出力されます。

##### ご注意

- 記録・再生中にフォーマットを変更することはできません。

## 明るさを調節する



アイリス、ゲイン、シャッタースピードを調節したり、NDフィルターを使って光量を調節したりして、明るさを調節できます。

### オートアイリスで撮影する

フルオートモード（29ページ）がONのときアイリスは強制的にオートモードになります。

#### フルオートモードがOFFのとき

IRISスイッチ[B]をAUTOにすると、アイリスが単独でオートモードになります。IRISスイッチがAUTOのとき、ダイレクトメニュー（40ページ）で、アイリスのAUTO/MANUALの切り替えとMANUAL時の調整値の設定ができます。

### マニュアルアイリスで撮影する

フルオートモードがOFFのときに、IRISスイッチ[B]をMANUALにすると、マニュアルアイリスモードになります。アイリスリング[A]を回してアイリス調整します。

---

## 一時的にオートアイリスに切り替える

マニュアルアイリスモードで、Push Auto Irisを割り当てたアサイナブルボタンを押すと、ワンプッシュオートアイリス機能が働きます。

ボタンを押している間オートアイリスが働き、ボタンを離すとマニュアルアイリスモードに戻ります。

---

## オートゲインで撮影する (AGC)

**フルオートモード (29ページ) がONのとき** 強制的にAGC (オートゲインコントロール) モードになります。

### フルオートモードがOFFのとき

CameraメニューのAuto ExposureのAGC (104ページ) をOnにすると、ゲインが単独でAGCモードになります。

ダイレクトメニュー (40ページ) で、AGCのON/OFFを設定できます。

---

## 固定ゲインで撮影する

1. フルオートモードをOFFにする。
2. ゲインが自動調節になっているときは、**CameraメニューのAuto ExposureのAGC (103ページ) をOffにする。**  
「AGC」が消えます。
3. **GAINスイッチ** **[G]** でH/M/Lを選択する。  
設定されたゲイン値が表示されます。  
H/M/Lの値は、CameraメニューのGainで設定します (102ページ)。  
ダイレクトメニュー (40ページ) でも、H/M/Lの値を設定できます。

---

## オートシャッターで撮影する

**フルオートモード (29ページ) がONのとき** 強制的にオートシャッターになります。

### フルオートモードがOFFのとき

CameraメニューのAuto ExposureのAuto Shutter (104ページ) をOnにすると、シャッター速度が単独でオートになります。ダイレクトメニューでAuto Shutterを選択してONにすることで、オートシャッターにできます。

---

## 固定シャッターで撮影する

フルオートモードがOFFで、CameraメニューのAuto ExposureのAuto Shutter (104ページ) がOffのときに、SHUTTERスイッチ **[F]** をONにすると、CameraメニューのShutter (103ページ) で設定したモードとシャッター速度の固定シャッターがONになります。

### Cameraメニューで設定する

CameraメニューのShutter (103ページ) を使用して、シャッターモードと速度を設定します。

### ダイレクトメニューで設定する

ダイレクトメニュー (40ページ) で、ECSモード (103ページ) のON/OFFやシャッターの速度を設定できます。

---

## 光量を調節する (NDフィルター)

撮影状況が明るすぎるときは、ND FILTERスイッチ **[C]** を使うと適切な明るさにすることが出来ます。

本機は2つのNDフィルターモードを備えています。2つのモードはND FILTERモード切り替えスイッチ **[D]** で切り替えます。

### プリセットモード

ND FILTERモード切り替えスイッチ **[D]** をPRESETにして、ND FILTERスイッチ **[C]** を以下のように切り替えます。

CLEAR : NDなし

1 : CameraメニューのND FilterのPreset 1で設定した濃度。工場出荷状態は1/4

2 : CameraメニューのND FilterのPreset 2で設定した濃度。工場出荷状態は1/16

3 : CameraメニューのND FilterのPreset 3で設定した濃度。工場出荷状態は1/64

また、ダイレクトメニュー (40ページ) でも、NDスイッチと同様の切り替えが出来ます。

### バリエブルモード

ND FILTERモード切り替えスイッチ **[D]** をVARIABLEにして、ND FILTERスイッチ **[C]** を以下のように切り替えます。

CLEAR : NDなし

1、2、3：NDコントロールダイヤル $\square$ でフィルター濃度を1/4~1/128の範囲で連続的に調整することができます。フィルターの濃度調整にND FILTERスイッチ $\square$ 1/2/3の位置は影響しません。

### オートNDフィルター

ND FILTERモード切り替えスイッチがVARIABLEで、ND FILTERスイッチが1~3のとき、CameraメニューのAuto ExposureのAuto ND Filter（103ページ）をOnにすると、NDフィルター透過率を自動で調節します。

このとき、ダイレクトメニュー（40ページ）で、Auto ND FilterのON/OFFとND CLEARを設定できます。

また、Auto ND FilterをOFFに設定すると、ダイレクトメニューでNDフィルター透過率を選択できます。

### Auto Exposureを設定する

NDフィルターとアイリス、ゲイン、シャッターのうち、オートに設定されている機能を使って過度な明るさを適正にコントロールします。

CameraメニューのAuto Exposure（103ページ）のModeで制御モード、Levelで補正量を設定します。

ダイレクトメニュー（40ページ）でも、制御モードと補正量を設定できます。

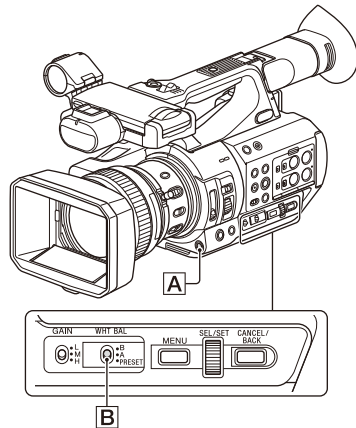
### フリッカー補正機能を使用する

CameraメニューのFlicker Reduce（104ページ）のModeをAutoまたはOnに設定して、Frequencyを電源周波数（50 Hzまたは60 Hz）に合わせます。

#### ご注意

- 撮影しているフレームレートが電源周波数に近い場合は、フリッカー補正機能が働いてもフリッカーを完全に補正できない場合があります。この場合は、電子シャッターを使用してください。

### 自然な色合いに調節する（ホワイトバランス）



撮影状況に応じて調整モードを選択できません。

### プリセットモード

色温度をプリセット値（工場出荷時：3200K）に調整するモードです。ホワイトバランスを調整する時間がないときや、PaintメニューのWhite（106ページ）のPreset Whiteで設定したホワイトバランスに固定して撮影したい場合に使用します。

### メモリー A/メモリー B モード

メモリー A またはメモリー B に保存されたホワイトバランスに調整します。

WB SETボタン $\square$ Aを押すと、ホワイトバランスの自動調整を実行し、調整値をメモリー A またはメモリー B に保存し直します。

### ATW(自動追尾ホワイトバランス)モード

常に適切なホワイトバランスになるように自動的に調整するモードです。

光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスを自動的に調整し直します。

PaintメニューのWhite SettingのATW Speed（107ページ）で、5段階の調整速度を選択できます。

アサイナブルボタン（43ページ）にATW Hold機能を割り当てておくと、そのボタン

を押すことによって、ATWモードでも一時的にATWを停止させ、ホワイトバランスを固定することができます。

#### ご注意

- 照明や被写体の条件によっては、ATWを使用しても適切な色に調整できないことがあります。  
例：
  - －空、海、地面、草花など単一色の被写体が大部分を占める場合
  - －色温度が非常に高い/非常に低い光源下の被写体ATWの自動追従の時間が遅い場合や、適切な効果が得られない場合は、オートホワイトバランスを実行してください。

### スイッチで切り替える

WHT BALスイッチ[**B**]で選択します。

**B**: ATWモードまたはメモリー Bモード

**A**: メモリー Aモード

**PRESET**: プリセットモード

WHT BALスイッチのBの位置には、工場出荷時にATWモードが割り当てられています。PaintメニューのWhite SettingのWhite Switch <B> (107ページ)で、メモリー Bモードを選択するように変更することができます。

フルオートモード (29ページ) をONにすると、強制的にATWモードになります。アサインボタン (43ページ) に、ATWのON/OFF機能を割り当てると、フルオートモードがOFFのときボタン操作でATWを単独でON/OFFすることができるようになります。

### ダイレクトメニューで切り替える

DISPLAYボタン (11ページ) を押すと、選択されているモードと色温度が画面に表示されます (12ページ)。

**ATW**: ATWモード

**W:A**: メモリー Aモード

**W:B**: メモリー Bモード

**W:P**: プリセットモード

ダイレクトメニュー (40ページ) で、以下のように調整モードを変更することができます。

WHT BALスイッチがBのとき、ATWモード/メモリー Bモードを設定できます。

WHT BALスイッチがAのとき、ATWモード/メモリー Aモードを設定できます。WHT BALスイッチがPRESETのとき、ATWモード/プリセットモードを設定できます。ATWモード以外に設定した場合、ダイレクトメニューで色温度を設定できます。ダイレクトメニューで色温度表示部分を選ぶと、色温度を変更することができます。また、プリセットモードのときは、WB SETボタンを押すと色温度を設定する状態になります。

### アサインボタンでプリセットモードを切り替える

アサインボタン (43ページ) にPreset White Selectを割り当てると、そのボタンを押すたびに、プリセットモードの値が3200K、4300K、5600K、6300Kの順に切り替わります。

### オートホワイトバランスを実行する

- 1 調整値をメモリーに保存したい場合は、メモリー Aモードまたはメモリー Bモードを選択する。
- 2 被写体の照明光源と同じ条件のところに白い紙などを置き、ズームアップして画面に白を映す。
- 3 明るさを調整する。  
「マニュアルアイリスで撮影する」(33ページ)に従って、アイリスを調整してください。
- 4 **WB SET**ボタン[**A**]を押す。  
メモリーモードで実行した場合は、調整値は手順1で選択したメモリー (AまたはB) に保存されます。  
ATWモードで実行した場合は、調整が終わるとATWモードでのホワイトバランス調整に戻ります。

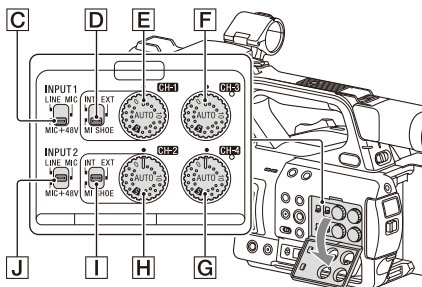
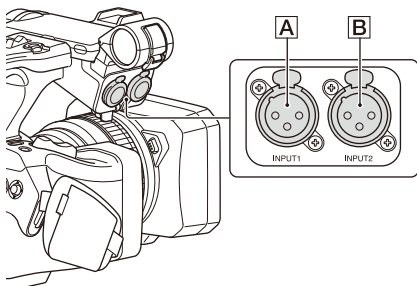
#### ご注意

- プリセットモードのときは、オートホワイトバランスは実行できません。
- 正常に終了しなかったときは画面にエラーメッセージが表示されます。繰り返し調整を試みて

もエラーメッセージが表示されるときは、ソニーのサービス担当者にご相談ください。

## 記録する音声を設定する

下図の端子やスイッチ、ダイヤルなどを使い、収録する音声を設定します。



### 外部音声の入力端子と切り替えスイッチ

AUDIO INPUT1端子 **A**

AUDIO INPUT2端子 **B**

INPUT1スイッチ **C**

INPUT2スイッチ **J**

### 音源の設定用スイッチ

CH1 (INT/EXT/MI SHOE)

スイッチ **D**

CH2 (INT/EXT/MI SHOE)

スイッチ **I**

### 録音レベルの設定用スイッチ

AUDIO LEVEL (CH1) ダイヤル **E**

AUDIO LEVEL (CH2) ダイヤル **H**

AUDIO LEVEL (CH3) ダイヤル **F**

AUDIO LEVEL (CH4) ダイヤル **G**

ブロックダイヤグラム (172ページ) を合わせてご覧ください。

## 内蔵マイクを使う

本体内蔵マイクを用いて、音声を収録できます。

### CH1、CH2 に記録する場合

CH1 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ **D** とCH2 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ **I** を「INT」にする。

### CH3、CH4 に記録する場合

AudioメニューのAudio Input (113ページ) のCH3 Input SelectとCH4 Input Selectで、Internal MICを選択する。

## 外部音声機器を使う

ミキサーなどの外部音声機器を使用することができます。

### CH1、CH2 に記録する場合

**1** CH1 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ **D** とCH2 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ **I** を「EXT」にする。

AudioメニューのAudio InputのCH2 EXT Input SelectがINPUT2に設定されている場合は、AUDIO INPUT1/AUDIO INPUT2端子の音声がそれぞれCH1/CH2に記録されます。

CH2 EXT Input SelectをINPUT1に設定すると、AUDIO INPUT1端子の音声がCH1とCH2の両方に記録されます。

**2** INPUT1/INPUT2スイッチ (**C**/**J**) を「LINE」にする。

**3** AUDIO INPUT1/AUDIO INPUT2端子 (**A**/**B**) に外部音声機器を接続する。

### CH3、CH4 に記録する場合

**1** AudioメニューのAudio Input (113ページ) のCH3 Input SelectでINPUT1を選択し、CH4 Input SelectでINPUT2 (またはINPUT1) を選択する。

CH4 Input SelectでINPUT1を選択すると、AUDIO INPUT1端子の音声がCH3とCH4の両方に記録されます。

## 2 「CH1、CH2に記録する場合」の手順2、3を行う。

---

### 外部マイクを使う

---

エレクトレットコンデンサーマイクロホンなどを取り付けて使用することができます。

#### CH1、CH2に記録する場合

### 1 CH1 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ とCH2 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ を「EXT」にする。

AudioメニューのAudio InputのCH2 EXT Input SelectがINPUT2に設定されている場合は、AUDIO INPUT1/AUDIO INPUT2端子の音声がそれぞれCH1/CH2に記録されます。  
CH2 EXT Input SelectをINPUT1に設定すると、AUDIO INPUT1端子の音声がCH1とCH2の両方に記録されます。

### 2 INPUT1/INPUT2スイッチ (/ ) を切り替える。

**MIC**：電源供給不要のマイクの場合  
**MIC+48V**：+48V電源供給を要するマイクの場合

#### ご注意

- MIC+48Vにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機器の故障の原因になります。接続前にご確認ください。
- 接続しない端子の雑音が気になるときは、INPUT1/INPUT2スイッチを「LINE」にしてください。

### 3 マイクホルダーの取っ手を引き上げてカバーを開ける。

### 4 マイクを取り付け、マイクホルダーのカバーを元どおり閉めてマイクを固定する。

### 5 AUDIO INPUT1/AUDIO INPUT2端子 (/ ) にマイクケーブルを接続する。

XLRプラグが2個付いているステレオマイクを使うときは、AUDIO INPUT1端

子にL (左) チャンネル、AUDIO INPUT2端子にR (右) チャンネルを接続してください。

#### CH3、CH4に記録する場合

### 1 AudioメニューのAudio Input (113ページ) のCH3 Input SelectでINPUT1を選択し、CH4 Input SelectでINPUT2 (またはINPUT1) を選択する。

CH4 Input SelectでINPUT1を選択すると、AUDIO INPUT1端子の音声がCH3とCH4の両方に記録されます。

### 2 「CH1、CH2に記録する場合」の手順2~5を行う。

---

### マルチインターフェースシュー対応マイクを使う

---

#### CH1、CH2に記録する場合

### 1 CH1 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ とCH2 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ を「MI SHOE」にする。

### 2 マルチインターフェースシューにマイクを取り付ける。

#### CH3、CH4に記録する場合

### 1 AudioメニューのAudio Input (113ページ) のCH3 Input SelectでShoe CH1を選択し、CH4 Input SelectでShoe CH2を選択する。

### 2 マルチインターフェースシューにマイクを取り付ける。

#### ご注意

- FrontとRearのマルチインターフェースシューで同時に2つのマイクを使うことはできません。先に接続したマイクのみ有効になります。

---

## 録音レベルを調節する

---

### 自動調節にする (AGC)

**AUDIO LEVEL (CH1/CH2/CH3/CH4)ダイヤル (E/H/F/G) を「AUTO」の位置にする。**

AudioメニューのAudio Input (113ページ)のCH1&2 AGC Modeで、レベル自動調節をCH1とCH2それぞれ単独に行う (Mono) か、CH1とCH2を連動させて行う (Stereo) かを設定できます。

また、CH3&4 AGC Modeで、レベル自動調節をCH3とCH4それぞれ単独に行う (Mono) か、CH3とCH4を連動させて行う (Stereo) かを設定できます。

### 手動で調節する

**撮影中またはスタンバイ中に、調節するチャンネルのAUDIO LEVEL (CH1/CH2/CH3/CH4) ダイヤル (E/H/F/G) を0~10の位置に回して、録音レベルを調節する。**

風切り音を低減するには、AudioメニューのAudio InputのCH Wind FilterをOnにしてください (113ページ)。

---

## 特殊記録モードでの音声記録

---

インターバルレックモード、スロー&クイックモーション撮影では、音声は記録されません。

## 手ぶれ補正

手ぶれ補正機能を有効にすると、撮影時の細かな動きによる画像のぶれを抑えることができます。

### レンズのSTEADY SHOTボタンを押す。

ボタンを押すごとに、手ぶれ補正モードがON/OFFします。  
設定は、液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます。

## ご注意

- 三脚に載せて安定した状態で使用するときは、手ぶれ補正をOFFにしてください。

## タイムデータ

---

### タイムコードを設定する

---

記録されるタイムコードは、TC/UBメニュー (119ページ) のTimecodeで設定します。

---

### ユーザービットを設定する

---

8桁の16進数をユーザービットとして記録映像に付加できます。ユーザービットを現在時刻に設定することも可能です。

TC/UBメニューのUsers Bit (119ページ) で設定します。

---

### タイムデータを表示する

---

DISPLAYボタンを押すと、画面にタイムデータが表示されます (12ページ)。  
表示は、DURATION/TC/U-BITボタン (11ページ) を押すたびに、タイムコード、ユーザービット、経過時間の順に切り替わります。

表示	内容
TCG **:**:**:**	タイムコード
CLK **:**:**:**	タイムコード (Clockモード)
UBG * * * * *	ユーザービット
DUR **:**:**:**	記録開始からの経過時間

# 便利な機能を使う

## ダイレクトメニュー操作

液晶画面/ビューファインダー画面に表示される本機の状態や設定を、直接選択して変更することができます。

ダイレクトメニューは、アサイナブルボタンに割り当ててすることで使用できるようになります。

設定できる項目は、以下のとおりです。

- Auto Focus Mode
- ATW
- Preset White
- Color Temp.<A>|<B>
- Scene File
- ND Filter Position
- Auto ND Filter
- ND Filter Value
- Auto Iris
- Iris Value
- AGC
- Gain Value H/M/L/Turbo
- ECS
- Auto Shutter
- Shutter Speed Value
- Shutter Angle Value
- Auto Exposure Mode
- Auto Exposure Level
- S&Q Frame Rate

### ご注意

- フルオートモード（29ページ）で強制的に自動モードになる機能は、FULL AUTOボタンのインジケータの点灯中はダイレクトメニュー操作できません。

## 1 ダイレクトメニューを割り当てたアサイナブルボタンを押す。

DISPLAYボタンで液晶画面/ビューファインダー画面に情報を表示しているときは、表示項目のうち、ダイレクトメニュー操作のできる項目のいずれかにカーソルが表示されます。

液晶画面/ビューファインダー画面に情報を表示していないときは、ダイレク

トメニュー操作のできる項目のみ表示され、そのいずれかにカーソルが表示されます。

## 2 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ ボタンまたはSEL/SETダイヤルで操作したい項目にカーソルを合わせ、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

選択した項目のダイレクトメニューが表示されます。

## 3 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ ボタンまたはSEL/SETダイヤルで設定を選び、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

メニューが消えて、新しい設定が表示されます。

再びダイレクトメニューを割り当てたアサイナブルボタンを押すか、何も操作しないで3秒経過すると、ダイレクトメニューが終了し、撮影画面に戻ります。

SystemメニューのMenu SettingのDirect Menu with <SET>（138ページ）をOnにすると、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押してダイレクトメニューを開始することができます。ただし、顔検出AFの登録顔機能が使用できなくなります。


## 顔検出AF

人物の顔を検出して、その顔にフォーカスを合わせることができます。

フォーカス調節がAFモードまたはブッシュオートフォーカス中のみ使用できます。

顔を検出すると灰色の顔検出枠が表示され、オートフォーカス可能と判断されると枠が白色になります。複数の人物を検出したときは、主な被写体は自動的に決定します。

## CameraメニューのFocus（102ページ）で、顔検出AFの動作を設定する。

**Face Only AF：【顔限定AF】** カメラが被写体（人物）の顔を検出したとき、人の顔にフォーカスを合わせます。顔を検出しない間は、AFが一時停止し（MF）、顔限定AF中のAF一時停止アイコン（12



ページ)が表示されます。顔検出が安定しないときに有効なモードです。

**Face Priority AF**：【顔優先AF】カメラが被写体(人物)の顔を検出したとき、人の顔に優先的にフォーカスを合わせます。顔を検出しないときは、AFモードになります(初期設定)。

**Off**：顔検出AF機能を無効にします。

#### ご注意

- Face Only AFに設定しているときでも、プッシュオートフォーカス実行中は、Face Priority AFになります。
- 以下のときは、顔検出AFできません。
  - Full MFモード時
  - FocusスイッチがManualのとき(プッシュオートフォーカス実行中を除く)
  - 記録フォーマットがDVCAMのとき
- Face Only AFに設定した状態で本機の電源を切った場合、次に電源を入れると自動的にFace Priority AFになります。


## 顔検出枠を消す

顔検出枠の表示/非表示は、LCD/VFメニューのDisplay On/OffのFace Detection Frame(117ページ)で設定できます。

## 登録した顔にフォーカスを合わせる


顔検出AFの動作時、フォーカスを合わせたい被写体(人物)の顔を登録することができます。

登録できる顔は1つで、既に登録されている場合は、上書きされます。

顔を登録すると顔枠が二重枠になり、登録が完了すると登録顔ありアイコン(12ページ)が表示されます。




顔検出AFは、登録顔と顔検出AFの動作モードとの組み合わせによって、次のように動作します。

**Face Priority AF時**：【登録顔優先AF】登録顔を検出した場合、その顔にフォーカスを合わせます。登録顔が検出されない場合、通常のFace Priority AFとして動作します。

**Face Only AF時**：【登録顔限定AF】登録顔を検出した場合のみ、その顔にフォーカスを合わせます。登録顔が検出されない間は、AFが一時停止し(MF)、顔限定AF中のAF一時停止(12ページ)

が表示されます。登録した人へのみのオートフォーカスしたいときに有効なモードです。

## 登録顔の設定




//ボタンで顔選択カーソル(オレンジ色の下線)を登録する顔に移動して、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

他の顔枠(灰色) 登録顔枠(白色二重)



顔選択カーソル(オレンジ)

## 登録顔の解除

//ボタンで登録顔枠に選択カーソルを移動して、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

登録顔が解除され、顔枠が一重枠となり、登録顔ありアイコンが消えます。

登録顔枠がない場合は、顔を検出し、顔選択カーソル(オレンジ)が表示された状態でSETボタンまたはSEL/SETダイヤルを2回押すことで、登録顔が解除されます。

#### ご注意

- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては、顔を検出できないことがあります。
- 撮影環境によっては、正しい効果が得られない場合や、人物以外を顔として検出する場合があります。この場合は、顔検出AF機能をOffに設定してください。
- 顔の登録は、実際に撮影する人物の顔を撮影直前に登録することをおすすめします。
- 顔の登録時に、髪型や装飾、正面を向いていないなどの理由により、登録が完了しないことがあります。その場合、顔枠は二重枠になりますが、登録顔アイコンは表示されず、登録顔なしの動作となります。
- 既に顔が登録されている場合は、一旦登録を解除してから登録することをおすすめします。
- SystemメニューのMenu SettingのDirect Menu with <SET>(138ページ)をOnにした場合は、登録顔機能は使用できません。

---

## アサインابلボタンで顔検出AFの動作を切り替える

---

アサインابلボタン（43ページ）にFace Detection AFを割り当てると、そのボタンを押すたびに、顔検出AFの動作がFace Priority AF、Face Only AF、Offの順に切り替わります。

---

## ダイレクトメニューで設定する

---

顔検出AFの動作は、ダイレクトメニュー（40ページ）でも切り替えることができます。

## カラーバー / 基準音声信号

CameraメニューのColor Bars（104ページ）のSettingsをOnにすると、撮影中の映像に代えてカラーバーを出力することができます。Offにすると、映像に戻ります。

AudioメニューのAudio Input（113ページ）の1kHz Tone on Color BarsをOnにすると、カラーバーと同時に1kHzの基準音声信号が出力されます。

カラーバーと基準音声信号は、SDI OUT端子、HDMI OUT端子、VIDEO OUT端子（カラーバーのみ）から出力されます。

カラーバーの種類は、CameraメニューのColor BarsのTypeで設定できます。

### ご注意

- スロー&クイックモーション撮影時は、カラーバーを出力することはできません。
- 記録中は、カラーバーには切り替わりません（カラーバーからカメラ画像への切り替えは可能です）。

## ショットマーク

exFATまたはUDFモードで記録したクリップでは、映像/音声の重要なシーンに、ショットマークを記録しておく、マークを付けたシーンだけが表示されるエッセンスマークサムネイル画面（87ページ）で目的のシーンを容易に頭出しでき、効率的な編集作業が可能になります。

本機では、ショットマーク1、ショットマーク2の2種類のショットマークを記録できません。

ショットマークは撮影中に随時記録するか、記録終了後に再生画像を確認しながら追加することができます。

---

## 撮影中にショットマークを記録する

---

アサインابلボタン（43ページ）に、Shot Mark1またはShot Mark2を割り当て、そのボタンを、ショットマークを入れたいシーンで押します。

- ◆ 記録終了後にショットマークを追加する方法については、「再生中にショットマークを追加する（exFAT、UDF）」（82ページ）をご覧ください。
- ◆ プランニングメタデータを使ってショットマーク名をつける方法は「プランニングメタデータでショットマーク名を設定する」（55ページ）をご覧ください。

## OK/NG/ KEEPフラグ （exFAT、UDF）

exFATまたはUDFモードで記録したクリップは、OK/NG/KEEPフラグを付加することができます。

フラグを付加することによって、必要なクリップのみフィルタードクリップサムネイル画面（87ページ）に表示させることができます。

### ご注意

- クリップを保護するには、Lock Clipの設定（85ページ）が必要です。

---

## フラグを付加する

---

記録中または再生中のクリップにOK/NG/KEEPフラグが付加することができます。

**記録中または再生中に、Clip Flag OK/Clip Flag NG/Clip Flag Keepを割り当てたアサインابلボタンを押す。**

---

## フラグを削除する

---

クリップに付加されたOK/NG/KEEPフラグを削除することができます。

## Clip Flag OK/Clip Flag NG/Clip Flag Keepを割り当てたアサインボタンを2回続けて押す。

- ◆サムネイル画面からもOK/NG/KEEPフラグを付加、削除することができます。詳しくは「フラグを付ける/フラグを削除する(exFAT、UDF)」(86ページ)をご覧ください。

## レックレビュー

直前に記録したクリップの映像を画面で確認(レックレビュー)できます。

### 記録を停止したら、Rec Reviewを割り当てたアサインボタンを押す。

RecordingメニューのRec Review(121ページ)の設定に従って、クリップの最後の3秒、10秒、またはクリップの先頭から再生します。

クリップの終わりまで再生すると、レックレビューは終了し、STBY(記録待機)モードに戻ります。

### レックレビューを中止するには

### STOPボタンまたはRec Reviewを割り当てたアサインボタンを押す。

#### ご注意

- 記録後にビデオフォーマットを変更したときは、レックレビューはできません。
- レックレビュー中は、セットアップメニューは操作できません。
- サムネイル画面がフィルタードクリップサムネイル画面のときは、レックレビューはできません。

## アサインボタン

本機には、機能を割り当てて使用できるアサインボタンが10個(7ページ)あります。

### 機能を変更する

SystemメニューのAssignable Button(136ページ)を使用します。

割り当てられた機能は、アサインボタンステータス画面(16ページ)で確認することができます。

### 出荷時のアサインボタンに割り当てられている機能

ボタン1	Zebra
ボタン2	Peaking
ボタン3	Video Signal Monitor
ボタン4	Network Client Mode
ボタン5	Off
ボタン6	Off
ボタン7	Direct Menu
ボタン8	Focus Magnifier
ボタン9	Off
ボタン10	Push Auto Iris

### 割り当てられる機能

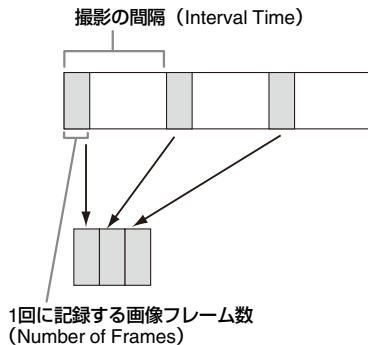
各機能の内容については、136ページをご覧ください。

- Off
- Push AF/Push MF
- Face Detection AF
- ND Filter Position
- Auto ND Filter
- Push Auto ND
- Push Auto Iris
- Turbo Gain
- AGC
- Shutter
- Auto Exposure Level
- Spotlight
- Backlight
- Flash Band Reduce
- Digital Extender x2
- Handle Zoom
- Color Bars
- Preset White Select
- ATW
- ATW Hold
- Marker
- Zebra
- Peaking
- Video Signal Monitor
- Focus Magnifier
- Lens Info
- LCD/VF Adjust
- VF Mode
- Gamma Display Assist

- Display
- Rec
- S&Q Motion
- Clip Continuous Rec
- Picture Cache Rec
- Proxy Rec Start/Stop
- Rec Review
- Last Clip Delete
- Thumbnail
- Shot Mark 1
- Shot Mark 2
- Clip Flag OK
- Clip Flag NG
- Clip Flag Keep
- NFC
- Network Client Mode
- Intercom Level
- Streaming
- Auto Upload (Proxy)
- Direct Menu
- User Menu
- Menu

## インターバルレック

1回に記録するフレーム数 (Number of Frames) と間隔時間 (Interval Time) を設定し、間欠的に映像を自動記録できます。主に動きの少ない被写体を撮影するとき有効です。



三脚などに本機を固定して、本体の録画ボタンの代わりにWebリモコンなどのリモコンのボタンで操作することをお勧めします。

### ご注意

- インターバルレックモードでは、音声は記録できません。
- インターバルレックは、ピクチャーキャッシュレック、スロー&クイックモーション、クリップコンティニューアスレック、2スロット同時記録、4K & HD (Sub) 記録、プロキシー記録と同時にOnにすることはできません。インターバルレックをOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。

## 撮影前の設定

あらかじめRecordingメニューのInterval Rec (120ページ) で設定を行ってください。

SettingをOnにすると、インターバルレックモードが有効になり、画面上に「Int Stby」が表示されます。

マルチインターフェースシュー対応のビデオライトを装着した場合、RecordingメニューのInterval RecのPre-Lightingを設定することで、記録開始よりも2秒前、5秒前、または10秒前にライトを自動的に点灯させることができます。

### ご注意

- Pre-LightingがOnのときは、CameraメニューのVideo Light SetをRec LinkまたはRec Link + Stbyに設定していても、Interval Timeの設定により、ビデオライトの消灯時間が5秒以下になる場合は、ビデオライトは点灯したままとなります。

## インターバルレックモードで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

### 録画ボタンを押す。

記録を開始すると、画面上の「Int Stby」表示が「Int ●Rec」と「Int ●Stby」の交互表示に変わります。

### ご注意

- インターバルレックモードで記録が行われている間は、Interval TimeおよびNumber of Framesの設定値は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- インターバルレックモードで記録を開始すると、インターバル期間を含め、レックレビュー操作はできません。

- インターバルレックモードでは、タイムコードはRec Runモードで記録されます（119ページ）。
- インターバルレックモードで記録を停止したときや、記録停止中にスロットを切り替えたときは、余分なフレームが記録されることがあります。
- 本機の電源スイッチをSTANDBYにした場合、Interval RecのSettingは自動的にOffになります。ただしInterval TimeおよびNumber of Framesの設定値は保持されます。

## クリップコンティニューアスレック (exFAT、UDF)

通常は記録開始、停止のたびに1つのクリップが独立したファイルとして生成されますが、クリップコンティニューアスレック機能を使用すると、記録と停止を繰り返しても、機能が停止または解除されるまで連続した1つのクリップを生成することができます。短いクリップを数多く生成したくないとき、または記録できるクリップ数の上限を意識しないで記録したいときに便利な機能です。記録の開始点にはレックスタートマークが記録されるため、記録開始位置の検索も容易です。クリップコンティニューアスレックに対応する記録フォーマットについては、「特殊記録の対応」（145ページ）をご覧ください。

### 撮影前の設定

あらかじめRecordingメニューのClip Continuous Rec（120ページ）で設定を行ってください。SettingをOnにすると、クリップコンティニューアスレック機能が有効になり、画面上に「Cont Stby」が表示されます（12ページ）。

#### アサインナブルボタンで設定する

アサインナブルボタン（43ページ）にClip Continuous Recを割り当てると、そのボタンを押すたびに、クリップコンティニューアスレック機能のOn、Offが切り替わります。

#### ご注意

- クリップコンティニューアスレックは、インターバルレック、ピクチャーキャッシュレック、スロー&クイックモーション、2スロット同時記

- 録、4K & HD (Sub) 記録と同時にONにすることはできません。クリップコンティニューアスレックをONにすると、これらの機能は強制的にOffになります。
- 記録中はクリップコンティニューアスレックモードにできません。

### クリップコンティニューアスレックで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

#### 録画ボタンを押す。

記録を開始すると、画面上の「Cont Stby」表示が「Cont ●Rec」（●は赤）表示に変わります。

#### ご注意

- 記録中または記録待機中（「Cont Stby」表示が点灯した状態）にSxSメモリーカードを取り出したり、バッテリーや電源を抜いたりすると、SxSメモリーカードの修復が必要になります。クリップコンティニューアスレックモードを終了してからSxSメモリーカードを取り出してください。なお、「Cont Stby」が点滅（1回/秒）しているときは、SxSメモリーカードを取り出すことができます。
- 最低2秒間記録してから記録を停止してください。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

#### クリップコンティニューアスレックモードを終了するには

記録待機中に、RecordingメニューのClip Continuous Rec（120ページ）のSettingをOffにするか、Clip Continuous Recを割り当てたアサインナブルボタンを押します。

#### 動作制限

記録中または記録待機中に以下の操作を行うと、1つのつながったクリップが作成されません。次に記録を行うと、新たなクリップが生成されます。

- クリップ操作（クリップのロック、削除、または名前の変更）
- メモリーカードスロットの切り替え
- 記録フォーマットの変更

- 電源スイッチをSTANDBYにして電源を切る
- サムネイル画面を表示する
- クリップを再生する
- クリップコンティニュアスレックモードの終了

## ピクチャーキャッシュレック

内蔵キャッシュメモリーに映像を常時蓄えておく（最大28秒間）ことによって、記録を開始したとき、開始の数秒前からの映像を記録することができます。

ピクチャーキャッシュレック機能は、記録フォーマット（133ページ）が下記のいずれかに設定されている場合に設定することができます。

- XAVC-I
- XAVC-L
- MPEG HD 422
- MPEG HD 420

### ご注意

- ピクチャーキャッシュレックは、インターバルレック、クリップコンティニュアスレック、スロー&クイックモーション、2スロット同時記録、4K & HD (Sub) 記録、プロキシー記録と同時にOnにすることはできません。ピクチャーキャッシュレックをOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。
- 記録中、レックレビュー中は、ピクチャーキャッシュレックモードにできません。
- ピクチャーキャッシュレックがOnのときは、タイムコードはTC/UBメニューの設定に関わらず常にFree Runモードで記録されます（119ページ）。

## 撮影前の設定

あらかじめRecordingメニューのPicture Cache Rec（120ページ）で設定を行ってください。

SettingをOnにすると、ピクチャーキャッシュレックが有効になり、画面上に「Cache」が表示されます。

### アサインブルボタンで設定する

アサインブルボタン（43ページ）にPicture Cache Recを割り当てると、そのボタンを押すたびに、ピクチャーキャッシュレックのOn、Offが切り替わります。

## ピクチャーキャッシュレックで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

### 録画ボタンを押す。

記録を開始すると、画面上の「Cache」表示が「●Rec」に変わります。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

### ピクチャーキャッシュレック機能を解除するには

記録待機中に、RecordingメニューのPicture Cache RecのSettingをOffにするか、Picture Cache Recを割り当てたアサインブルボタンを押します。

### ご注意

- 記録フォーマットが変更されると、それまで蓄えていた映像をクリアし、新たに蓄積を開始します。従って、変更直後に記録を開始しても、フォーマット変更前の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- SxSメモリーカード挿入直後にピクチャーキャッシュレックの開始/終了操作を行った場合は、データがカードに記録されないことがあります。
- 画像の蓄積は、ピクチャーキャッシュレック機能をOnにしてから開始されます。したがって、Onにする前の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- 再生、レックレビュー、サムネイル画面表示など、SxSメモリーカードにアクセスしている間は映像を蓄えないため、この間の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- マルチインターフェースシュー対応のビデオライトを装着した場合、CameraメニューのVideo Light SetをRec LinkまたはRec Link + Stbyに設定して記録を開始しても記録開始以前にさかのぼった記録には対応しません。録画ボタンを押した時点で点灯/消灯します。

## スロー&クイックモーション

ファイルシステムがexFATで記録フォーマット（133ページ）が下記のいずれかに設定されているときは、記録時のフレームレートを再生時のフレームレートと異なる値に設定することができます。

記録フォーマット	システム 周波数	S&Q フレーム レート
XAVC-I	59.94/29.97/	1~60fps
2160P/1080P	23.98/50/25	(1FPS単位)
XAVC-L		
2160P/1080P		
MPEG HD422/	29.97/23.98	1~30fps
MPEG HD420		(1FPS単位)
1080P	25	1~25fps
		(1FPS単位)
MPEG HD422	59.94/29.97/	1~60fps
720P	23.98	(1FPS単位)
	50/25	1~50fps
		(1FPS単位)

#### ご注意

- 記録中、再生中、サムネイル表示中は、スロー&クイックモーションモードにできません。
- スロー&クイックモーションは、インターバルレック、クリップコンテンツリニアスレック、ピクチャーキャッシュレック、2スロット同時記録、4K & HD (Sub) 記録、プロキシー記録と同時にOnにすることはできません。スロー&クイックモーションをOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。
- スロー&クイックモーションモードでは、音声は記録できません。

## 撮影前の設定

あらかじめRecordingメニューのS&Q Motion (119ページ) で設定を行ってください。

SettingをOnにすると、スロー&クイックモーションモードが有効になり、画面上に「S&Q Stby」が表示されます。

### ダイレクトメニューで撮影フレームレートを設定する

スロー&クイックモーションモードの撮影フレームレートは、ダイレクトメニュー (40ページ) で設定することができます。

### アサインボタンで設定する

アサインボタン (43ページ) にS&Q Motionを割り当てると、そのボタンを押すたびに、スロー&クイックモーションモードのOn、Offが切り替わります。また、アサインボタンを長押しすると、撮影フレームレート設定画面が表示され、撮影フレームレートを設定することができます。

## スロー&クイックモーションモードで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

### 録画ボタンを押す。

記録を開始すると、画面上の「S&Q Stby」表示が「S&Q ●Rec」に変わります。

#### ご注意

- スロー&クイックモーション撮影中は、Frame Rateの設定は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- スロー&クイックモーションモード撮影中は、レックレビュー操作はできません。
- スロー&クイックモーション撮影では、タイムコードはRec Runモードで記録されます (119ページ)。
- 遅いフレームレートで撮影していた場合は、録画ボタンを押してから記録が停止するまでに時間がかかる場合があります。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

### スロー&クイックモーションを解除するには

記録待機中に、RecordingメニューのS&Q MotionのSettingをOffにするか、S&Q Motionを割り当てアサインボタンを押します。

## 2スロット同時記録

メモリーカードAとメモリーカードBの両方のメモリーカードを使って同時記録が行えます。

## 撮影前の設定

あらかじめRecordingメニューのSimul Rec (120ページ) で、SettingをOnにします。

#### ご注意

- 2スロット同時記録は、インターバルレック、クリップコンテンツリニアスレック、ピクチャーキャッシュレック、スロー&クイックモーション、4K & HD (Sub) 記録と同時にOnにすることはできません。2スロット同時記録をOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。

- 記録フォーマットがQFHDモード (3840×2160P) のとき、2スロット同時記録はできません。2スロット同時記録がOnのときに記録フォーマットをQFHDモードに変更すると、2スロット同時記録は強制的にOffになります。

## 2スロット同時記録モードで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

### 録画ボタンを押す。

#### ご注意

- 2スロット同時記録の際は、同じ種類、同じサイズのメモリーカードをご使用ください。
- メモリーカードはSxSメモリーカードを推奨します。
- SDHCカードは、2スロット同時記録機能には対応していません。
- 記録中、再生中、サムネイル表示中は、2スロット同時記録機能は設定できません。
- 記録中に一方のスロットのメディアがフルになった場合は、もう一方のスロットのメディアが記録可能であれば、通常記録として継続記録します。通常記録として継続記録中にメディアを交換しても、同時記録やリレー記録は行われません。
- 2スロット同時記録モードで記録を開始したとき、どちらか一方のスロットにのみメディアが挿入されていた場合やどちらか一方のメディアがフルになっていた場合は、記録可能なメディアにのみ記録を行います。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

### 2スロット同時記録モードを解除するには

記録待機中に、RecordingメニューのSimul RecのSettingをOffにします。

## 録画ボタン/ハンドル録画ボタンの設定を変える

クリップの録画ボタンとハンドル録画ボタンで、それぞれ別のメモリーカードの記録開始/終了をすることができます。

出荷時の設定は、どちらのボタンもメモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録するように設定されています。

- Rec Button:   Handle Rec Button:

## 設定を変えるには

### RecordingメニューのSimul RecのRec Button Setを選択する。

Rec Button Setの設定	ボタンとメモリーカード
Rec Button: <input type="text" value="A"/> <input type="text" value="B"/> Handle Rec Button: <input type="text" value="A"/> <input type="text" value="B"/>	どちらのボタンを押しても、メモリーカードAとメモリーカードBに同時に記録を開始/終了する。
Rec Button: <input type="text" value="A"/> Handle Rec Button: <input type="text" value="B"/>	録画ボタンを押したときはメモリーカードAに、ハンドル録画ボタンを押したときはメモリーカードBに、記録を開始/終了する。
Rec Button: <input type="text" value="B"/> Handle Rec Button: <input type="text" value="A"/>	録画ボタンを押したときはメモリーカードBに、ハンドル録画ボタンを押したときはメモリーカードAに、記録を開始/終了する。

## 4K & HD (Sub) 記録

1枚のSxSメモリーカードに、4K (QFHD) の映像をメインクリップ、事前編集などに活用できるMPEG HD422の映像をサブクリップとして、同時に記録することができます。

4K & HD (Sub) 記録に使用できるSxSメモリーカードの記録フォーマットは、以下のとおりです。

サブクリップの記録フォーマットは、メインクリップのシステム周波数によって決まります。

メインクリップ記録フォーマット	システム周波数	サブクリップ記録フォーマット
XAVC-I	29.97/25/	MPEG HD422
3840×2160P	23.98	1920×1080P
XAVC-L	59.94/50	MPEG HD422
3840×2160P		1920×1080i

#### ご注意

- 4K & HD (Sub) 記録にSDカードは使用できません。



## 撮影前の設定

あらかじめRecordingメニューの4K & HD (Sub) Rec (121ページ) で、SettingをOnにします。

### ご注意

- 4K & HD (Sub) 記録は、インターバルレック、クリップコンティニュースレック、ピクチャーキャッシュレック、スロー&クイックモーション、2スロット同時記録、プロキシー記録と同時にOnにすることはできません。4K & HD (Sub) 記録をOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。
- 記録中、再生中、サムネイル表示中は、4K & HD (Sub) 記録機能を設定できません。

## 4K & HD (Sub) 記録モードで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

### 録画ボタンを押す。

撮影中は、画面の記録フォーマット（コーデック）の右横に「XAVC-I/Sub」または「XAVC-L/Sub」と表示されます。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

### 4K & HD (Sub) 記録モードを解除するには

記録待機中に、Recordingメニューの4K & HD (Sub) RecのSettingをOffにします。

## ハイダイナミックレンジ (HDR) 撮影

ハイダイナミックレンジ (HDR) モードにすると、ダイナミックレンジを拡大し、BT.2020相当の色域で記録や出力を行うことができます。

ハイダイナミックレンジ機能は、exFATの場合に有効です。

### ご注意

- DVCAMのファイルフォーマットには対応していません。

## ハイダイナミックレンジモードを設定する

SystemメニューのBase SettingのShooting Modeで、HDRを選択するとハイダイナミックレンジモードに設定されます。

### HDR の設定

SystemメニューのHDR Setting (133ページ) でHDRを設定します。

### HDR(HLG) 時に使用する HLG 種類の設定

ハイダイナミックレンジモードをHDR(HLG)に選択した場合、HLG種類を設定することができます。

詳しくは、(106ページ) をご覧ください。

### ガンマ表示アシスト機能の設定

本機のファインダーと液晶モニターはHDR対応ではないため、HDRとしての適切な表示にはなりません。これに対し、ガンマ表示アシスト機能を使用すると、撮影しやすさを考慮した表示にすることができます。ガンマ表示アシスト機能は、LCD/VFメニューのGamma Display Assist (117ページ) で設定を切り替えられます。

### ご注意

- ガンマ表示アシスト機能は、液晶画面/ビューファインダー画面のみに適用されます。記録画像や出力画像には適用されません。

## フランジバックの自動調整

レンズマウントの取り付け面と撮像素子面までの距離（フランジバック）を自動調整します。

レンズズームの広角端と望遠端でフォーカスが正しく合わない場合に実施します。正しく調整されると、フォーカス調整後にズーム位置を変更しても、フォーカスが合ったまま保持されます。

### ご注意

- コントラストの不鮮明な被写体を使用したり、調整中に本機や被写体を動かしたりすると、調整が正しく行われません。調整開始後は完了するまでレンズや本体に触れないでください。
- スロー&クイックモーション撮影時は、フランジバックの自動調整はできません。

- フランジバック調整中は、照明器具や太陽、明るい窓などの光源が、画枠に映り込まないようにしてください。
- フランジバック調整用チャートが必要な場合は、各販売店にお問い合わせください。

- 1 電源スイッチをONにする。
- 2 コンバージョンレンズなどが装着されている場合は取り外す。
- 3 通常の撮影モードにする。
- 4 LCD/VFメニューのMarker (116ページ) で、SettingをOnにするか、Center MarkerをOff以外に設定して、画面にセンターマーカを表示する。
- 5 フランジバック調整用チャートなど、コントラストのはっきりした被写体を約3m離れた位置に置き、適正な映像出力が得られるように照明をあてる。  
被写体は、ズームの望遠端で画面中央になるように置いてください。また、広角端にしたときに被写体より距離が近いものが画面内に入らないようにしてください。
- 6 ズームを望遠端にして、フランジバック調整用チャートなどの被写体の中心を画面のセンターマーカに合わせる。
- 7 SystemメニューのRec Format (133ページ) で、Video Formatを3840×2160P、Frequencyを59.94または50のいずれかにする。
- 8 ズームを広角端にして、フルオートモードをOFFにし、シャッタースピード、ゲイン、およびアイリスを次のように設定する (33ページ)。  
シャッタースピード：オートシャッター  
ゲイン：0dB  
アイリス：F1.9 (開放)
- 9 適切な明るさになるように照明やNDフィルターを調節する。

## 10 本機底面のZOOMスイッチをSERVO側にする (電動ズームモード)。

## 11 CameraメニューのAuto FB Adjustで、Executeを選択する。

フランジバックの自動調整が始まります。調整中は、画面に実行中メッセージが表示されます。調整が正常に終了すると、メッセージが完了メッセージに変わります。

### ご注意

- Auto FB Adjust実行中はNDフィルターを切り替えないでください。

調整中にCANCELボタンを押すとフランジバックの自動調整処理は中断し、実行前の状態に戻ります。

フランジバック調整が正しく行われなかった場合は

エラーメッセージが表示されます。被写体や照明の状態を確認して、調整をもう一度やり直してください。

## 設定データの保存と呼び出し

セットアップメニューの設定内容を、本機の内蔵メモリーまたはSDカード、“メモリースティック”に保存することができます。このデータを使って適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。設定データは、次のように分類されて保存されます。

### User File (ユーザーファイル)

カスタマイズしたUserメニューの設定項目と設定データを保存します。SDカードまたは“メモリースティック”に64個まで保存することができます。このファイルの本機のメモリーに読み込むことにより、Userメニューをカスタマイズした状態にセットアップすることができます。

## All File (ALL ファイル)

全メニューの設定データを保存します。SDカードまたは“メモリースティック”に64個まで保存することができます。

### ご注意

- 機器固有のデータ（機器ごとに調整が必要なシェーディングや出力レベルなど）は保存されません。

## Scene File (シーンファイル)

撮影シーンに合わせて設定したペイント項目の設定値を保存します。本機の内蔵メモリーに5個、SDカードまたは“メモリースティック”に64個まで保存することができます。

## 設定データ保存に使用可能なメディア

**SDXCメモリーカード\***（Speed Class：4～

10/UHS非対応/容量：2～32GB、64GB～）

**SDHCメモリーカード\***（Speed Class：4～10/UHS非対応/容量：2～32GB）

**SDメモリーカード\***（容量：2GBまで）

“メモリースティックPRO-HGデュオ”\*\*

“メモリースティックPROデュオ”\*\*

\* 本書ではSDカードと表現しています。

\*\* 本書では“メモリースティック”と表現しています。

## メディアをフォーマット（初期化）する

本機で初めてSDカードや“メモリースティック”を使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用するSDカードや“メモリースティック”は、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。SDカードや“メモリースティック”を装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

- 1 SDカードまたは“メモリースティック”を、ラベルを右にして**UTILITY SD/MSスロット（9ページ）**に差し込む。

- 2 **MediaメニューのFormat Media（123ページ）のUtility SD/MSでExecuteを選択する。確認メッセージが表示されたら、もう一度Executeを選択する。**

実行中メッセージと進捗状況が表示され、アクセスランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押して画面を消します。


### ご注意

- SDカードや“メモリースティック”をフォーマットすると、すべてのデータが消去され、復元できません。

## 残容量を確認する

メディアステータス画面（16ページ）を表示させると、SDカードや“メモリースティック”の残容量を確認することができます。

### ご注意

- SDカードや“メモリースティック”がプロテクトされている場合は、マークが表示されます。
- 本機でフォーマットしたメディアを他の機器のスロットで使用する場合は、あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

## ユーザーファイル、ALLファイルを保存する

- 1 SDカードまたは“メモリースティック”を、ラベルを右にして、**UTILITY SD/MSスロット（9ページ）**に差し込む。
- 2 ユーザーファイルの場合は、**Fileメニュー（126ページ）のUser FileのSave Utility SD/MSで、Executeを選択する。**  
ALLファイルの場合は、**FileメニューのAll FileのSave Utility SD/MSで、Executeを選択する。**  
ファイルの保存先画面が表示されます。

- 3 **↔/↔/↔/↔**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで保存先画面のNo Fileの行を選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

File IDが記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。File IDは自動的に付けられますが、変更することもできます。

- 4 **↔/↔/↔/↔**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで確認画面のExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

---

### ユーザーファイル、ALLファイルと呼び出す

---

- 1 ファイルを保存したSDカードまたは“メモリースティック”を、ラベルを右にして、UTILITY SD/MSスロット（9ページ）に差し込む。

- 2 ユーザーファイルの場合は、Fileメニュー（126ページ）のUser FileのLoad Utility SD/MSで、Executeを選択する。

ALLファイルの場合は、FileメニューのAll FileのLoad Utility SD/MSで、Executeを選択する。ファイルの一覧画面が表示されます。

- 3 **↔/↔/↔/↔**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで呼び出すファイルを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

確認画面が表示されます。

- 4 **↔/↔/↔/↔**ボタンまたはSEL/SETダイヤルでExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

#### ご注意

- 設定データと呼び出すと、本機は自動的に再起動されます。
- FileメニューのAll FileのLoad Network DataがOffの場合は、Networkメニューの設定項目を除いたALLファイルと呼び出します。

---

### シーンファイルを保存する

---

内蔵メモリーに保存するには

- 1 Fileメニュー（126ページ）のScene FileのStore Internal Memoryで、Executeを選択する。

シーンファイル一覧画面が表示されます。

File IDがStandardの保存先にはあらかじめ標準設定が保存されています。

- 2 **↔/↔/↔/↔**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで保存先を選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。選択した保存先にシーンファイルが上書き保存されます。

- 3 **↔/↔/↔/↔**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで確認画面のExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

SDカードまたは“メモリースティック”に保存するには

- 1 SDカードまたは“メモリースティック”を、ラベルを右にして、UTILITY SD/MSスロット（9ページ）に差し込む。

- 2 Fileメニュー（126ページ）のScene FileのSave Utility SD/MSで、Executeを選択する。

シーンファイルの保存先画面が表示されます。

- 3 **↔/↔/↔/↔**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで保存先画面のNo Fileの行を選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

File IDが記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。File IDは自動的に付けられますが、変更することもできます。

- 4 **↔/↔/↔/↔**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで確認画面のExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

---

## シーンファイル呼び出す

---

内蔵メモリから呼び出すには

- 1 **Fileメニュー（126ページ）のScene FileのRecall Internal Memoryで、Executeを選択する。**  
シーンファイル一覧画面が表示されま  
す。
- 2 **▲/▼/◀/▶ボタンまたはSEL/SETダイ  
ヤルで呼び出すファイルを選択し、  
SETボタンまたはSEL/SETダイヤル  
を押す。**  
確認画面が表示されます。
- 3 **▲/▼/◀/▶ボタンまたはSEL/SETダイ  
ヤルでExecuteを選択し、SETボタ  
ンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**  
シーンファイルは、ダイレクトメ  
ニュー（40ページ）で呼び出すこと  
もできます。

SDカードまたは“メモリースティック”  
から呼び出すには

- 1 シーンファイルを保存したSDカード  
または“メモリースティック”を、ラベ  
ルを右にして、UTILITY SD/MSス  
ロット（9ページ）に差し込む。
- 2 **Fileメニュー（126ページ）のScene  
FileのLoad Utility SD/MSで、  
Executeを選択する。**  
シーンファイルの一覧画面が表示され  
ます。
- 3 **▲/▼/◀/▶ボタンまたはSEL/SETダイ  
ヤルで呼び出すファイルを選択し、  
SETボタンまたはSEL/SETダイヤル  
を押す。**  
確認画面が表示されます。
- 4 **▲/▼/◀/▶ボタンまたはSEL/SETダイ  
ヤルでExecuteを選択し、SETボタ  
ンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**

---

## File IDを変更するには

---

- 1 ユーザーファイルの場合は、**Fileメ  
ニュー（126ページ）のUser Fileで、  
File IDを選択する。**  
ALLファイルの場合は、**Fileメニュー  
（126ページ）のAll Fileで、File IDを  
選択する。**  
シーンファイルの場合は、**Fileメ  
ニュー（126ページ）のScene File  
で、File IDを選択する。**  
File IDの編集画面が表示されます。
- 2 **▲/▼/◀/▶ボタンまたはSEL/SETダイ  
ヤルで文字を選択し、SETボタンま  
たはSEL/SETダイヤルを押す。**
- 3 手順2を繰り返す。
- 4 文字の入力が終了したら、**▲/▼/◀/▶ボ  
タンまたはSEL/SETダイヤルで  
Doneを選択し、SETボタンまたは  
SEL/SETダイヤルを押す。**

## プランニングメタデータ

プランニングメタデータとは、撮影・記録  
の計画情報が記述されているXMLファイ  
ルです。  
プランニングメタデータファイルで、あ  
らかじめ定義したクリップ名やショット  
マーク名を使用して、撮影できます。  
プランニングメタデータは「Content  
Browser Mobile」アプリケーションを使用  
してネットワーク経由で送受信すること  
もできます。  
本機では、以下の言語で定義されたクリ  
ップ名やショットマーク名を表示するこ  
とができます。

- 日本語
- 英語
- 中国語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- オランダ語

- ポルトガル語
- スウェーデン語
- ノルウェー語
- デンマーク語
- フィンランド語

#### ご注意

- 上記以外の言語でクリップ名やショットマーク名を定義した場合、ビューファインダー画面および液晶画面に表示されない場合があります。
- フランス語、オランダ語、フィンランド語でクリップ名やショットマーク名を定義した場合、一部の文字が他の類似のフォントで表示されます。
- 日本語でクリップ名やショットマーク名を定義すると、一部の文字が他のフォントに置き換えられ、ビューファインダー画面に正しく表示されないことがあります。

## プランニングメタデータファイルを読み込む

クリップの記録時にプランニングメタデータファイルを一緒に記録するには、撮影前にプランニングメタデータファイルを本機のメモリーに読み込んでおく必要があります。

### SxS メモリーカードを使うときは

以下のディレクトリーにプランニングメタデータファイル (.xml) を保存したSxSメモリーカードを本機のカードスロットに挿入し、MediaメニューのPlanning Metadata (125ページ) でLoad Media(A)またはLoad Media(B)を選択して読み込むファイルを選びます。

**exFAT** : XDROOT/General/Sony/Planning  
**UDF** : General/Sony/Planning

#### ご注意

- FAT時は、プランニングメタデータファイルの読み込みはできません。

### SDXC カードを使うときは

別売りのメディアアダプター MEAD-SD02 (27ページ) を使用してSDXCカードからプランニングメタデータファイルを読み込みます。

以下のディレクトリーにプランニングメタデータファイル (.xml) を保存したSDXCカードをメディアアダプターにセットして本機のカードスロットに挿入します。

MediaメニューのPlanning Metadata (125ページ) でLoad Media(A)またはLoad Media(B)を選択して読み込むファイルを選びます。

**exFAT** : PRIVATE/XDROOT/General/Sony/Planning

#### ご注意

- UDF/FAT時は、プランニングメタデータファイルの読み込みはできません。
- SDHC/SDカードからの読み込みはできません。

## プランニングメタデータの詳細情報を確認する

本機のメモリーに読み込んだプランニングメタデータのファイル名や作成日時、タイトルなどの詳細情報を確認することができます。

MediaメニューのPlanning Metadata (125ページ) でPropertiesを選択し、Executeを選びます。

## 読み込んだプランニングメタデータを消去する

本機のメモリーに読み込んだプランニングメタデータをメモリーから消去します。

MediaメニューのPlanning Metadata (125ページ) でClear Memoryを選択し、Executeを選びます。

## プランニングメタデータでクリップ名を設定する

プランニングメタデータには、次の2種類のクリップ名文字列を記述することができます。

- ビューファインダー画面上に表示できるASCII形式の名称
  - 実際にクリップ名として登録されるUTF-8形式の名称
- プランニングメタデータでクリップ名を設定すると、ビューファインダー画面の動作状態表示の下にクリップ名が表示されます。

### クリップ名文字列の記述例

テキストエディターを使用して、プランニングメタデータの<Title>タグの内容を変更します。

網掛け部分がクリップ名文字列です。

「Typhoon」はASCII形式（44文字以下）で記述しています。「台風上陸」はUTF-8形式（44バイト以下）で記述しています。「sp」はスペース、←は改行を表します。

```
<?xmlspversion="1.0"spencoding="UTF-8"?>←
<PlanningMetadataspxmlns="http://
xmlns.sony.net/pro/metadata/
planningmetadata"spassignId="
P0001"spcreationDate="
2011-08-20T17:00:00+09:00"sp
lastUpdate="
2011-09-28T10:30:00+09:00"sp
version="1.00">←
  <PropertiessppropertyId="
assignment"spupdate="
2011-09-28T10:30:00+09:00"sp
modifiedBy="Chris">←
    <TitlespusAscii="Typhoon"sp
xml:lang="ja">台風上陸
  </Title>←
</Properties>←
</PlanningMetadata>←
```

#### ご注意

- 実際にファイルを作成する場合は、改行位置でのみ改行し、「sp」が表示されていない位置にはスペースは入れずに1つの文として記述してください。
- クリップ名に使用できる有効文字数は44バイト（または44文字）です。UTF-8形式で44バイトを超えるクリップ名を定義すると、44バイトまでの文字列がクリップ名に使用されます。ASCII形式のクリップ名のみ定義している場合は、ASCII形式の44文字までの文字列がクリップ名に使用されます。ASCII形式で記述した文字列、UTF-8形式で記述した文字列が、いずれもクリップ名として使用できない場合、クリップ名は標準形式となります。

### プランニングメタデータで記述したクリップ名をつける

クリップ名を記述したプランニングメタデータファイルを本機のメモリーに読み込み、MediaメニューのClip Naming（124ページ）のAuto Namingで、Planを選びます。

記録を行うたびに、プランニングメタデータファイルに記述したクリップ名が、アンダーバー（\_）と5桁の通し番号（00001～99999）が付加された形式で自動生成されません。

例：台風上陸\_00001、台風上陸\_00002、...

#### ご注意

- 通し番号が99999に達したら、次の記録操作で00001に戻ります。
- 他のプランニングメタデータを読み込むと、5桁の通し番号は00001に戻ります。
- 日本語のクリップ名は、一部の文字が他のフォントで表示されることがあります。

### プランニングメタデータでショットマーク名を設定する

ショットマーク1、2を記録するとき、プランニングメタデータで定義した文字列でショットマーク名を記録することができません。

#### ショットマーク名文字列の記述形式

テキストエディターを使用して、プランニングメタデータの<Meta name>タグの内容を変更します。

網掛け部分がショットマーク名文字列です。ASCII形式（32文字以下）、またはUTF-8形式（16文字以下）で記述します。「sp」はスペース、←は改行を表します。

#### ご注意

- ASCII形式以外の文字が1文字以上含まれていれば、その文字列の最大長は16文字になります。

```
<?xmlspversion="1.0"spencoding="UTF-8"?>←
<PlanningMetadata xmlns="http://
xmlns.sony.net/pro/metadata/
planningmetadata"spassignId="
H00123"spcreationDate="
2011-04-15T08:00:00Z"splastUpdate="
2011-04-15T15:00:00Z"spversion="
1.00">←
  <PropertiessppropertyId="
assignment"spclass="original"sp
update="2011-04-15T15:00:00Z"sp
modifiedBy="Chris">←
    <TitlespusAscii="Football
Game"spxml:lang="ja">
```

Football Game 15/04/2011


```
</Title>←  
  <Meta_spname="_ShotMark1"_sp  
  content="Goal"/>←  
  <Meta_spname="_ShotMark2"_sp  
  content="Shoot"/>←  
</Properties>←  
</PlanningMetadata>←
```

#### ご注意

- 実際にファイルを作成する場合は、改行位置でのみ改行し、ショットマーク名文字列以外では「\_sp」が表示されていない位置にはスペースは入れずに1つの文として記述してください。






## 測位情報を取得する (GPS)

測位中に撮影した動画の位置情報や測位時刻が本機カードスロット内のメディアに記録され、SDI出力できます。

1. スタンバイ中にMENUボタンを押す。
2. SystemメニューのGPSをOnに設定する。  
が表示され、測位準備が行われ  
ます。測位できた場合、動画の撮影時に  
測位情報を記録します。

#### ご注意

- GPS衛星からの電波の受信状況によって画面に表示されるアイコンが変わります。

測位状況	画面表示	GPS受信状況
機能切	非表示	GPSがOffになっている、またはエラーが起きている。
測位困難		GPS信号を受信できないため、測位情報が取れない。空の開けた場所に移動してください。
衛星検索中		衛星を検索中です。測位中になるまで数分かかります。
測位中		弱いGPS信号を受信中。
		GPS信号を受信中。測位情報を取得できる。
		強いGPS信号を受信中。測位情報を取得できる。

- 出荷時の設定ではGPSはOnになっています。GPS測位中は撮影した動画の位置情報や測位時刻が記録されます。記録を止めたい場合は、GPSをOffにしてください。
- 電源を入れてから測位を始めるまで時間がかかることがあります。
- 数分待ってもアイコンが測位中にならないときは、受信困難な状態です。そのまま撮影を始めるか、空の開けた場所に移動してください。そのまま撮影すると測位情報は記録されません。
- 屋内や高い建物のそばでは電波をうまく受信できません。空の開けた場所に移動してください。
- 「測位中」になっても、電波の受信状況によりGPS情報の記録が途切れることがあります。



## プロキシ記録をする

SxSメモリーカードに記録すると同時に、プロキシデータをSDカードに記録することができます。

### 本機で使用可能なSDカード

**SDXCメモリーカード\*** (Speed Class : 4以上)

**SDHCメモリーカード\*** (Speed Class : 4以上/容量 : 32GBまで)

**SDメモリーカード\*** (Speed Class4以上/容量 : 2GBまで)

\* 本書ではSDカードと表現しています。

### SDカードをフォーマット (初期化) する

本機で初めてSDカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用するSDカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。SDカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

- 1 SDカードを、ラベルを右にして **UTILITY SD/MSスロット (9ページ)** に差し込む。
- 2 **MediaメニューのFormat Media (123ページ)** で、**Utility SD/MS**を指定し、**Execute**を選択する。確認メッセージが表示されたら、もう一度**Execute**を選択する。

実行中メッセージと進捗状況が表示され、アクセスランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押して画面を消します。


#### ご注意

- SDカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去され、復元できません。
- SDXCカードはexFATで、SDHCカードはFAT32でフォーマットされます。

### 残容量を確認する

メディアステータス画面 (16ページ) を表示させると、SDカードの残量を確認することができます。

#### ご注意

- SDカードがプロテクトされている場合は、マークが表示されます。

### 本機でフォーマットしたメディアを他の機器のスロットで使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

## プロキシ記録する

### 撮影前の設定

- 1 **RecordingメニューのProxy Recで、SettingをOnにする。**
- 2 **SDカードを、ラベルを右にしてUTILITY SD/MSスロット (9ページ) に差し込む。**

#### ご注意

- プロキシ記録は、インターバルレック、ピクチャーキャッシュレック、スロー&クイックモーション、4K & HD (Sub) 記録と同時にOnにすることはできません。プロキシ記録をOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。

### プロキシ記録で撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

録画ボタンを押す。

#### ご注意

- SDカードにアクセス中に本機の電源を切ったりSDカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れ

可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するSDカードのアクセスランプが消灯していることを確認してから操作してください。

- 出し入れ時にはSDカードの飛び出しにご注意ください。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

SxSメモリーカードの記録と同時に、プロキシデータの記録も停止します。

## プロキシ記録時の設定を変更する

### 映像のサイズを設定する

RecordingメニューのProxy RecでProxy Formatを選択し、映像のサイズを設定する。

### オーディオチャンネルを設定する

RecordingメニューのProxy RecのAudio Channelで、プロキシデータに記録するオーディオチャンネルを設定することができます。

### 記録されるファイルについて

拡張子は「.mp4」です。  
タイムコードも同時に記録されます。

### ファイルの保存先について

記録したファイルは、「/PRIVATE/PXROOT/Clip」のディレクトリーに保存されます。

### ファイル名について

SxSメモリーカードに記録されるクリップ名+連番です。

2スロット同時記録のときは、Slot Aのクリップ名が優先されます。

- 連番は電源を切っても保存されます。All Resetを実行すると、0001に戻ります。
- ◆ クリップ名については、MediaメニューのClip Naming（124ページ）をご覧ください。

## プロキシデータのみ記録する

SxSメモリーカードへの記録を行わず、UTILITY SD/MSスロットのSDカードへのプロキシデータの記録のみ単独で行うことができます。

記録されるプロキシデータの記録フォーマットは、同時記録の場合と同じです。

### 撮影前の設定

- 1 アサインブルボタン（43ページ）に**Proxy Rec Start/Stop**を割り当てる。
- 2 **Recording**メニューの**Proxy Rec**で、**Setting**を**On**にする。
- 3 **SDカード**を、ラベルを右にして**UTILITY SD/MSスロット（9ページ）**に差し込む。

### 撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

**Proxy Rec Start/Stop**を割り当てたアサインブルボタンを押す。

撮影を終了するには、アサインブルボタンを押します。

## デバイスとLAN接続 する

本機の内蔵LAN機能を使用して、スマートフォンやタブレットなどのデバイスと本機をLAN接続することができます。

LAN接続されたデバイスと本機の間では、Webリモコン（76ページ）や「Content Browser Mobile」アプリケーションなどを用いて、以下の操作が可能です。

- プランニングメタデータ（53ページ）  
デバイスと本機でプランニングメタデータを送受信できます。  
あらかじめ作成したプランニングメタデータを本機に転送し、クリップ名を指定することができます。
- LAN経由でのリモート操作  
本機とLAN接続されたスマートフォンやタブレット、コンピューターから本機をリモート操作することができます。
- LAN経由でのファイル転送  
本機のSDカードに記録されたプロキシファイル（低解像度）や本機で記録したオリジナルファイル（高解像度）を、LAN経由でサーバーに転送することができます。
- LAN経由での映像をモニタリング  
本機のカメラ映像や再生映像からストリーム（H.264）を作成し、「Content Browser Mobile」アプリケーションを使ってデバイスから映像をモニタリングすることができます。

### 「Content Browser Mobile」アプリケーション

デバイスの画面で本機をストリーミングしながら、リモート操作や本機の設定をすることができるアプリケーションを用意しています。

- ◆ 「Content Browser Mobile」アプリケーションについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

### ソニーのQoS技術を用いた高品質なストリーミング（72ページ）

ソニー製ネットワークRXステーション（別売）またはXDCAM air\*のConnection Control Manager (CCM) と本機をネットワーククライアントモードで接続して使用すると、高品質なストリーミングをすることができます。

\* XDCAM airは、ソニーが提供するクラウドサービスです。

このサービスをご利用になるには、別途契約が必要です。

一部対応していない地域がありますので、サービス対象地域についてXDCAM airのサイトをご確認ください。

<https://www.xdcam-air.com>

また、XDCAM airのプライバシーポリシーについては、以下のサイトを参照してください。

－ 利用規約

[https://www.xdcam-air.com/site/tos\\_eu.html](https://www.xdcam-air.com/site/tos_eu.html)

－ XDCAM airのプライバシーポリシー

<https://sony-imaging-products-solutions.co.jp/pp/sips/en/index.html>

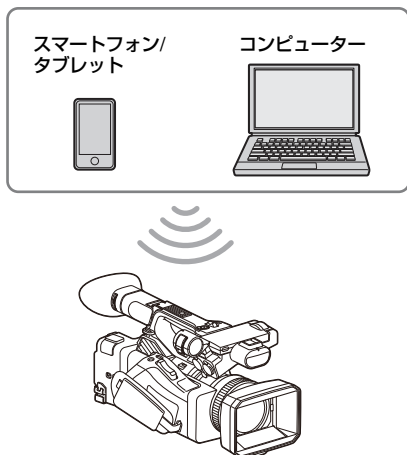
－ プロフェッショナルIDのプライバシーポリシー

<https://www.pro-id.sony.net/#/privacyPolicy>

詳しくは、ソニー法人営業窓口にお問い合わせください。

### ワイヤレスLANアクセスポイントモード（Access Pointモード）で接続する

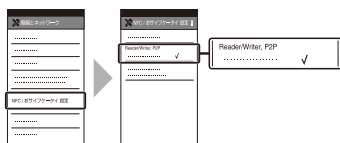
本機をアクセスポイントとしてデバイスとワイヤレスLAN接続します。




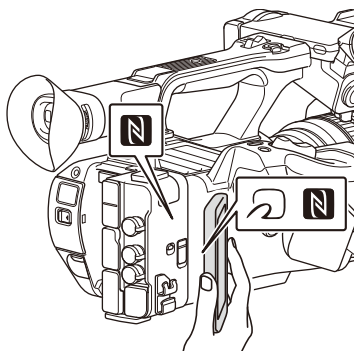
## NFC機能搭載のデバイスでワンタッチ接続する

デバイスがNFCをサポートしている場合には、NFCを利用したワンタッチ接続が可能です。


- 1 デバイスの「設定」を起動して「その他の設定」を選び、「NFC/おサイフケータイ設定」の「NFC R/W P2P」または「Reader/Writer, P2P」にチェックを入れる。



- 2 本機の電源を入れる。
- 3 NFC機能を有効にする。  
NFCを割り当てたアサインボタンを長押し（3秒間）するか、NetworkメニューのWireless LANのNFCを実行して、NFC接続モードにしてください。画面に  が表示されているときのみNFC機能を使用できます。
- 4 本機とデバイスをタッチする。  
デバイスが本機に接続され、「Content Browser Mobile」が起動します。



### ご注意

- 一部の  が付いているデバイスはNFCに対応しています。詳しくはデバイスの取扱説明書でご確認ください。
- あらかじめデバイスのスリープおよび画面ロックを解除してください。
- デバイスで「Content Browser Mobile」が起動するまで（1～2秒）動かさずにタッチし続けてください。

## WPS機能搭載のデバイスで接続する

デバイスがWPSをサポートしている場合には、WPSでの接続が可能です。

- 1 NetworkメニューのWireless LANのSettingで、Access Point Modeを選択する。
- 2 NetworkメニューのWireless LANのWPSを実行する。
- 3 デバイスのNetwork設定/Wi-Fi設定を開き、Wi-FiをOnにする。
- 4 Wi-Fi NetworkのSSID一覧から、本機のSSIDを選択し、詳細Optionを表示し、WPS Push Buttonを選択して接続する。

### ご注意

- 使用する機器によっては、操作が異なる場合があります。
  - 本機のSSIDおよびPasswordは、NetworkメニューのAP Mode Settings（127ページ）のCamera SSID & Passwordで表示してご確認ください。
- 5 Webリモコンを表示する（77ページ）。または、Content Browser

Mobileアプリケーションで接続する。

## デバイスでSSID、Passwordを入力して接続する

デバイス側でSSIDとPasswordを入力して接続します。

- 1 NetworkメニューのWireless LANのSettingで、Access Point Modeを選択する。
- 2 デバイスのNetwork設定/Wi-Fi設定を開き、Wi-FiをOnにする。
- 3 Wi-Fi NetworkのSSID一覧から、本機のSSIDを選択し、Passwordを入力して接続する。

本機のSSIDおよびPasswordは、NetworkメニューのAP Mode Settings (127ページ) のCamera SSID & Passwordでご確認ください。

### ご注意

- 使用する機器によっては、操作が異なる場合があります。

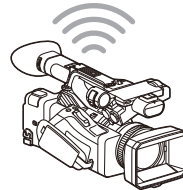
- 4 Webリモコンを表示する (77ページ)。または、Content Browser Mobileアプリケーションで接続する。

## ワイヤレスLANステーションモード (Stationモード) で接続する

本機をクライアントとして既存のワイヤレスLANのアクセスポイントに接続します。デバイスとはアクセスポイント経由で接続します。

接続したアクセスポイントの履歴は、過去10件まで記憶されます。

接続履歴はALLファイルに保存されますが、アクセスのパスワードは保存されないため、ALLファイルの呼び出し後の再接続の際にはパスワードの入力が必要となります。



## WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する

アクセスポイントがWPS機能対応の場合は、簡単な設定で接続することができます。

- 1 アクセスポイントの電源を入れる。
- 2 本機の電源を入れる。
- 3 NetworkメニューのWireless LANのSettingで、Station Modeを選択する。
- 4 NetworkメニューのWireless LANのWPSを実行する。
- 5 アクセスポイントのWPS ボタンを押す。

WPS ボタンの操作については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

接続が完了すると、液晶画面/ビューファインダー画面のネットワーク状態表示のアイコンが強度1以上で点灯します。

### ご注意

- 接続に失敗した場合は手順1からやり直してください。

## 6 デバイスをアクセスポイントに接続する。

接続のしかたについては、各機器の取扱説明書をご覧ください。

## 7 Webリモコンを表示する（77ページ）。または、Content Browser Mobileアプリケーションで接続する。

---

### ネットワーク自動検出または手動でアクセスポイントに接続する

---

セットアップメニューから接続したいアクセスポイントに接続設定することができます。

このときネットワーク自動検出機能を使用して、接続したいアクセスポイントを検出し、接続設定することができます。

#### ネットワーク自動検出機能を使用して接続する

### 1 「WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する」（61ページ）の手順1～3を行う。

### 2 NetworkメニューのST Mode SettingsのScan Networks（128ページ）で、Executeを選択する。

本機が接続先の検出を開始します。接続先を見つけると、Scan Networksの結果リストが表示されます。

### 3 ボタンまたはSEL/SETダイヤルで接続先を選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押して決定する。

決定すると、ネットワーク（アクセスポイント）詳細設定画面が表示されます。SSIDには選択した接続先が表示されます。

### 4 Passwordを選択し、パスワード入力画面でパスワードを設定する。

接続履歴にあるSSIDを選択すると、パスワードを含んだ設定値が自動的に設定されます。

パスワードを設定したら、ネットワーク（アクセスポイント）詳細設定画面に戻ります。

## 5 以下の接続設定を行う。

- DHCP  
DHCPを設定します。  
Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。  
手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにします。
- IP Address  
本機のIPアドレスを入力します。  
DHCPがOffのときに有効です。
- Subnet mask  
本機のサブネットマスクを入力します。  
DHCPがOffのときに有効です。
- Gateway  
アクセスポイントのゲートウェイを入力します。  
DHCPがOffのときに有効です。
- DNS Auto  
DNS自動取得設定をします。  
Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。DHCPがOnのときに有効です。
- Primary DNS Server  
アクセスポイントのプライマリーDNSサーバーを入力します。  
DNS AutoがOffのときに有効です。
- Secondary DNS Server  
アクセスポイントのセカンダリーDNSサーバーを入力します。  
DNS AutoがOffのときに有効です。

## 6 設定が完了したらConnectを選択し、アクセスポイントに接続する。

#### 手動で入力して接続する

### 1 「WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する」（61ページ）の手順1～3を行う。

### 2 NetworkメニューのST Mode SettingsのManual Register（129ページ）で、Executeを選択する。

決定すると、ネットワーク（アクセスポイント）詳細設定画面が表示されま  
す。

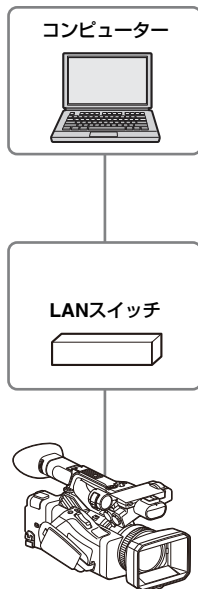
### 3 以下の接続設定を行う。

- SSID  
接続先のアクセスポイントのSSIDを  
入力します。
- Security  
暗号化方式を選択します。
- Password  
接続先のアクセスポイントのパス  
ワードを入力します。
- DHCP  
DHCPを設定します。  
Onにすると、自動的に本機にIPアド  
レスを割り当てます。  
手動で本機のIPアドレスを入力する場  
合は、Offにします。
- IP Address  
本機のIPアドレスを入力します。  
DHCPがOffのときに有効です。
- Subnet mask  
本機のサブネットマスクを入力しま  
す。  
DHCPがOffのときに有効です。
- Gateway  
ゲートウェイのアドレスを入力しま  
す。  
DHCPがOffのときに有効です。
- DNS Auto  
DNS自動取得設定をします。  
Onにすると、自動的にDNSサーバ  
のアドレスを取得します。DHCPが  
Onのときに有効です。
- Primary DNS Server  
プライマリ DNSサーバーのアドレ  
スを入力します。  
DNS AutoがOffのときに有効です。
- Secondary DNS Server  
セカンダリ DNSサーバーのアドレ  
スを入力します。  
DNS AutoがOffのときに有効です。

### 4 設定が完了したらConnectを選択し、 アクセスポイントに接続する。

## LANケーブルを使用してデバイ スと接続する

本機の有線LAN端子とLANスイッチをLAN  
ケーブルで接続することによって、デバイ  
スと接続することができます。



#### ご注意

- 有線LANは、モデムと同時には使用できません。

### 有線LANと映像出力との組み合わせに ついて

VideoメニューのOutput On/Off（114ページ）で、SDI、HDMI、VIDEOのうち2つ以上Onになっている場合、有線LANは使用できません。

Output On/OffはデフォルトですべてOnに設定されていますので、有線LANを使用する場合はOutput On/Offを2つ以上Offにしてください。

また、有線LANとワイヤレスLANを同時に使用するには、Output On/OffをすべてOffにする必要があります。

## ご注意

- 有線LANと映像出力を同時に使用すると、液晶画面の輝度が下がります。

## LANケーブルの接続と有線LAN設定

- 1 本機の有線LAN端子とLANスイッチをLANケーブルで接続する。
- 2 本機の電源を入れる。
- 3 NetworkメニューのWired LAN (129ページ) で、SettingをOnに設定する。
- 4 メニュー Detail Settingsで、接続設定を行う。
  - DHCP  
DHCPを設定します。  
Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。  
手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにします。
  - IP Address  
本機のIPアドレスを入力します。  
DHCPがOffのときに有効です。
  - Subnet mask  
本機のサブネットマスクを入力します。  
DHCPがOffのときに有効です。
  - Gateway  
ゲートウェイのアドレスを入力します。  
DHCPがOffのときに有効です。
  - DNS Auto  
DNS自動取得設定をします。  
Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。DHCPがOnのときに有効です。
  - Primary DNS Server  
プライマリー DNSサーバーのアドレスを入力します。  
DNS AutoがOffのときに有効です。
  - Secondary DNS Server  
セカンダリー DNSサーバーのアドレスを入力します。  
DNS AutoがOffのときに有効です。

## 5 設定が完了したらSetを選択し、設定内容を確定する。

### ご注意

- 接続設定を変更した場合、必ずSetを選択してください。Setを選択しなかった場合は設定した内容が反映されません。



# インターネット接続する

本機は、モデム、ワイヤレスLAN、有線LANでインターネットに接続することができます。

## モデムを使用して接続する

モデム（別売）を本機に取り付けることによって、3G/4G回線経由でインターネットに接続することができます。

また、複数のモデムを同時に取り付けて使用することにより、ネットワーククライアントモードでの高品質なストリーミングを、2回線を使用した、より高品質かつ冗長性を持ったストリーミングとすることができます。

本機に対応しているモデムについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

### ご注意

- モデムは、有線LANと同時には使用できません。
- バッテリーバックBP-U30を使用する場合、モデムは使用できません。

## モデムと映像出力との組み合わせについて

VideoメニューのOutput On/Off（114ページ）で、SDI、HDMI、VIDEOのうち2つ以上Onになっている場合、モデムは使用できません。

Output On/OffはデフォルトですべてOnに設定されていますので、モデムを使用する場合はOutput On/Offを2つ以上Offにしてください。

また、モデムとワイヤレスLANを同時に使用するには、Output On/OffをすべてOffにする必要があります。

### ご注意

- モデムと映像出力を同時に使用すると、液晶画面の輝度が下がります。

## モデムを本機に取り付ける

次のどちらかの方法でモデムを本機に取り付けます。

### USB2.0 (HOST) 端子または USB3.0 (HOST) 端子に取り付ける

それぞれの端子にUSB規格に合うモデムを取り付けます。両方の端子にモデムを取り付けて、2台同時に使用することもできません。

### ご注意

- モデムの取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。
- 専用USB/ハブに取り付けたモデムを使用しているときは、USB3.0 (HOST) 端子に取り付けたモデムは使用できません。

### USB2.0 (HOST) 端子に接続した専用USB ハブ (CBK-DL1) にモデムを取り付ける

USB2.0 (HOST) 端子に接続した専用USBハブにモデムを1個または2個取り付けます。

### ご注意

- モデムおよび専用USBハブの取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。
- 専用USB/ハブを接続した場合、USB3.0 (HOST) 端子に取り付けたモデムは使用できません。

## ネットワークに接続する

- 1 本機の電源を入れる。
- 2 NetworkメニューのModemで、SettingをOnに設定する。

### ご注意

- 3G/4G回線に接続するまでに時間がかかる（1分程度）場合があります。液晶画面/ビューファインダー画面のネットワーク状態表示（12ページ）の「モデム」アイコンが強度1以上で点灯するまでお待ちください。

## ワイヤレスLANステーション モード (Wi-Fi Station モード) で接続する

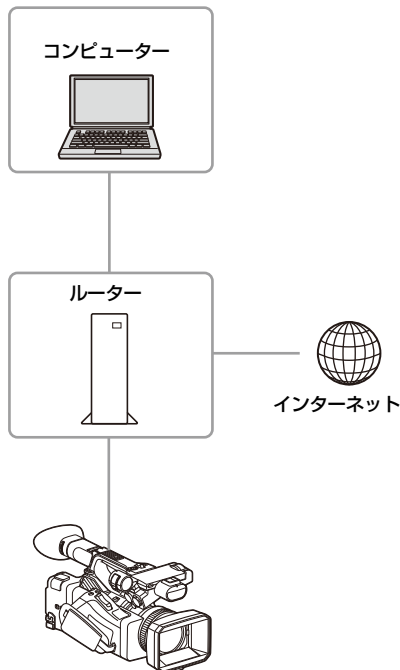
ワイヤレスLANルーター（別売）またはデバイスのテザリングを使用することによって、Wi-Fiステーションモードでインターネットに接続することができます。



ワイヤレスLANルーターまたはデバイスへは、「ワイヤレスLAN ステーションモード (Stationモード) で接続する」(61ページ)の手順で接続します。

## LANケーブルを使用して接続する

本機の有線LAN端子とインターネットルーターをLANケーブルで接続することによって、インターネットに接続することができます。



インターネットルーターへは「LANケーブルを使用してデバイスと接続する」(63ページ)の手順で接続します。

## ネットワーク接続による対応機能一覧

ネットワーク機能とネットワーク接続モードの対応状況は以下のとおりです。

ネットワーク機能	ネットワーク接続モード				
	Access Point	Station	Modem	Wired LAN	Off
ファイル転送 (68ページ)	×	○	○	○ <sup>1)</sup>	×
ストリーミング伝送 (71ページ)	×	○	○	○	×
モニタリング (78ページ)	○ <sup>1)</sup>	○ <sup>1)</sup>	×	○ <sup>1)</sup>	×
本機のリモート操作 (76ページ)	○ <sup>1)</sup>	○ <sup>1)</sup>	×	○ <sup>1)</sup>	×

1)本機とネットワーク接続したデバイスの機能に対応

# ファイルを転送する

本機に記録したプロキシーファイルやオリジナルファイルを、3G/4G回線やアクセスポイント経由で接続したインターネット上のサーバーやローカルネット上のサーバーへ転送することができます。

## 準備する

### ネットワークに接続する

「インターネット接続する」(65ページ)または「デバイスとLAN接続する」(59ページ)の手順に従って、本機をインターネットまたはローカルネットワークに接続します。

### ファイルの転送先を登録する

あらかじめファイルを転送するサーバーを登録しておきます。

**1 NetworkメニューのFile Transferで、Server Settings1 (またはServer Settings2、Server Settings3) を選択する。**

転送先設定画面が表示されます。

**2 転送先設定画面の各項目を設定する。**

#### Display Name

転送先のリストに表示されるサーバー名を入力します。

#### Service

サーバーの種類を表示します。  
「FTP」: FTP サーバー

#### Host Name

サーバーのアドレスを入力します。

#### Port

サーバーに接続する際のポート番号を入力します。

#### User Name

ユーザー名を入力します。

#### Password

パスワードを入力します。

#### Passive Mode

パッシブモードのON/OFFを行います。

#### Destination Directory

転送先ディレクトリーを入力します。

#### ご注意

- 編集時、編集不可能な文字は"□"で表示されます。この文字を含むディレクトリー名を編集した場合の動作は保証されません。もし編集してしまった場合は、すべての文字を削除して入力し直してください。
- 転送先サーバーで使用できない文字を転送先ディレクトリーに入力した場合、ファイルはユーザーのホームディレクトリーに転送されます。使用できない文字はサーバーによって異なります。

#### Using Secure Protocol

セキュアなFTP転送を行うかどうかを設定します。

#### Root Certificate

証明書の読み込みや消去を行います。

#### • Load

手順3でSetを選択すると、CA証明書を読み込みます。

- \* 読み込む証明書はPEM形式で、SDカードのルートディレクトリーに"certification.pem"のファイル名で書き込んでおいてください。

#### • Clear

手順3でSetを選択すると、CA証明書をクリアします。

#### • None

読み込み／消去を行いません。

#### ご注意

- CA証明書を読み込む際は、本機の時刻を正しく設定してください。
- XAVC-I 3840x2160P 59.94/50Pで記録中は、Loadは選択できません。
- 低電圧時には、CA証明書をLoad/Clearすることはできません。

#### Root Certificate Status

証明書の読み込み状態を表示します。

#### Reset

Server Settingsの設定を初期値に戻します。

### 3 設定が完了したらSetを選択し、設定内容を確定する。

設定完了後は、必ずSetを選択してください。Setを選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。


Webリモコンの「転送先のサーバーを登録する」(78ページ)でもサーバーを登録できます。

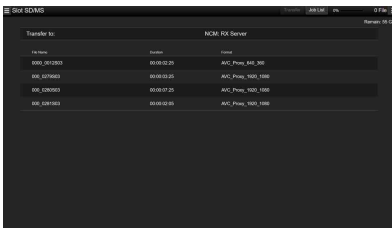
## ファイルを選んで転送する

本機のSDカードに記録したファイル、SxSメモリーカードのオリジナルファイルをサーバーに転送します。

## SDカードのプロキシファイルを転送する

- 1 本機とデバイスをLAN接続する (59ページ)。
- 2 デバイスのブラウザーを起動して本機のWebリモコンを表示する (77ページ)。
- 3 ファイルを選ぶためのファイルリスト画面を表示させる。

 をタップし、File TransferのSlot SD/MSをタップします。UTILITY SD/MSスロットに挿入されているメディアのファイルリスト画面が表示されます。

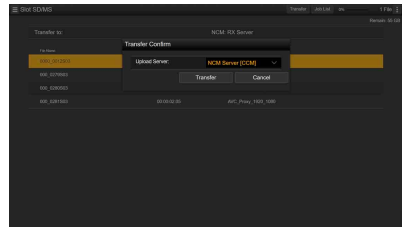


- 4 転送したいファイルを選ぶ。  
ファイルをタップして選びます。もう一度タップすると、キャンセルします。

ダブルタップすると、ファイルを再生して内容を確認することができます。(SDカードのみ)

### 5 Transferをタップする。

「転送先のサーバーを登録する」(78ページ)のDefault Serverでデフォルト設定された転送先が表示されます。転送先を変更する場合は、転送先をタップしてリストを表示させ、転送先を選びます。必要に応じて、Directoryに転送先のディレクトリーを入力します。




### 6 Transferをタップする。

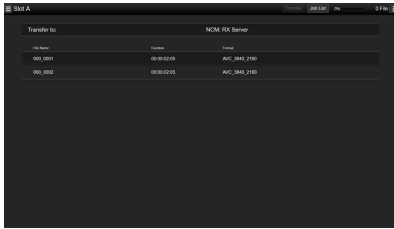
選んだファイルの転送を開始します。転送を中止するときは、Cancelをタップします。

## SxSメモリーカードのオリジナルファイルを転送する

- 1 本機とデバイスをLAN接続する (59ページ)。
- 2 デバイスのブラウザーを起動して本機のWebリモコンを表示する (77ページ)。
- 3 ファイルを選ぶためのファイルリスト画面を表示させる。

 をタップし、File TransferのSlot AまたはSlot Bをタップします。Slot AまたはSlot Bに挿入されているメディアのファイルリスト画面が表示されます。

例：Slot A画面



- 4 転送したいファイルを選ぶ。**  
ファイルをタップして選びます。もう一度タップすると、キャンセルします。
- 5 Transferをタップする。**  
「転送先のサーバーを登録する」(78ページ)のDefault Serverでデフォルト設定された転送先が表示されます。転送先を変更する場合は、転送先をタップしてリストを表示させ、転送先を選びます。  
必要に応じて、Directoryに転送先のディレクトリを入力します。
- 6 Transferをタップする。**  
選んだファイルの転送を開始します。転送を中止するときは、Cancelをタップします。

## ファイル転送の確認をする

SD Card、Slot AまたはSlot B画面のJob Listをタップして表示されるJob List画面でファイル転送の状態を確認することができます(80ページ)。

### ご注意

- 転送ジョブは200件まで登録可能です。
- ジョブリストは本機の電源を切っても保持されますが、電源スイッチをSTANDBYにせずにバッテリーパックを取り外すなどして電源を切った場合には、最大で10分間程度の進捗情報が喪失する可能性があります。
- バッテリー電圧低下状態に陥った後に追加されたジョブについては、ジョブリスト上に保存されません。
- ファイル転送中に転送がエラーになると、転送先サーバーの設定や状態によっては、同じ名前のクリップが転送できなくなることがあります。その場合は転送先サーバーの設定や状態を確認してください。

## プロキシーファイルの自動転送について

NetworkメニューのFile Transferで、Auto Upload (Proxy)をOnにすると、ネットワーク接続状態の場合、記録を終了するとAuto Upload Serverで設定されたサーバーに対して、自動的にプロキシーファイルを送信します。

詳しくは、「プロキシーファイルを自動転送する」(79ページ)をご覧ください。

## セキュアなFTP転送を行うには

ファイル転送先サーバーとの接続にFTPのExplicitモード(FTPES)を使用することで、ファイルを暗号化して転送することができます。

### セキュアなFTP転送の設定

セキュアなFTP転送を行うには、ファイル転送先サーバーの設定で、Using Secure ProtocolをONに設定し、証明書の読み込みを行います。

設定方法については、「転送先のサーバーを登録する」(78ページ)をご覧ください。

# 映像・音声をストリーミング伝送する

カムコーダーで撮影・再生している映像・音声を、インターネットやローカルネットワークを通じて伝送することができます。

## ストリーミング伝送の伝送先とフォーマットを設定する

ストリーミングの伝送先は、Destination Settingsとして3つまで設定できます。

- 1 **NetworkメニューのStreamingで、Destination Settings1（またはDestination Settings2、Destination Settings3）を選択する。**  
ストリーミングの接続先設定画面が表示されます。
- 2 **接続先設定画面の各項目を設定する。**

### Display Name

Destination Settingsのメニュー上の表示名を設定します。

### Streaming Type

ストリーミング用の映像の種類を表示します（MPEG-2 TS/UDP固定）。

### Streaming Format

ストリーミングする映像のフォーマットを設定します。

- 1920x1080 9M
- 1920x1080 6M
- 1920x1080 3M
- 1280x720P 9M
- 1280x720P 6M
- 1280x720P 3M
- 1280x720P 2M
- 640x360P 3M
- 640x360P 2M
- 640x360P 1M
- 480x270P 1M
- 480x270P 0.5M
- 480x270P 0.3M

- 480x270P 0.2M
- 320x180P 0.2M

### Audio Channel

ストリーミング出力に乗せるAudio Channelを選択します。

- CH1/CH2
- CH3/CH4
- CH1
- CH2
- CH3
- CH4

### ご注意

- 選択できるAudio Channelは、Streaming Formatにより制約を受けます。

### Destination Address

ストリーミングデータの伝送先サーバーのアドレスを入力します。

### Destination Port

ストリーミングに使用する伝送先サーバーのポート番号を入力します。

### Reset

Destination Settingsの設定を初期値に戻します。

- 3 **設定が完了したらSetを選択し、設定内容を確定する。**  
設定完了後は、必ずSetを選択してください。Setを選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。
- 4 **NetworkメニューのStreamingのDestination Selectで、手順1～3で設定したDestination Settings1（またはDestination Settings2、Destination Settings3）を選択する。**

## ストリーミングを開始する

- 1 「インターネット接続する」（65ページ）または「デバイスとLAN接続する」（59ページ）の手順に従って、本機をインターネットまたはローカルネットワークに接続する。

## 2 NetworkメニューのStreamingで、SettingをOnにする。

設定に応じてストリーミングが開始されます。

アサインボタン（43ページ）にStreamingを割り当て押すことでもストリーミングを開始できます。

### ご注意

- メニューの設定が以下の場合、ストリーミングを開始できません。
  - NetworkメニューのNetwork Client ModeのSettingがOnのとき
  - SystemメニューのRec FormatのCodecがDVCAM(MXF)のとき
  - RecordingメニューのS&Q MotionのSettingがOnのとき
  - RecordingメニューのInterval RecのSettingがOnのとき
  - RecordingメニューのSimul RecのSettingがOnのとき
- ストリーミングを開始してから実際に映像・音声が始まるまでに数十秒かかる場合があります。
- ストリーミングの伝送先設定が不正な場合やネットワークに接続できていない場合には、ストリーミング状態表示にxが表示されます。
- インターネット経由で映像/音声データをそのまま送信します。そのためデータが漏えいする可能性があります。送信先がストリーミングデータを受信できていることを確認してください。アドレスの設定ミスなどにより意図しない相手にデータを送信してしまう可能性があります。
- ネットワークの状況により、すべてのフレームが再生できない場合があります。
- 動きの激しいシーンの場合は、画質が悪くなります。
- ストリーミングを大きなサイズで小さいビットレートに設定した場合、すべてのフレームが再生できない場合があります。この現象を軽減させるためには、Streaming Formatでより小さいサイズフォーマットを選んでください。
- モニタリング中にストリーミングを開始すると、モニタリングは停止します。
- ストリーミング中は、ファイルを転送できません。ストリーミングを停止するとファイルを転送できます。
- ファイル転送中にストリーミングを開始すると、ファイル転送は停止します。ストリーミングを停止するとファイル転送を再開します。
- ストリーミング中は画面情報の更新頻度が低下しますが、操作には影響しません。

## ストリーミングを停止する

### NetworkメニューのStreamingで、SettingをOffにする。

ストリーミングが停止します。

Streamingを割り当てたアサインボタンを押すことでもストリーミングを停止できます。

## ネットワーククライアントモードについて

ネットワーククライアントモードを有効にし、本機とソニー製ネットワークRXステーション（別売）のConnection Control Manager（以降「CCM」）またはXDCAM airを接続して使うことで、高品質なストリーミングが可能になります。

また、ネットワーククライアントモードを使用して、本機のUSB3.0（HOST）端子に接続したヘッドセットでカムコーダーとネットワークRXステーションのCCMまたはXDCAM airでインカム通話を行うことができます。

### ネットワーククライアントモードの接続先を設定する

ネットワーククライアントモードの接続先は、NCM Settingsとして3つまで設定できます。

#### 1 NetworkメニューのNetwork Client Modeで、NCM Settings1（またはNCM Settings2、NCM Settings3）を選択する。

ネットワーククライアントモードの接続先設定画面が表示されます。

#### 2 接続先設定画面の各項目を設定する。

##### Display Name

NCM Settingsのメニュー上の表示名を設定します。



## CCM Address

接続先のCCMのアドレスを入力します  
(ホスト名またはIPアドレス)。

## CCM Port

接続先のCCMのポート番号を入力します。

## User Name

ユーザー名を入力します。

## Password

パスワードを入力します。

## CCM Certificate

CCMおよびXDCAM air接続用の証明書の読み込みや消去について設定します。

- Load  
手順3でSetを選択すると、証明書を読み込みます。
- \* 読み込む証明書はPEM形式で、SDカードのルートディレクトリーに "CCM\_certification.pem" のファイル名で書き込んでおいてください。
- Clear  
手順3でSetを選択すると、証明書をクリアします。
- None  
読み込み／消去を行いません。

### ご注意

- CCMおよびXDCAM air接続用の証明書を読み込む際は、本機の時刻を正しく設定してください。
- XAVC-I 3840×2160P 59.94/50Pで記録中は、Loadは選択できません。
- 低電圧時には、CCMおよびXDCAM air接続用の証明書をLoad/Clearすることはできません。

## CCM Certificate Status

証明書の読み込み状態を表示します。

## Camera Control

CCM接続時のカメラコントロール許可／不許可を設定します。

## Camera Setting

CCM接続時のAll File操作の許可／不許可を設定します。

## Reset

NCM Settingsの設定を初期値に戻します。

## 3 設定が完了したらSetを選択し、設定内容を確定する。

設定完了後は、必ずSetを選択してください。Setを選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。

## 4 NetworkメニューのNetwork Client ModeのNCM Settings Selectで、手順1～3で設定したNCM Settings1 (またはNCM Settings2、NCM Settings3) を選択する。

---

## ネットワーククライアントモードで接続する

---

### 1 「インターネット接続する」(65ページ)の手順に従って、本機をインターネットに接続する。

### 2 NetworkメニューのNetwork Client Modeで、SettingをOnにする。

ネットワーククライアントモードが有効になり、ネットワークRXステーションまたはXDCAM airと接続します。ネットワークRXステーションの操作により、ライブストリーミングが開始されます。操作については、ネットワークRXステーションの取扱説明書またはXDCAM airのヘルプをご覧ください。なお、アサインボタン (43ページ) にNetwork Client Modeを割り当て押すことでも、SettingをOn/Offできます。

### ご注意

- メニューの設定が以下の場合、ストリーミングを開始できません。
  - SystemメニューのRec FormatのCodecがDVCAM(MXF)のとき
  - RecordingメニューのS&Q MotionのSettingがOnのとき
  - RecordingメニューのInterval RecのSettingがOnのとき
  - RecordingメニューのSimul RecのSettingがOnのとき
- 通常のストリーミング (71ページ) 中はネットワーククライアントモードに移行できません。

- ネットワーククライアントモードに移行すると、通常のストリーミング、モニタリング（78ページ）はできません。
- モニタリング中にネットワーククライアントモードに移行すると、モニタリングは停止します。
- ネットワーククライアントモードでのストリーミング中は、ファイルを転送できません。ストリーミングを停止するとファイルを転送できます。
- ファイル転送中にネットワーククライアントモードでのストリーミングを開始すると、ファイル転送は停止します。ストリーミングを停止するとファイル転送を再開します。
- User NameとPasswordと証明書はALLファイルに保存されませんので、ALLファイルの読み込み後に再設定する必要があります。
- ネットワーククライアントモードでのストリーミング中にSettingをOffにした場合は、ストリーミングが停止します。
- ネットワーククライアントモードでのストリーミング中は、NCM Settings SelectとNCM Settings Selectで選択されているNCM Settingsの内容は変更できません。
- ストリーミング中は画面情報の更新頻度が低下しますが、操作には影響しません。
- ネットワーククライアントモードでのストリーミング中は、記録設定は変更できません。
- ネットワーククライアントモードでのストリーミング中は、有線LAN設定は変更できません。
- QoSストリーミング中にサムネイルや再生画面に遷移する際には、映像が一度停止します。
- ストリーミング可能な配信フォーマットは、本線Rec Formatによって変わります。

## ネットワーククライアントモードでファイルを転送する

ネットワークRXステーションのCCMと本機をネットワーククライアントモードで接続して、CCMで設定されたサーバーへファイル転送することができます。

### 1 転送したいファイルを選ぶ。

- プロキシ記録を転送する場合  
「SDカードのプロキシファイルを送送する」（69ページ）の手順1～4参照
- オリジナルファイルを転送する場合  
「SxSメモリーカードのオリジナルファイルを転送する」（69ページ）の手順1～4参照

### 2 Transferをタップする。

転送先に「NCM：RX Server」が表示されます。

「NCM：RX Server」を転送先に指定します。

### 3 Transferをタップする。

CCMで設定されたサーバーへ、選んだファイルの転送を開始します。

#### ご注意

- ネットワーククライアントモードでないときも、転送先をNCM：RX Serverにできます。この場合は、転送は保留となり、ネットワーククライアントモードでCCMに接続後、CCMで設定されたサーバーへ転送を開始します。

## ネットワーククライアントモードでインカム通話をする

ネットワーククライアントモードを使用して、本機のUSB3.0（HOST）端子に接続したヘッドセットでカムコーダーとネットワークRXステーションのCCMまたはXDCAM airでインカム通話を行うことができます。

#### ご注意

- ヘッドセットは必ず本機のUSB3.0（HOST）端子に接続してください。
- 接続規格はUSB2.0相当です。
- USBハブを介してヘッドセットを接続した場合の動作保証はいたしかねます。
- USB3.0（HOST）端子とUSB2.0（HOST）端子の両方にヘッドセットを接続した場合の動作保証はいたしかねます。
- USB2.0（HOST）端子にヘッドセットを接続すると、インカム通話が行えなくなる場合があります。USB2.0（HOST）端子に接続したヘッドセットを抜いた上で、いったん電源スイッチをSTANDBYに変更したあと、再度電源スイッチをONにしてください。
- インカム通話中にNetwork Client ModeのSettingをOffにすると、インカム通話が停止します。
- インカム通話中にNCM Settings SelectとNCM Settings Selectで選択されているNCM Settingsの内容を変更すると、インカム通話が停止します。
- メニューの設定が以下の場合、CCMまたはXDCAM airからカムコーダー（本機）にインカム通話の開始指示はできません。
  - CameraメニューのFocusのFace Detection AFがFace Only AFまたはFace Priority AF
  - RecordingメニューのProxy RecのSettingがOn
  - Recordingメニューの4K & HD(Sub)RecのSettingがOn

1 「インターネット接続する」(65ページ)の手順に従って、本機をインターネットに接続する。

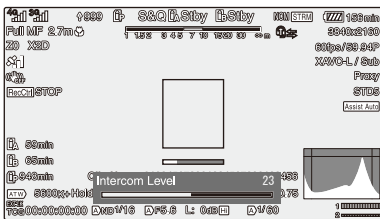
2 NetworkメニューのNetwork Client Modeで、SettingをOnにする。  
ネットワーククライアントモードが有効になり、ネットワークRXステーションのCCMまたはXDCAM airと接続します。以降のCCMまたはXDCAM airの操作については、ネットワークRXステーションの取扱説明書またはXDCAM airのヘルプをご覧ください。

3 CCMまたはXDCAM airから接続されたカムコーダー(本機)にインカム通話の開始指示を行う。  
CCMまたはXDCAM airからの開始指示を受信するとモニター画面上にインカム接続アイコンが表示されます(14ページ)。

4 CCMまたはXDCAM airから接続されたカムコーダー(本機)にインカム通話の停止指示を行う。  
通話を中止するには、CCMまたはXDCAM airからカムコーダー(本機)にインカム通話の中止指示を行います。

## インカムの受話レベル調整

ヘッドセットの音量ボタンを操作すると、モニター画面に受話レベル調整用レベルバーが表示されます。  
アサインボタンにIntercom Levelが割り当てられていれば、そのボタンを押してモニター画面に受話レベル調整用レベルバーを表示することもできます。



受話レベル調整用レベルバーが表示された状態で受話レベルを調整してください。

ヘッドセットの音量を大きくするボタンを押す、またはSEL/SETダイヤルを上に戻すか▲/▼/◀/▶ボタンの▲または▶を押すと、音量が大きくなります。  
ヘッドセットの音量を小さくするボタンを押す、またはSEL/SETダイヤルを下に戻すか▲/▼/◀/▶ボタンの▼または◀を押すと、音量が小さくなります。

### ご注意

- 受話レベル調整はヘッドセットの機能に依存するため、ヘッドセットの音量ボタンを押したとき、以下のいずれかの調整が行われます。
  - ヘッドセット内部の受話レベルのみ調整される
  - ヘッドセット内部の受話レベルとカムコーダー側が持つ受話レベルの両方が調整される
  - ヘッドセットに受話レベル調整機能がないとき、カムコーダー側の受話レベルのみ調整される
- ヘッドセットの機能に依存して以下のような動作となる場合があります。
  - ヘッドセットの音量ボタンの1回押ししたとき、受話レベル値が2レベル以上変化する
  - ヘッドセットの音量ボタンを2回以上押さないと、受話レベル値が変化しない
  - 受話レベル値が2レベル以上変化しないと、実際の音量が変化しない
  - 音量ボタンを押してもモニター画面に受話レベル調整用レベルバーが表示されない
- ヘッドセットのみで受話レベルを調整する場合、モニター画面に受話レベル調整用レベルバーは表示されません。
- 通信状況や処理の負荷状況によっては、音質が悪くなる場合があります。

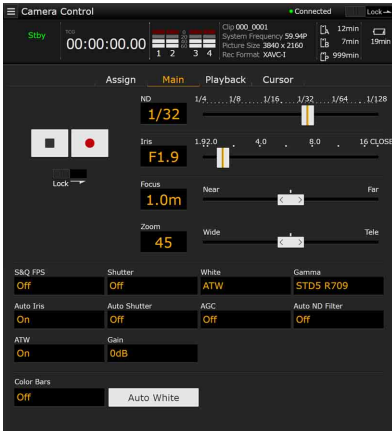
# Webリモコンを使用する

ネットワーク接続時は、スマートフォン/タブレットやコンピューターから、本機に内蔵されたWebリモコンにアクセスすることができます。

Webリモコンを使用すると遠隔から本機を操作できます。記録の開始/停止や撮影設定を遠隔操作で調整できるため、本機を離れた場所に固定する場合や、本機をクレーンに装着して使用する場合などに有効です。

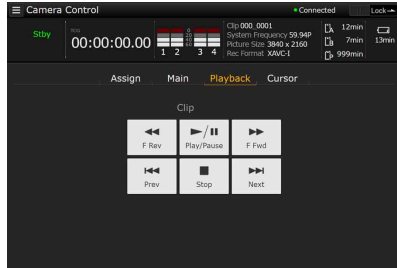
## Camera Control 画面

### Main画面



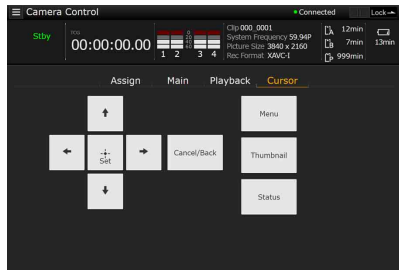
- ステータス表示
- 記録開始・停止ボタン
- NDスライダー
- Irisスライダー
- Focusスライダー
- Zoomスライダー
- 撮影設定表示  
S&Q FPS, Shutter, White, Gamma, Auto Iris, Auto Shutter, AGC, Auto ND Filter, ATW, Gain, Color Bars, Auto White

## Playback画面



- ステータス表示
- 再生操作ボタン  
F Rev, Play/Pause, F Fwd, Prev, Stop, Next

## Cursor画面



- ステータス表示
- カーソル操作ボタン、メニュー /ステータス表示  
Up, Left, Set, Right, Down, Cancel/Back, Menu, Status, Thumbnail

## Assign画面



- ステータス表示
- アサインボタン表示  
アサインボタン1~10

## Webリモコンを表示する

1 本機とデバイスをネットワーク接続 (59ページ) する。

2 デバイスでブラウザを起動し、「http://本機のIPアドレス/rm.html」にアクセスする。

例：IPアドレスが「192.198.122.1」の場合は、アドレスバーに「http://192.198.122.1/rm.html」と入力します。

本機のIPアドレスは、ネットワークステータス画面 (17ページ) で確認してください。

3 ブラウザー画面に、ユーザー名とパスワード (Networkメニュー → Access Authentication → User Name および Password) を入力する。

接続が完了すると、デバイスにWebリモコン画面が表示されます。

以降は、画面表示のとおり操作してください。

Lockつまみを右にスライドすると、ボタンの操作を禁止することができます。

### ご注意

- 次の場合は、Webリモコン画面と本機の状態が一致なくなることがあります。その場合は、ブラウザの表示を更新してください。
  - 接続中に本機を再起動した場合
  - 接続中に本機を操作した場合
  - デバイスを再接続した場合
  - ブラウザーで進む/戻るを操作した場合
- 電波状態が著しく悪い場合、Webリモコンが機能しなくなることがあります。

## Webリモコンの対応デバイスについて



本機の設定や操作には、タブレットまたはコンピューターを使用することができます。使用できるデバイス、OS、ブラウザは以下をご覧ください。

デバイス	OS	ブラウザ
タブレット	Android6/7	Chrome
	iOS12	Safari

デバイス	OS	ブラウザ
コンピューター	Windows 7/ 8.1/10	Chrome
	macOS	Safari
	10.13/10.14	

「Content Browser Mobile」アプリケーションの対応デバイスについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

# Webリモコンのメニューについて

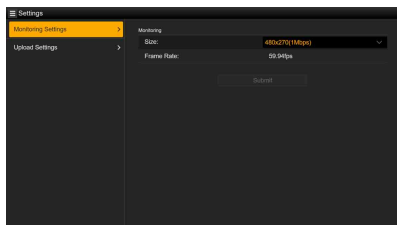
画面左上の  をタップすると、画面選択メニューが現れます。Monitoring Settings を選択すると、モニタリング設定画面が表示されます。モニタリング設定画面で画面左上の  をタップすると、ファイル転送などの設定メニューが表示されます。

## メニューの項目

- Remote Control
  - Camera Control
- Monitoring
  - Monitoring Settings
- File Transfer
  - Slot A
  - Slot B
  - Slot SD/MS
  - Job List
  - Upload Settings

## モニタリング映像の設定 「Monitoring Settings」

デバイスでモニタリングするときのフォーマットを設定します。



### Size

モニタリング用の映像のサイズとビットレートを設定します。

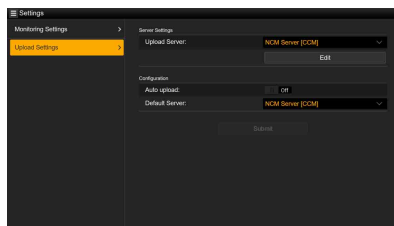
- 480x270(1Mbps)
- 480x270(0.5Mbps)

## Frame Rate

モニタリング用の映像のフレームレートが表示されます。

## ファイル転送先設定「Upload Settings」

本機に記録したプロキシーファイルやオリジナルファイルを転送するサーバーの設定変更を行います。

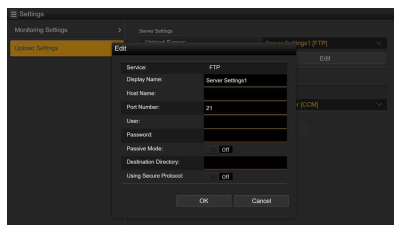


## 転送先のサーバーを登録する

Upload ServerのリストでServer Settings 1～3のいずれかを選択し、Editをタップすると、サーバー設定用の画面が表示されますので、各項目を設定してサーバーを登録します。

NetworkメニューのFile Transfer（68ページ）でもサーバーを登録できます。

ここで設定したサーバーが、Slot A、Slot B、Slot SD/MSの画面でのファイル転送時の転送先リストに表示されます。



設定後にOKをタップすると設定を反映し、Cancelをタップすると、設定を中止します。

## Service

サーバーの種類を表示します。

「FTP」：FTP サーバー

## Display Name

リストに表示されるサーバー名を入力します。

### Host Name

サーバーのアドレスを入力します。

### Port Number

サーバーに接続する際のポート番号を入力します。

### User

ユーザー名を入力します。

### Password

パスワードを入力します。

### Passive Mode

パッシブモードのON/OFFを行います。

### Destination Directory

転送先ディレクトリーを入力します。

#### ご注意

- 転送先サーバーで使用できない文字を転送先ディレクトリーに入力した場合、ファイルはユーザーのホームディレクトリーに転送されます。使用できない文字はサーバーによって異なります。

### Using Secure Protocol

セキュアなFTP転送を行うかどうかを設定します。ONにすると証明書の状況が表示されます。

証明書の読み込みや消去は、Select Functionをタップして、表示されるメニューで行います。

#### • Load

CA証明書を読み込みます。

- \* 読み込む証明書はPEM形式で、SDカードのルートディレクトリーに"certification.pem"のファイル名で書き込んでおいてください。

#### • Clear

CA証明書をクリアします。

#### • None

読み込み／消去を行いません。

#### ご注意

- CA証明書を読み込む際は、本機の時刻を正しく設定してください。

### 登録済みのサーバーの設定を変更する

Upload Settings画面で設定を変更したいサーバー名を選んでEditをタップします。設

定変更画面が表示されますので、必要に応じて設定を変更します。

NetworkメニューのFile Transfer（131ページ）でもサーバーを設定できます。

### プロキシファイルを自動転送する

#### Auto Upload On/Off

Auto Upload On/Off がOnでインターネット接続状態の場合、記録を終了するとDefault Serverでデフォルト設定されたサーバーに対して、自動的にプロキシファイルを送信します。

#### Default Server

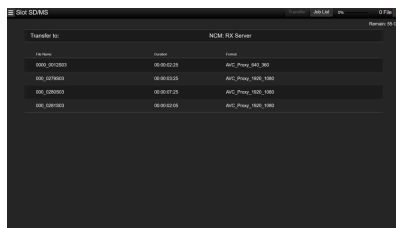
デフォルトのファイル転送先を選択します。

## ファイル転送管理「File Transfer」

SxSメモリーカードに記録されているオリジナルファイルやSDカードに記録されているプロキシファイルの転送、転送ファイルの管理、転送先の設定を行います

### ファイルの転送「Slot A、Slot B、Slot SD/MS」

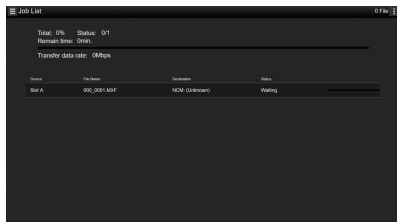
Slot A、Slot Bに挿入されているメディアに記録されているクリップ、またはUTILITY SD/MSスロットに挿入されているメディアに記録されているプロキシファイルの一覧を表示します。



表示されているファイルを選択して、インターネット上のサーバーへ転送することができます。転送のしかたについては、「ファイルを転送する」（68ページ）をご覧ください。

## ファイル転送の確認「Job List」

転送中のファイルや転送ファイルのリストの確認をしたり、転送するファイルの中止、再開、削除などを行うことができます。本機はFTPレジューム機能（転送途中からのファイルの再転送機能）に対応しています。



- Total：転送する全ファイルの進捗状況です。
- Status：転送中のファイルの進捗状況です。
- Remain time：予想残り転送時間表示です。
- Transfer data rate：転送レート表示です。

### ファイルの転送中止、再開、転送リストからファイルを削除する

#### 1 ファイルを選ぶ。

#### 2 画面右上の をタップして、項目を選ぶ。

- Abort selected：転送を中止します。
- Delete from list：転送リストからファイルを削除します。
- Start selected：ファイルの転送を開始します。
- Select All：リストを全選択します。
- Clear completed：転送済みファイルリストを削除します。



## サムネイル画面の構成

THUMBNAILボタン（11ページ）を押すと、SxSメモリーカードに収録されているクリップが、サムネイル（縮小画）画面に表示されます。

サムネイル画面で選択したクリップから再生を開始することができます。再生画像は、液晶画面/ビューファインダー、外部ビデオモニターに表示できます。

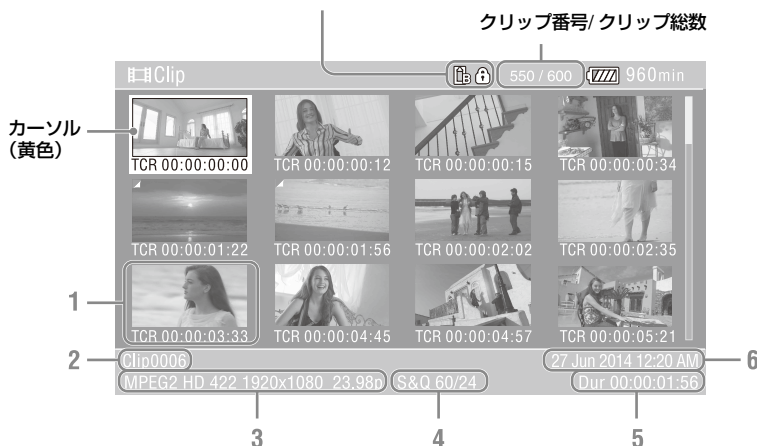
THUMBNAILボタンを押すと、サムネイル画面を終了し、撮影画面に戻ります。

### ご注意

- サムネイル画面には、現在選択しているフォーマットで収録されたクリップのみが表示されます。収録したはずのクリップが表示されないときは、記録フォーマットをご確認ください。また、メディアのフォーマット（初期化）などを行う際にはご注意ください。

画面下部には、カーソル位置のクリップの情報が表示されます。

現在選択されているSxSメモリーカードを表示  
(プロテクトされている場合は右にロックマーク表示)



### 1. サムネイル（縮小画）

各クリップの代表画像です。記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画に設定されます。

サムネイルの下にはクリップ/フレーム情報が表示されます。サムネイルメニューのCustomize View（88ページ）のThumbnail Captionで表示内容を変更できます。

### 2. クリップ名

選択されているクリップのクリップ名が表示されます。

### 3. 記録時のビデオフォーマット

選択したクリップのファイルフォーマットが表示されます。

### 4. 特殊記録撮影情報

特殊記録モードで記録されたクリップの場合のみ、そのモードが表示されます。スロー&クイックモーション記録されたクリップの場合は、右側にフレームレートが表示されます。

### 5. クリップの収録時間（Duration）

### 6. 作成日時

# クリップの再生

## 記録したクリップを再生する

本機が記録停止中（Stby）のときは、記録したクリップを再生することができます。

- 1 再生するSxSメモリーカードを入れる。
- 2 再生操作ボタンのPLAY/PAUSEボタンを押す。
- 3 PREVボタンまたはNEXTボタンを押して、再生したいクリップの頭出しをする。
- 4 PLAY/PAUSEボタンを押す。  
ビューファインダー画面に再生画が表示されます。

再生操作は次のボタンで行います。

**PLAY/PAUSEボタン**：再生を一時停止します。もう一度押すと再生モードに戻ります。

**F FWDボタン/F REVボタン**：高速再生します。PLAY/PAUSEボタンを押すと標準再生に戻ります。

**STOPボタン**：再生を停止し、記録停止状態にします。

**先頭のサムネイルを選択するには**

F REVボタンを押したままPREVボタンを押します。

**最終のサムネイルを選択するには**

F FWDボタンを押したままNEXTボタンを押します。

## 選択したクリップ以降のクリップを連続再生する

- 1 **↔/↔/↔**ボタンを押すか、または**SEL/SET**ダイヤルを回して、再生を開始したいクリップのサムネイルにカーソルを合わせる。

## 2 SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

選択したクリップの先頭から再生が始まります。

### ご注意

- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は操作ができません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始すると、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れない映像で再生するには、一度再生モードにした後で一時的に停止し、再生操作ボタンのPREVボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。

## 再生中にショットマークを追加する（exFAT、UDF）

記録時と同様に、ボタンを押すことによって再生中のクリップに、ショットマークを追加することができます。

**ショットマークを入れたい部分で、Shot Mark1またはShot Mark2を割り当てたアサインボタンを押す。**

### ご注意

- SxSメモリーカードがプロテクトされている場合にはショットマークは記録できません。
- クリップの先頭と末尾にはショットマークは記録できません。

## 再生中の音声を聞く

標準再生モードでは、記録されている音声を内蔵スピーカーまたはヘッドホンでモニターできます。

ヘッドホン端子（10ページ）にヘッドホンをつなぐと、内蔵スピーカーはオフになります。

VOLUMEボタン（11ページ）を押して音量を調節します。

モニターするチャンネルは、AudioメニューのAudio Output（114ページ）で選択できます。

# クリップ操作

クリップの保護や削除、詳細情報の確認、クリップへのクリップフラグの付加、削除などの操作には、Thumbnailメニューを使用します。

## Thumbnailメニューの操作方法

Thumbnailメニューは、サムネイル画面の表示中のみ操作できます。

- 1 THUMBNAILボタンを押す。**  
サムネイル画面が表示されます。
- 2 MENUボタンを押す。**  
メニュー画面が表示されます。
- 3 ▲/▼/◀/▶ボタンまたはSEL/SETダイヤルでThumbnailを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**

Thumbnailメニューを消すときは、もう一度MENUボタンを押します。

メニュー項目／細目は以下の操作で選択します。

**▲/▼/◀/▶ボタンまたはSEL/SETダイヤルで項目／細目を選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**

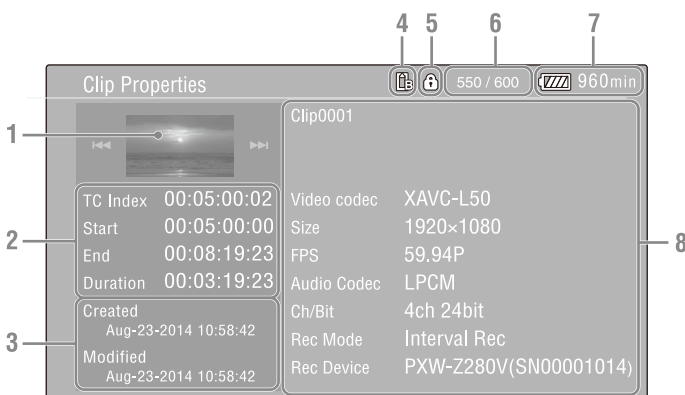
CANCEL/BACKボタン（10ページ）を押すと、操作前の画面に戻ります。

### ご注意

- SxSメモリーカードがプロテクトされているときは、操作できない項目があります。
- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。

## クリップの詳細情報を表示する

ThumbnailメニューでDisplay Clip Propertiesを選択します。



### 1. 現在のクリップの画像

### 2. タイムコード表示

TC Index：表示されている画像のタイムコード

Start：記録開始点のタイムコード

End：記録終了点のタイムコード

Duration：収録時間

### 3. 収録日時と変更日時

### 4. 現在選択されているメモリーカード

### 5. メディアプロテクトアイコン

### 6. クリップ番号/クリップ総数

### 7. バッテリーアイコン

### 8. クリップの情報

クリップ名

記録フォーマット

特殊記録撮影情報

収録機器名

## クリップを保護する (exFAT、UDF)

特定のクリップまたはすべてのクリップを保護して、クリップを削除できない状態にすることができます。

保護されたクリップのサムネイルには🔒が付きます。

クリップの保護操作は、サムネイル画面またはフィルタードクリップサムネイル画面(87ページ)で行います。

### 特定のクリップを保護する

- 1 ThumbnailメニューのLock/Unlock Clipで、Select Clipを選択し、Executeを選択する。**  
クリップの選択画面が表示されます。
- 2 保護するクリップを選択する。**  
選択したクリップにチェックマークが付きます。
- 3 MENUボタンを押す。**  
確認画面が表示されます。
- 4 Executeを選択する。**  
クリップが保護され、完了メッセージが表示されます。
- 5 SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押してメッセージを消す。**

### すべてのクリップを保護する

- 1 ThumbnailメニューのLock/Unlock Clipで、Lock All Clipsを選択し、Executeを選択する。**  
確認画面が表示されます。
- 2 Executeを選択する。**  
すべてのクリップが保護され、完了メッセージが表示されます。
- 3 SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押してメッセージを消す。**

### すべてのクリップの保護を解除する

- 1 ThumbnailメニューのLock/Unlock Clipで、Unlock All Clipsを選択し、Executeを選択する。**  
確認画面が表示されます。
- 2 Executeを選択する。**  
すべてのクリップの保護が解除され、完了メッセージが表示されます。
- 3 SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押してメッセージを消す。**

## クリップをコピーする

クリップを別のSxSメモリーカードにコピーすることができます。  
コピー先のSxSメモリーカードには同じクリップ名でコピーされます。

### ご注意

- コピー先のSxSメモリーカードに同名のクリップが存在している場合は、オリジナルのクリップ名に1桁の括弧数字を付加したクリップ名でコピーされます。  
括弧数字は、コピー先に存在しない最小値になります。  
例： ABCD0002 → ABCD0002(1)  
      ABCD0002(1) → ABCD0002(2)  
      ABCD0005(3) → ABCD0005(4)
- FATの場合、コピー回数が10回を超えた場合など、括弧数字(1)~(9)がすでに存在するカードにはそれ以上コピーできません。
- exFAT、UDFの場合、コピー回数が1000回を超えた場合など、括弧数字(1)~(999)がすでに存在するカードにはそれ以上コピーできません。
- コピー先のSxSメモリーカードの残量が不足しているときはメッセージが表示されますので、コピー先のSxSメモリーカードを交換してください。
- 複数のクリップが記録されたSxSメモリーカードをコピーする場合は、容量が同じSxSメモリーカードであっても、使用条件やメモリーの特性などにより、すべてのクリップを最後までコピーできない場合があります。

---

## 特定のクリップをコピーする

---

- 1 **ThumbnailメニューのCopy Clipで、Select Clipを選択し、Executeを選択する。**  
クリップの選択画面が表示されます。
- 2 **コピーするクリップを選択する。**  
選択したクリップにチェックマークが付きまます。
- 3 **MENUボタンを押す。**  
確認画面が表示されます。
- 4 **Executeを選択する。**  
クリップがコピーされ、完了メッセージが表示されます。
- 5 **SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押してメッセージを消す。**

---

## クリップを一括コピーする

---

同じSxSメモリーカードに記録されているクリップを、別のSxSメモリーカードにまとめてコピーすることができます。

- 1 **ThumbnailメニューのCopy Clipで、All Clipsを選択し、Executeを選択する。**  
確認画面が表示されます。
- 2 **Executeを選択する。**  
すべてのクリップがコピーされ、完了メッセージが表示されます。
- 3 **SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押してメッセージを消す。**

## クリップを削除する

SxSメモリーカードからクリップを削除することができます。

### ご注意

- 保護されているクリップは削除できません。削除したいときは、保護を解除してください。

---

## 特定のクリップを削除する

---

- 1 **ThumbnailメニューのDelete Clipで、Select Clipを選択し、Executeを選択する。**  
クリップの選択画面が表示されます。
- 2 **削除するクリップを選択する。**  
選択したクリップにチェックマークが付きまます。
- 3 **MENUボタンを押す。**  
確認画面が表示されます。
- 4 **Executeを選択する。**  
クリップが削除され、完了メッセージが表示されます。
- 5 **SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押してメッセージを消す。**

---

## クリップを一括削除する

---

- 1 **ThumbnailメニューのDelete Clipで、All Clipsを選択し、Executeを選択する。**  
確認画面が表示されます。
- 2 **Executeを選択する。**  
すべてのクリップが削除され、完了メッセージが表示されます。
- 3 **SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押してメッセージを消す。**

## フラグを付ける/フラグを削除する (exFAT、UDF)

クリップにクリップフラグ (OK、NG、KEEPマーク) を付けると、フィルタードクリップサムネイル画面 (87ページ) で、クリップフラグを基にクリップを絞り込んでも表示することができます。

---

## クリップフラグを付ける

---

- 1 **クリップフラグを付けたいクリップのサムネイルを選択する。**

## 2 ThumbnailメニューのSet Clip Flagで、クリップフラグの付加動作 (Add OK、Add NG、Add KEEP) を選択する。

選択したクリップのサムネイルにクリップフラグが付けられます。

アサインボタン (43ページ) に、Clip Flag OK、Clip Flag NG、Clip Flag Keepを割り当て、そのボタンを押すことでクリップフラグを付けることもできます

### クリップフラグを削除する

#### 1 クリップフラグを削除したいクリップのサムネイルを選択する。

#### 2 ThumbnailメニューのSet Clip Flagで、Delete Clip Flagを選択する。

選択したクリップのクリップフラグが削除されます。

### フィルタードクリップサムネイル画面で表示するクリップを絞り込む (exFAT、UDF)

ThumbnailメニューのFilter Clipsで、絞り込み対象のクリップフラグ (OK、NG、KEEP) を選択し、Executeを選択する。

選択したクリップフラグで絞り込まれたクリップ画面が表示されます。この画面をフィルタードクリップサムネイル画面と呼びます。

ThumbnailメニューのFilter ClipsでAllを選択すると、絞り込みを解除して、クリップサムネイル画面に戻ります。

DISPLAYボタンで切り替えることもできます。

### ショットマークを削除する (exFAT、UDF)

クリップに付けられたショットマークを削除することができます。

ショットマークの削除は、エッセンスマークサムネイル画面で行います。

#### 1 ThumbnailメニューのThumbnail ViewのEssence Mark Thumbnailで、削除するショットマークの種類 (Shot Mark1またはShot Mark2) を選択する。

エッセンスマークサムネイル画面が表示されます。

#### 2 ショットマークを削除するフレームのサムネイルを選択する。

#### 3 ThumbnailメニューのSet Shot Markで、Delete Shot Mark1またはDelete Shot Mark2を選択する。

選択したフレームのショットマークが削除されます。

### エッセンスマークサムネイル画面でクリップ (フレーム) を絞り込む (exFAT、UDF)

クリップに1つ以上のエッセンスマーク (ショットマーク、レックスタートマーク) が記録されている場合に、エッセンスマークの付加されているフレームだけをサムネイル形式で表示することができます。この画面をエッセンスマークサムネイル画面と呼びます。

ThumbnailメニューのThumbnail ViewのEssence Mark Thumbnailで、絞り込み対象のエッセンスマークを選択する。

**All** : エッセンスマークが付いたすべてのフレームが対象

**Rec Start** : レックスタートマークがついているフレームおよび先頭フレームにレックスタートマークが付いていないクリップの先頭フレームが対象

**Shot Mark0~Shot Mark9** : 各ショットマークが付いたフレームが対象

選択したエッセンスマークで絞り込まれたエッセンスマークサムネイル画面が表示されます。

ショットマーク0～ショットマーク9の名前を定義したプランニングメタデータを使用してクリップを記録した場合は、リストの選択項目が定義した名前になります。

## サムネイル画面の情報を変更する

サムネイルの下に表示されるクリップ/フレーム情報を変更します。

**ThumbnailメニューのCustomize ViewのThumbnail Captionで、表示したい内容を選択する。**

**Date Time**：作成日時または最終変更日時

**Time Code**：タイムコード

**Duration**：収録時間

**Sequential Number**：サムネイル番号

## クリップの代表画を変更する

エッセンスマークサムネイル画面で選択したフレームを、クリップの代表画にすることができます。

- 1 エッセンスマークサムネイル画面で、代表画にしたいフレームのサムネイルを選択する。**
- 2 ThumbnailメニューのSet Index Pictureを選択する。**  
選択したフレームがクリップの代表画に設定されます。



## 外部モニターや記録装置を接続する

記録・再生画像を外部モニターに表示させるときは、本機の出力信号を選択し、接続するモニターに応じた接続ケーブルを使用してください。

VTRなどの記録装置を接続して、本機の出力信号を記録することもできます。

外部モニターにビューファインダーと同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示させることができます。モニターに出力する信号に応じて、VideoメニューのOutput Display（114ページ）をOnに設定してください。

### SDI OUT端子（BNC型）

Videoメニュー（114ページ）で、出力のON/OFFや出力フォーマットを設定します。接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

#### ご注意

- 本機と外部機器の間のアースが確実に接地されていることを確認してから、電源を入れてください。（75Ω同軸ケーブルを接続した後に、本機と外部機器の電源を入れることをお勧めします。）やむを得ず、電源投入状態で外部機器を接続する場合は、75Ω同軸ケーブルを外部機器に接続した後に、本機と接続してください。

### 本機と同時に外部機器で記録を開始するには

SDI信号出力時は、VideoメニューのSDI/HDMI Rec Control（114ページ）のSettingをOnに設定すると、SDI OUT端子に接続した外部機器にRECトリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります。

#### ご注意

- 接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。

### HDMI OUT端子（Type Aコネクター）

Videoメニュー（114ページ）で、出力のON/OFFや出力フォーマットを設定します。接続には、市販のハイスピードHDMIケーブルを使用します。

### GENLOCK IN/VIDEO OUT端子（BNC型）

VideoメニューのOutput Formatの設定を変更することにより、HD-Y信号、HD-Sync信号またはダウンコンバートされたモニター用SDアナログコンポジット信号を出力することができます。

接続には市販のBNCケーブルを使用してください。

詳細は「ビデオフォーマットと出力信号」（146ページ）をご覧ください。

### マルチ/マイクロUSB端子

AVケーブルVMC-15MR2（別売）を使用して、2チャンネルの音声信号を出力することができます。

## 外部同期

本機を複数台使用して撮影するときなど、特定の基準信号に同期させたり、タイムコードを合わせることができます。

### 映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）

本機のGENLOCK IN/VIDEO OUT端子（9ページ）に基準信号を入力することによって、ゲンロックが可能です。

入力できる基準信号は、選択している記録フォーマットのシステム周波数によって異なります。

記録フォーマットのシステム周波数	入力可能な基準信号
59.94P	1920 x 1080 59.94i
	720 x 486 59.94i
	1280 x 720 59.94P
29.97P	1920 x 1080 59.94i
	720 x 486 59.94i
23.98P	1920 x 1080 47.95i
	(23.98PsF)
59.94i	1920 x 1080 59.94i
	720 x 486 59.94i
50P	1920 x 1080 50i
	720 x 576 50i
	1280 x 720 50P
25P	1920 x 1080 50i
	720 x 576 50i
50i	1920 x 1080 50i
	720 x 576 50i

#### ご注意

- 選択している記録フォーマットが1280x720 60pの場合、映像信号とタイムコード信号の両方を入力する必要があります。
- 基準信号が不安定な場合は、ゲンロックできません。
- サブキャリアは同期しません。

### 他機のタイムコードにロックさせる

タイムコード供給源となる機器は、タイムコード出力が更新されるモード（Free RunやClock）に設定してください。

- 1 **TC/UBメニューのTimecodeを次のように設定する。**  
Mode : Preset  
Run : Free Run
- 2 **DURATION/TC/U-BITボタン（11ページ）を押して、画面にタイムコードを表示させる。**
- 3 **IN/OUTスイッチ（9ページ）がIN側になっていることを確認し、GENLOCK IN/VIDEO OUT端子とTC端子に、それぞれHDまたはSDのリファレンスビデオ信号およびそれに同期した基準タイムコードを供給する。**

これで本機のタイムコードジェネレーターが基準タイムコードにロックし、画面に「Ext LK」と表示されます。

ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。

#### ご注意

- 供給する基準タイムコードとリファレンスビデオ信号が、SMPTEタイムコードの規格を満たした位相関係にあることを確認してください。
- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がタイムデータ表示部に出ますが、タイムコードジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録を開始しないでください。
- リファレンスビデオ信号の周波数と本機のフレーム周波数が同じでないと、正しくロックできず、本機が正常に動作できません。この場合、タイムコードも外部のタイムコードに正しくロックできません。
- 接続を外した場合、基準タイムコードに対し1時間で1フレームずれる場合があります。

## 外部ロックを解除するには

TC/UBメニューのTimecodeの設定を変更するか、本機の電源をSTANDBYにしてください。

システム周波数を変更した場合や、特殊記録モード（スロー&クイックモーションまたはインターバルレック）での記録を開始した場合も、外部ロックは解除されます。

## 本機のタイムコードに他機のタイムコードを合わせる

- 1 TC/UBメニューのTimecodeで本機のタイムコードを設定する（39ページ）。
- 2 IN/OUTスイッチ（9ページ）がOUT側になっていることを確認し、TC端子とGENLOCK IN/VIDEO OUT端子（9ページ）を、同期させたい機器のタイムコード入力端子、リファレンス信号入力端子に接続する。

## パソコンでクリップを管理・編集する

### USBケーブルを使って接続する

本機とコンピューターを付属のUSBケーブルで接続すると、スロットに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。


本機の場合、2枚のメモリーカードが挿入されているときは、コンピューターでは2つのドライブとして認識されます。

#### ご注意

- 本機はコンピューターからのバスパワーでは動作しません。それぞれ電源を用意してください。
- 本機が以下の状態のときは、拡張ドライブとして認識されません。
  - 記録中（特殊記録中を含む）
  - 再生中（高速再生中、一時停止中も含む）
  - サムネイル画面表示中
  - メディア初期化中
  - メモリーカードの修復および管理ファイル更新の実行中、実行前確認中
  - ストリーミング中
  - ネットワーククライアントモードで接続中

- 1 本機のマルチ/マイクロUSB端子とコンピューターをUSBケーブルで接続する。
- 2 本機の電源スイッチをONにする。  
液晶画面/ビューファインダー画面にUSBの接続を有効にするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

#### ご注意

- 確認メッセージが消えた場合は、再度USBケーブルを抜き差ししてください。なお、記録/再生/サムネイル画面中は確認メッセージは表示されません。
- 3  ボタンまたはSEL/SETダイヤルでExecuteを選択する。

- 4 Windowsの場合、「コンピュータ」/「PC」にリムーバブルディスクとして追加されていることを確認する。  
Macintoshの場合、デスクトップにNO NAMEまたはUntitledフォルダー（フォルダー名は任意に変更可）が作成されていることを確認する。

#### ご注意

- アクセランプが赤く点灯しているときは、次の操作をしないでください。
  - 電源を切る。電源コードを抜く。
  - SxSメモリーカードを抜く。
  - USBケーブルを抜く。
- Macintoshの場合、SxSメモリーカードを取り外すときは、メニューバーに表示されているSxSメモリーカードのアイコンから「カード電源切」を選択しないでください。
- すべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。

### アプリケーションソフトウェアを使う

コンピューターのローカルディスクにクリップをコピーする場合などは、専用のアプリケーションソフトウェアをダウンロードし、インストールして使用します。ソフトウェアのダウンロードについては、「ソフトウェアのダウンロードについて」（179ページ）をご覧ください。

記録した素材は、情報が複数のファイル、複数のフォルダーにまたがって置かれていますが、専用アプリケーションソフトウェアでは、これらの情報やディレクトリー構造を、ユーザーが意識することなく、容易に扱えるようになっていきます。

#### ご注意

- Explorer（Windows環境）やFinder（Mac環境）を使用して、SxSメモリーカード内のクリップのコピーなどを行うと、クリップが持つ情報を保持できなくなることがあります。

### ノンリニア編集システムを使う

ノンリニア編集システムには、本機で記録したフォーマットに対応した編集ソフトウェア（別売）が必要です。専用アプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめパソコンのHDDに編集したいクリップを保存しておきます。

### 外付けHDD／USBメディアを接続する

本機のUSB3.0（HOST）端子に外付けHDDやUSBメディアを接続すると、SxSメモリーカードスロットに挿入されている記録メディアのクリップを、外付けHDDやUSBメディアにコピーすることができます。

### クリップをUSBメディアにコピーする

- 1 MediaメニューのUSBのSelect Folder（123ページ）を選択する。
- 2 フォルダーの一覧からクリップのコピー先フォルダーを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。  
画面のNewを選択して、新しいフォルダーを任意に作成することもできます。

#### ご注意

- フォルダーを指定しない場合は、コピーするクリップの先頭クリップの撮影日時をフォルダー名とするフォルダーが自動的に作成され、クリップはそのフォルダーにコピーされます。

- 3 MediaメニューのUSBのCopy to USB（123ページ）で、コピー対象の記録メディアが挿入されている、SxSメモリーカードスロットを選択する。

**Media(A) to USB**：スロットAに挿入されている記録メディアのすべてのクリップをUSBメディアにコピーする。

**Media(B) to USB**：スロットBに挿入されている記録メディアのすべてのクリップをUSBメディアにコピーする。

**Media(A)(B) to USB**：スロットA、およびスロットBに挿入されている記録メディアのすべてのクリップをUSBメディアにコピーする。

#### ご注意

- 手順2でコピー先フォルダーを指定して、Media(A)(B) to USBを選択した場合、スロットAのクリップは、指定先のフォルダーにコピーされます。スロットBのクリップは、クリップの先頭クリップの撮影日時をフォルダー名として自動的に作成されるフォルダーにコピーされます。

- 4 **↔/↔/↔**ボタンまたはSEL/SETダイヤルでExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。対象の記録メディアのクリップがすべてUSBメディアにコピーされます。

#### ご注意

- コピーするクリップと同じファイル名のクリップがコピー先フォルダーに既に存在する場合、そのクリップはコピーされません。

### 外付けHDD／USBメディア内のクリップを一覧表示する

MediaメニューのUSBのView Clip List (123ページ) で、外付けHDD／USBメディア内のクリップを一覧表示することができます。

### 外付けHDD／USBメディア内のフォルダー名を変更する

- 1 **MediaメニューのUSBのRename Folder (123ページ) を選択する。**
- 2 **フォルダーの一覧からフォルダー名を変更するフォルダーを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**  
ファイル名の入力画面が表示されます。
- 3 **フォルダー名を入力し、Doneを選択する。**  
フォルダー名が変更されます。

### コピーのリードチェックエラーを行う

MediaメニューのUSBのError Check (123ページ) をOnにすると、クリップの書き込み後、リードチェックエラーを行うことができます。

### 外付けHDD／USBメディアを初期化する

- 1 **MediaメニューのUSBのFormat USB (123ページ) を選択する。**
- 2 **↔/↔/↔**ボタンまたはSEL/SETダイヤルでExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。初期化 (フォーマット) が開始されません。
- 3 **初期化完了のメッセージが表示されたら、OKを選択する。**

### 外付けHDD／USBメディアの空き容量を確認する

外付けHDD／USBメディアの空き容量は、MediaメニューのUSBを選択したときに表示される画面のMedia Remainの行に、GB単位で表示されます。

### 外付けHDD／USBメディアへの電源供給について

USB3.0 (HOST) 端子から外付けHDD／USBメディアへの電源供給は、MediaメニューのUSBのメニュー操作を行うと自動的に開始されます。ただし、以下の表に示す状態のときは、MediaメニューのUSBのメニュー操作を行っても、電源供給は開始されません。電源供給を開始するには、表に示す対策を行ってください。

状態	対策
クリップ記録中、再生中、サムネイル表示中、プロキニ記録中、メディアの初期化・修復・管理ファイル更新実行中、本機ソフトウェアのバージョンアップ中、本機のリセット中、ネットワーク設定のリセット中、コンピューターとの接続中、確認画面表示中、ストリーミング中	左記操作を終了する。

状態	対策
電源電圧不足	バッテリーを交換する。 入力電源を差し替える。
Rec FormatのFile SystemがexFAT以外	exFATにする。
Network Client ModeがOn	Network Client ModeをOffにする。

#### ご注意

- 外付けHDDやUSBメディアのクリップを、SxSメモリーカードスロットに挿入されている記録メディアにコピーすることはできません。
- USB3.0 (HOST) 端子への電源供給中は、クリップ記録はできません。クリップ記録を開始する場合は、MediaメニューのUSBのメニュー操作を終了してください。

# セットアップメニューの構成と階層

MENUボタンを押すと、撮影や再生に必要な各種設定を行うセットアップメニューが液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます（外部ビデオモニターに表示させることもできます）。下記のメニューから選択して設定します。

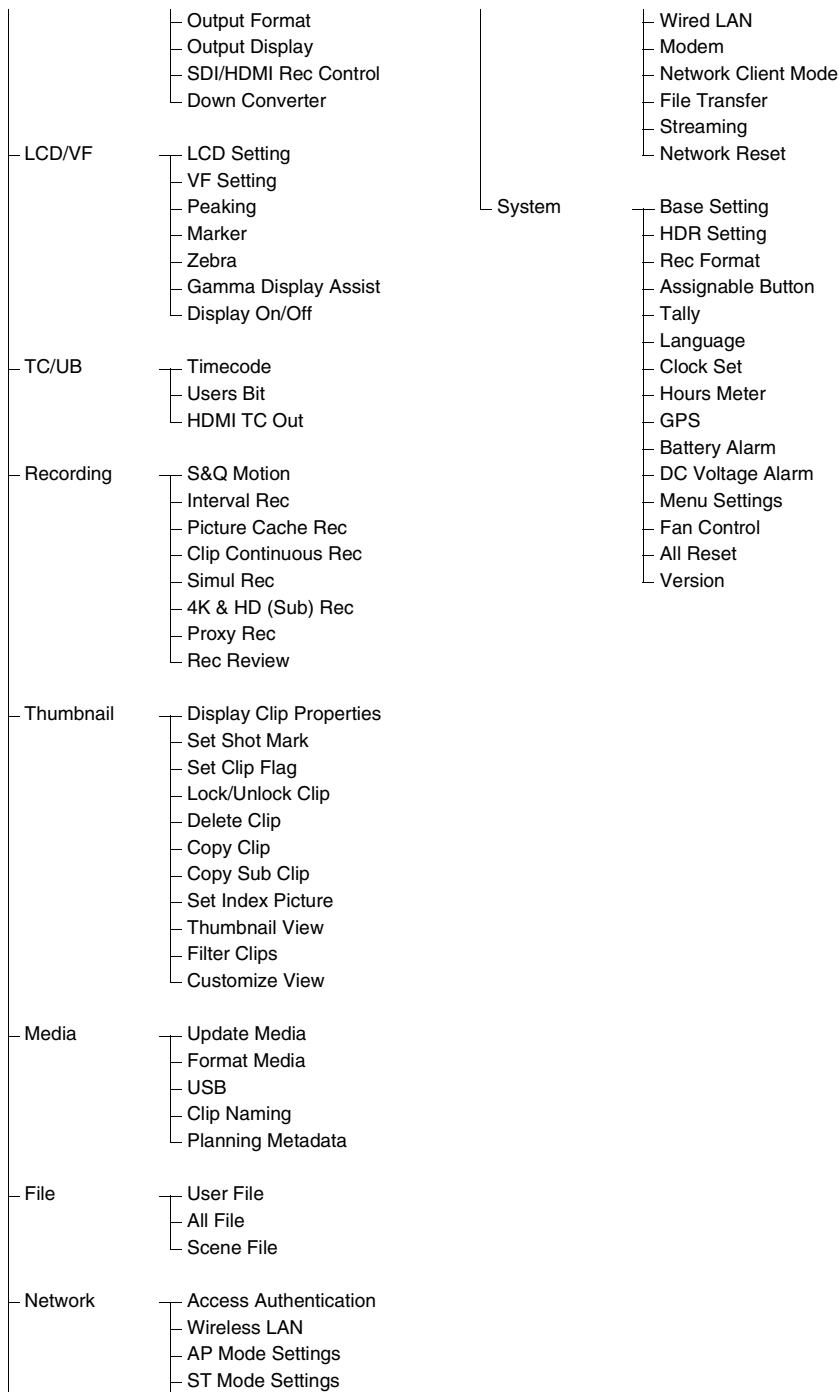
- Userメニュー**：任意の設定を集めたメニュー（Edit User Menuで編集可能）
- Edit Userメニュー**：Userメニューの編集用メニュー
- Cameraメニュー**：撮影に関する設定
- Paintメニュー**：画質に関する設定
- Audioメニュー**：音声に関する設定
- Videoメニュー**：映像出力に関する設定
- LCD/VFメニュー**：液晶画面とビューファインダー表示に関する設定
- TC/UBメニュー**：タイムコードとユーザービットに関する設定
- Recordingメニュー**：録画に関する設定
- Thumbnailメニュー**：サムネイル表示に関する設定
- Mediaメニュー**：メディアに関する設定
- Fileメニュー**：ファイルに関する設定
- Networkメニュー**：ネットワークに関する設定
- Systemメニュー**：システムに関する設定

## セットアップメニューの階層

### MENU

- User
  - Base Setting
  - HDR Setting
  - Rec Format
  - S&Q Motion
  - Picture Cache Rec
  - Simul Rec
  - 4K & HD (Sub) Rec
  - Proxy Rec
  - Output Format
  - Assignable Button
  - Delete Clip
  - Wireless LAN

- Wired LAN
- Modem
- Format Media
- Menu Settings
- Edit User Menu
  - Add Item
  - Customize Reset
- Camera
  - Focus
  - ND Filter
  - Gain
  - Shutter
  - Auto Exposure
  - Color Bars
  - Flicker Reduce
  - Flash Band Reduce
  - Handle Zoom
  - Auto Black Balance
  - Auto FB Adjust
  - Video Light Set
- Paint
  - HDR Paint Setting
  - White
  - White Setting
  - Offset White
  - Black
  - Gamma
  - Black Gamma
  - Low Key Saturation
  - Saturation Mode
  - Noise Suppression
  - Knee
  - White Clip
  - Detail(QFHD)
  - Detail(HD)
  - Detail(SD)
  - Skin Detail
  - Aperture
  - Matrix
  - Multi Matrix
  - Maintenance
- Audio
  - Audio Input
  - Audio Output
- Video
  - Output On/Off





# セットアップメニュー の操作方法

MENUボタンを押すと、撮影や再生に必要な各種設定を行うセットアップメニューが液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます（外部ビデオモニターに表示させることもできます）。

## メニュー操作部

### MENU ボタン（10 ページ）

セットアップメニューを操作するメニューモードをON/OFFします。

### SEL/SET ダイアル（10 ページ）

回すとカーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。SEL/SETダイアルを押すと、選択している項目を決定します。

### CANCEL/BACK ボタン（10 ページ）

一つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

### ⬅/➡/⬅/➡/SET ボタン

⬅/➡/⬅/➡/ボタンを押すと、カーソルが上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。

SETボタンを押すと、選択している項目を決定します。

#### ご注意

- ピント拡大画面（32ページ）になっていると、セットアップメニューは操作できません。

## メニューを設定する

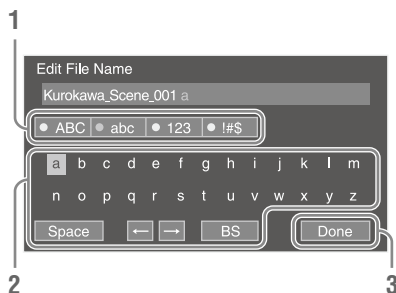
⬅/➡/⬅/➡/ボタンを押すか、またはSEL/SETダイアルを回して設定したい項目にカーソルを合わせ、SETボタンまたはSEL/SETダイアルを押して決定します。

- 選択項目が表示される選択肢エリアは最大9行表示です。選択肢が1度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。

- 選択肢の範囲が大きい項目の場合（例：-99～+99）は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定変更が可能な状態であることを示します。
- 実行項目でExecuteを選択した場合は、対応する機能が実行されます。
- 実行前に確認が必要な項目を選択すると、いったんメニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行するかキャンセルするかを選択してください。

## 文字列を入力する

ファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力画面が表示されます。



### 1 SEL/SETダイアルを回して入力したい文字タイプを選択し、決定する。

ABC：英大文字  
abc：英小文字  
123：数字  
!#\$：特殊文字

### 2 選んだ文字タイプから文字を選択し、決定する。

カーソルが次の欄に移動します。  
Space：カーソルの位置にスペースを入力します。  
⬅/➡：カーソル位置を移動します。  
BS：カーソルの左の文字を削除します。

### 3 入力が終わったら、Doneを選択し、決定する。

文字列を確定して、入力画面が消えます。

## メニューのロックと解除

セットアップメニューの表示をロックして、Userメニューだけを表示させることができます。

### メニューをロックする

- 1 SEL/SETダイヤルを押しながらMENUボタンを押す。**
- 2 SystemメニューのMenu settingsのUser Menu with Lockを選択する。**

#### ご注意

- MENUボタンのみを押して通常のセットアップメニューを表示した場合、SystemメニューのMenu settingsにはUser Menu Onlyが表示されますが、SEL/SETダイヤルを押しながらMENUボタンを押すと、User Menu with Lockが表示されます。

- 3 Onを選択してSETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**

液晶画面/ビューファインダー画面の表示が、暗証番号入力画面に切り替わります。

- 4 任意の番号を入力する。**

0000～9999の4桁の数値が入力できます。初期値は0000となっています。数値を入力し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押すと、カーソルが次の桁に移動します。すべての桁を入力したら、カーソルがSETに移動します。

- 5 SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**

入力が確定します。設定が完了したメッセージが表示され、Userメニュー表示に切り替わります。

#### ご注意

- 下表のセットアップメニューのメニュー項目をUserメニューに登録せずにメニューをロックした場合、同機能をアサイン可能なボタンに設定することはできません。
- 下表の機能をアサイン可能なボタンにアサインしていた場合は、メニューをロックした時点でアサインの設定が強制的にOffになります。

セットアップメニューのメニュー項目	アサイン可能なボタンの選択肢
Camera>Focus>Face Detection AF	Face Detection AF
Camera>Gain>Gain <Turbo>	Turbo Gain
Camera>Auto Exposure>Level	Auto Exposure Level
Camera>Auto Exposure>Mode	Spotlight
Camera>Auto Exposure>Mode	Backlight
Camera>Auto Exposure>Auto ND Filter	Auto ND Filter
Camera>Auto Exposure>AGC	AGC
Camera>Auto Exposure>Auto Shutter	Shutter
Camera>Color Bars>Setting	Color Bars
Camera>Flash Band Reduce>Setting	Flash Band Reduce
Camera>Handle Zoom>Setting	Handle Zoom
Paint>White>Preset White	Preset White Select
LCD/VF>VF Setting>Color Mode	VF Mode
LCD/VF>Peaking>Setting	Peaking
LCD/VF>Marker>Setting	Marker
LCD/VF>Zebra>Setting	Zebra
LCD/VF>Gamma Display Assist>Setting	Gamma Display Assist
LCD/VF>Display On/Off>Lens Info	Lens Info
LCD/VF>Display On/Off>Video Signal Monitor	Video Signal Monitor
Recording>S&Q Motion>Setting	S&Q Motion
Recordings>Picture Cache Rec>Setting	Picture Cache Rec
Recording>Clip Continuous Rec>Setting	Clip Continuous Rec
Recordings>Rec Review>Setting	Rec Review
Thumbnail>Set Shot Mark>Add Shot Mark1	Shot Mark1
Thumbnail>Set Shot Mark>Add Shot Mark2	Shot Mark2

セットアップメニューのメニュー項目	アサイン可能な選択肢
Thumbnail>Set Clip Flag>Add OK	Clip Flag OK
Thumbnail>Set Clip Flag>Add NG	Clip Flag NG
Thumbnail>Set Clip Flag>Add KEEP	Clip Flag KEEP
Network>Wireless LAN>NFC	NFC
Network>Network Client Mode>Setting	Network Client Mode
Network>File Transfer>Auto Upload (Proxy)	Auto Upload (Proxy)
Network>Streaming> Setting	Streaming
User	User Menu

## メニューのロックを解除する

- 1 SEL/SETダイヤルを押しながらMENUボタンを押す。
- 2 SystemメニューのMenu settingsのUser Menu with Lockを選択する。

### ご注意

- MENUボタンのみを押して通常のセットアップメニューを表示した場合、SystemメニューのMenu settingsにはUser Menu Onlyが表示されますが、SEL/SETダイヤルを押しながらMENUボタンを押すと、User Menu with Lockが表示されます。

- 3 Offを選択してSETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。  
液晶画面/ビューファインダー画面の表示が、暗証番号入力画面に切り替わります。
- 4 メニューをロックしたときの番号を入力する。  
数値を入力し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押すと、カーソルが次の桁に移動します。  
すべての桁を入力したら、カーソルがSetに移動します。
- 5 SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。  
入力が確定します。

メニューをロックしたときの暗証番号と入力した番号が一致した場合、ロックが解除できたことのメニュー表示に切り替わります。

### ご注意

- メニューをロックしたときの暗証番号と入力した番号が不一致の場合は、ロックを解除できません。
- 暗証番号は、忘れたときのため、手元に記録を残すことをお勧めします。忘れたときはサービス窓口にお問い合わせください。

## Userメニューの編集

UserメニューのEdit User Menuで項目の追加や削除、順番の入れ換えなどを行い、Userメニューをより使いやすく編集することができます。

### 項目／細目を追加する

- 1 UserメニューのEdit User MenuのAdd Itemを選択する。  
追加が可能な項目が表示されます。
- 2 追加する項目を選択する。  
追加する細目を選択する画面が表示されます。
- 3 追加する細目を選択する。  
すべての細目を追加する場合はAllにチェックを付けます。  
追加する細目を指定する場合は、追加する細目にチェックを付けます。
- 4 OKを選択して、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。  
項目／細目の追加が完了します。

### ご注意

- 同じ項目／細目を2回登録することはできません。  
また追加した項目／細目の名称を変更することはできません。

### 項目の細目を編集する

表示する項目を任意に設定することができます。

- 1 UserメニューのEdit User Menuで、編集する項目を選択する。**  
編集機能リストが表示されます。
- 2 Edit Sub Itemを選択する。**  
Edit Sub Item画面が表示されます。  
最初に開いたときは、すべての細目にチェックが付いています（すべての細目が表示される状態）。  
細目のチェックを外すとUserメニューに表示されなくなります。
- 3 OKを選択して、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**  
編集が完了します。

---

## 項目を削除する

---

- 1 UserメニューのEdit User Menuで、削除する項目を選択する。**  
編集機能リストが表示されます。
- 2 Deleteを選択する。**  
項目が削除されます。

---

## 項目を移動する

---

- 1 UserメニューのEdit User Menuで、移動する項目を選択する。**  
編集機能リストが表示されます。
- 2 Moveを選択する。**  
移動する項目がハイライトされ、移動先を示す三角マークと線が表示されません。
- 3 三角マークと線を項目の移動先に移動し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**  
項目が移動します。

---

## Userメニューを工場出荷時の状態に戻す

---

- 1 UserメニューのEdit User MenuのCustomize Resetを選択する。**  
Customize Reset画面が表示されます。

- 2 Resetを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**  
確認画面が表示されます。
- 3 Executeを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**  
Userメニューが工場出荷時の状態に戻ります。

# セットアップメニュー一覧

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。  
出荷時の初期設定値は、太文字（例：**18dB**）で示します。

## Userメニュー

User	
工場出荷時の登録項目	内容
Base Setting	System>Base Settingの内容。
HDR Setting	System>HDR Settingの内容。
Rec Format	System>Rec Formatの内容。
S&Q Motion	Recording>S&Q Motionの内容。
Picture Cache Rec	Recording>Picture Cache Recの内容。
Simul Rec	Recording>Simul Recの内容。
4K & HD (Sub) Rec	Recording>4K & HD (Sub) Recの内容。
Proxy Rec	Recording>Proxy Recの内容。
Output Format	Video>Output Formatの内容。
Assignable Button	System>Assignable Buttonの内容。
Delete Clip	Thumbnail>Delete Clipの内容。
Wireless LAN	Network>Wireless LANの内容。
Wired LAN	Network>Wired LANの内容。
Modem	Network>Modemの内容。
Format Media	Media>Format Mediaの内容。
Menu Settings	System>Menu Settingsの内容。
Edit User Menu	Edit User Menuを表示する。

## Edit User Menu

Edit User Menu		
項目	細目と設定値	内容
Add Item	-	項目／細目を追加する。
Customize Reset	Reset	Userメニューを工場出荷時の状態に戻す。
登録済みの項目 を選択すると表 示される項目	Delete	項目を削除する。
	Move	項目を移動する。
	Edit Sub Item	項目の細目を編集する。

## Cameraメニュー

Camera		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Focus 顔検出AFの設定	Face Detection AF	顔検出AFの有効/無効を設定する。
	Face Only AF / <b>Face Priority AF</b> / Off	
ND Filter NDフィルターの 設定	Preset1 1/128 / 1/64 / 1/32 / 1/16 / 1/8 / <b>1/4</b>	NDフィルターのプリセット値1を設定する。
	Preset2 1/128 / 1/64 / 1/32 / <b>1/16</b> / 1/8 / 1/4	NDフィルターのプリセット値2を設定する。
	Preset3 1/128 / <b>1/64</b> / 1/32 / 1/16 / 1/8 / 1/4	NDフィルターのプリセット値3を設定する。
Gain ゲインの設定	Gain<L> 18dB / 15dB / 12dB / 9dB / 6dB / 3dB / <b>0dB</b> / -3dB	GAINスイッチをLにしたときのゲイン値を設定する。
	Gain<M> 18dB / 15dB / 12dB / <b>9dB</b> / 6dB / 3dB / 0dB / -3dB	GAINスイッチをMにしたときのゲイン値を設定する。
	Gain<H> <b>18dB</b> / 15dB / 12dB / 9dB / 6dB / 3dB / 0dB / -3dB	GAINスイッチをHにしたときのゲイン値を設定する。
	Gain <Turbo> <b>42dB</b> / 18dB / 15dB / 12dB / 9dB / 6dB / 3dB / 0dB / -3dB	Turbo Gainを割り当てたアサインボタンを押して、Turbo Gain機能を有効にしたときのゲイン値を設定する。
	High Sensitivity Mode On / <b>Off</b>	高感度モードをON/OFFする。
	Shockless Gain On / <b>Off</b>	ショックレスゲイン機能をON/OFFする。

Camera		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Shutter 電子シャッター の動作条件の設 定	Mode	電子シャッターのモードを選択する。
	<b>Speed</b> / Angle	動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合などに使用する。秒数でシャッター速度を設定するSpeed（スピード）モードと開角度でシャッター速度を設定するAngle（角度）モードを選択する。
	Shutter Speed	Speed モード 選択時、シャッタースピードを設定する。設定値は、選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって異なる。
	64F, 32F, 16F, 8F, 7F, 6F, 5F, 4F, 3F, 2F, 1/24, 1/25, 1/30, 1/32, 1/33, 1/40, 1/48, 1/50, <b>1/60</b> , 1/96, 1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/8000	
	Shutter Angle	Angleモード 選択時、開角度を設定する。
	64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 360.0° / 300.0° / 270.0° / 240.0° / 216.0° / 210.0° / <b>180.0°</b> / 172.8° / 150.0° / 144.0° / 120.0° / 90.0° / 86.4° / 72.0° / 45.0° / 30.0° / 22.5° / 11.25° / 5.6°	
ECS On / <b>Off</b>	ECSモードをON/OFFする。 液晶画面/ビューファインダー画面を、水平方向の縞模様が出ないように撮影したい場合などに使用する。	
ECS Frequency	ECS モード 選択時、ECS周波数を設定する。設定値は、選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって異なる。	
8000 ~ 23.99 ( <b>60.00</b> )		
Auto Exposure	Level	補正量を設定する。
明るさの自動補 正	+3.0 / +2.75 / +2.5 / +2.25 / +2.0 / +1.75 / +1.5 / +1.25 / +1.0 / +0.75 / +0.5 / +0.25 / <b>±0</b> / -0.25 / -0.5 / -0.75 / -1.0 / -1.25 / -1.5 / -1.75 / -2.0 / -2.25 / -2.5 / -2.75 / -3.0	
Mode	Backlight / <b>Standard</b> / Spotlight	制御モードを設定する。 Backlight: バックライトモード（中心となる被写体が逆光のとき、黒沈みを軽減するモード） Standard: 標準モード Spotlight: スポットライトモード（中心となる被写体にスポットライトがあたっているとき、白濁れを軽減するモード）
Speed	-99~+99 ( <b>±0</b> )	制御スピードを設定する。
Auto ND Filter On / <b>Off</b>		NDフィルター透過率の自動調整機能をON/OFFする。

Camera		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Auto Exposure 明るさの自動補 正	AGC On / <b>Off</b>	AGC（オートゲインコントロール）機能をON/OFFする。
	AGC Limit 0dB / 3dB / 6dB / 9dB / 12dB / 15dB / <b>18dB</b>	AGC機能の最大ゲインを設定する。
	AGC Point <b>F2.8</b> / F4 / F5.6	AGC機能がOnのとき、AGCを動作させ始めるアイリスのF値を設定する。
	Auto Shutter On / <b>Off</b>	オートシャッターコントロール機能をON/OFFする。
	A.SHT Limit 1/100 / 1/150 / 1/200 / 1/250 / <b>1/2000</b>	オートシャッター機能の最速シャッタースピードを設定する。
	A.SHT Point F5.6 / F8 / F11 / <b>F16</b>	オートシャッターを動作させ始めるアイリスのF値を設定する。
	Clip High light On / <b>Off</b>	高輝度部の検出を無視して、高輝度に対する反応を鈍くさせる機能をON/OFFする。
	Detect Window <b>1</b> / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / Custom	被写体の明るさに追従して露出を自動調整する測光範囲を選択する。（露出手動調整しているときは無効）
	Detect Window Indication On / <b>Off</b>	Detect WindowをON/OFFする。
	Average Peak Level Ratio -99～+99 ( <b>±0</b> )	Auto Exposure用の検出に使う映像信号の平均値とピーク値の比を設定する。
	Custom Width 40～999 ( <b>500</b> )	Detect Windowの幅を設定する。
	Custom Height 70～999 ( <b>500</b> )	Detect Windowの高さを設定する。
	Custom H Position -479～+479 ( <b>±0</b> )	Detect Windowの水平位置を設定する。
	Custom V Position -464～+464 ( <b>±0</b> )	Detect Windowの垂直位置を設定する。
Color Bars カラーバーの設 定	Setting On / <b>Off</b>	カラーバーをON/OFFする。
	Type <b>ARIB</b> / 100% / 75% / SMPTE	カラーバーの種類を選択する。
Flicker Reduce フリッカー補正 の設定	Mode Auto / On / <b>Off</b>	フリッカー補正モードを設定する。
	Frequency 50Hz / <b>60Hz</b>	フリッカーの原因となる照明の電源周波数を設定する。
Flash Band Reduce フラッシュバン ド補正の設定	Setting On / <b>Off</b>	スチルカメラ用のフラッシュがたかれた瞬間を撮影した際に、フレーム内の映像の上部のみ、または下部のみが白飛びするのを補正する機能をON/OFFする。



Camera		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Handle Zoom ハンドルズーム スピードの設定	Setting Off / Low / High / <b>Variable</b>	ハンドルズームスピードを設定する。 (ハンドルズームスイッチが「FIX」のときのみ有効)
	High 1~8 (8)	ハンドルズームスピードHigh選択時、ハンドルズーム レバーを押したときのズームスピードを設定する。
	Low 1~8 (3)	ハンドルズームスピードLow選択時、ハンドルズーム レバーを押したときのズームスピードを設定する。
<b>ご注意</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>ズームスピードが低速のときにズーミングにむらが出ることがあります。</li> </ul>		
Auto Black Balance オートブラック バランスの設定	Auto Black Balance Execute / Cancel	オートブラックバランス機能を実行する。
<b>ご注意</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>記録中、カラーバー表示中は設定できません。</li> <li>インターバルレックモード、フレームレックモード、スローシャッターモードのときは設定できません。</li> </ul>		
Auto FB Adjust オートフランジ バックの設定	Auto FB Adjust Execute / Cancel	Executeを選択すると、レンズズームの広角端、望遠端 でそれぞれ自動フォーカス合わせを実施し、フォーカ ス調節後にズーム位置を変えてもフォーカスが合った まま保持するオートフランジバック機能を実行する。
Video Light Set	Video Light Set <b>Power Link</b> / Rec Link / Rec Link + Stby	マルチインターフェースシューに取り付けるビデオラ イトの点灯方式を設定する。 Power Link：本機の電源の入/切に連動してビデオライ トが点灯/消灯する。 Rec Link：本機の録画開始/終了に連動してビデオライ トが点灯/消灯する。 Rec Link + Stby：本機の録画開始/終了に連動してビデ オライトが点灯/スタンバイ点灯する。

## Paintメニュー

Paint		
メニュー項目	細目と設定値	内容
HDR Paint Setting ハイダイナミックレンジモードの設定	HLG Type HLG / HLG1 / <b>HLG2</b> / HLG3	Shooting ModeがHDRのときのHLGの種類を設定する。 HLG : ITU-R BT.2100相当の設定。 HLG1 : HLG2よりもノイズを抑えたい場合の設定。ただし、撮影できるダイナミックレンジは狭くなる。 HLG2 : ダイナミックレンジとノイズのバランスを考慮した設定。 HLG3 : HLG2よりも広いダイナミックレンジで撮影したい場合の設定。ただし、ノイズレベルが上がる。 HLG1、HLG2、HLG3は同じ特性のガンマカーブで、ダイナミックレンジとノイズのバランスを変更したもの。
	HDR Black Offset -95~+103 ( <b>±0</b> )	Shooting ModeがHDRのときのSDR設定 (Master Black) に対するHDRのBlackのオフセット
	HDR Knee On / <b>Off</b>	Shooting ModeがHDRのときのHDR信号に対するニー補正機能をON/OFFする。
	HDR Knee Point -99~+99 ( <b>±0</b> )	HDR KneeがOnのときにHDR信号にかけるニーポイントを設定する。
	HDR Knee Slope -99~+99 ( <b>±0</b> )	HDR KneeがOnのときにHDR信号にかけるニースロープを設定する。
	White Preset White ホワイトバランスの設定	10000K~2100K ( <b>3200K</b> ) ホワイトバランスモードでプリセットが選択されているときのプリセット色温度調整をする。
	<b>ご注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホワイトバランスモードでプリセットが選択されているとき以外は、Preset Whiteの設定を変更してもその変化を画面で確認することはできません。</li> </ul>	
	Color Temp <A> 50000K~1500K ( <b>3200K</b> )	メモリー Aに保存されたホワイトバランスの色温度を表示する。
Color Temp Balance <A> -99.0~+99.0 ( <b>±0.0</b> )	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのゲイン値 (Rゲイン、Bゲイン連動) を設定する。	
R Gain <A> -99.0~+99.0 ( <b>±0.0</b> )	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。	
B Gain <A> -99.0~+99.0 ( <b>±0.0</b> )	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。	
Color Temp <B> 50000K~1500K ( <b>3200K</b> )	メモリー Bに保存されたホワイトバランスの色温度を表示する。	
Color Temp Balance <B> -99.0~+99.0 ( <b>±0.0</b> )	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのゲイン値 (Rゲイン、Gゲイン連動) を設定する。	
R Gain <B> -99.0~+99.0 ( <b>±0.0</b> )	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。	
B Gain <B> -99.0~+99.0 ( <b>±0.0</b> )	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。	

Paint		
メニュー項目	細目と設定値	内容
White Setting ホワイトバランスの調整	Shockless White Off / 1 / 2 / 3	ホワイトバランスモード切り替え時のホワイトバランス変化速度を設定する。 Off：瞬時に切り替わる。 1～3：数字が大きいほどゆっくり切り替わる。
	ATW Speed 1 / 2 / 3 / 4 / 5	ATWモード時の反応速度を設定する。 1：最も反応速度が速い。
	ATW Mode <b>Natural</b> / Pure	ATW（自動追尾ホワイトバランス）の動作を設定する。 Natural：シーンの明るさに応じて、自然な雰囲気になるようにATWを自動調整する。 Pure：青みや赤みの色を残さずに、より原色に近づけるようにATWを自動調整する。
	White Switch <B> Memory / <b>ATW</b>	WHT BALスイッチをBに設定したときに選択されるホワイトバランス調整モードを選択する。
	Filter White Memory On / <b>Off</b>	NDフィルターごとにホワイトバランスメモリー領域を設定する機能をON/OFFする。
	Offset White ホワイトバランスのオフセットの設定	Offset White <A> On / <b>Off</b>
Warm Cool <A> -99.0～+99.0 ( <b>±0.0</b> )		Offset White<A>がOnの場合に、メモリー Aのホワイトバランスに付加するオフセットを色温度で設定する（オフセットの色温度が高いと誤差が大きくなるため実際の映像を見ながら調整）。
Warm Cool Balance <A> -99.0～+99.0 ( <b>±0.0</b> )		Warm Cool <A>の設定で希望の映像が得られなかった場合に、さらに細かく色温度を設定する。
Offset White <B> On / <b>Off</b>		メモリー Bのホワイトバランスにオフセット値を付加する（On）か、付加しないか（Off）を選択する。
Warm Cool <B> -99.0～+99.0 ( <b>±0.0</b> )		Offset White<B>がOnの場合に、メモリー Bのホワイトバランスに付加するオフセットを色温度で設定する（オフセットの色温度が高いと誤差が大きくなるため実際の映像を見ながら調整）。
Warm Cool Balance <B> -99.0～+99.0 ( <b>±0.0</b> )		Warm Cool <B>の設定で希望の映像が得られなかった場合に、さらに細かく色温度を設定する。
Offset White <ATW> On / <b>Off</b>		ATWのホワイトバランスにオフセット値を付加する（On）か付加しないか（Off）を選択する。
Warm Cool <ATW> -99.0～+99.0 ( <b>±0.0</b> )		Offset White<ATW>がOnの場合に、ATWのホワイトバランスに付加するオフセットを色温度で設定する。
Warm Cool Balance <ATW> -99.0～+99.0 ( <b>±0.0</b> )		Warm Cool<ATW>の設定で希望の映像が得られなかった場合に、さらに細かく色温度を設定する。
Black ブラックの設定		Setting On / Off
	Master Black -99.0～+99.0 ( <b>±0.0</b> )	マスターブラックレベルを設定する。

Paint		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Gamma ガンマ補正の設定	Setting <b>On / Off</b>	ガンマ補正機能をON/OFFする。
	Master Gamma -99~+99 ( <b>±0</b> )	マスターガンマレベルを設定する。
	Gamma Category <b>STD / HG</b>	スタンダードガンマ (STD)、HGを選択する。
	Gamma Select	ガンマ補正に使用するガンマテーブルを選択する。
	Gamma CategoryがSTDのとき STD1 DWW / STD2 x4.5 / STD3 x3.5 / STD4 240M / <b>STD5 R709</b> / STD6 x5.0	
	Gamma CategoryがHGのとき HG1 3250G36 / HG2 4600G30 / HG3 3259G40 / <b>HG4 4609G33</b>	
Black Gamma ブラックガンマ レベルの調整	Setting <b>On / Off</b>	ブラックガンマ補正機能をON/OFFする。 <b>ご注意</b> • Black GammaとKneeのKnee Saturationの機能は同時に使用できません。
	Range Low / <b>L.Mid</b> / H.Mid	ブラックガンマ補正の有効範囲を選択する。
	Master Black Gamma -99~ +99 ( <b>±0</b> )	マスターブラックガンマレベルを設定する。
Low Key Saturation ローキーサチュレーション補正の設定	Setting <b>On / Off</b>	ローキーサチュレーション補正機能をON/OFFする。 <b>ご注意</b> • ローキーサチュレーション機能を有効にするには Saturation ModeをLow Keyに設定してください。 • Low Key SaturationとKnee Saturationの機能は同時に使用できません。
	Level -99~+99 ( <b>±0</b> )	低輝度エリアの色の飽和度 (サチュレーション) を設定する。
	Range Low / <b>L.Mid</b> / H.Mid	ローキーサチュレーション補正を有効にする輝度レベルを選択する。
Saturation Mode サチュレーション補正の設定	Saturation Mode <b>Knee</b> / Low Key	サチュレーション機能をレベルが高いところ (Knee) で働かせるか低いところ (Low Key) で働かせるかを選択する。
	Knee Saturation <b>On / Off</b>	ニーサチュレーション機能をON/OFFする。
	Black Gamma <b>On / Off</b>	ブラックガンマ補正機能をON/OFFする。
	Low Key Saturation <b>On / Off</b>	ローキーサチュレーション機能をON/OFFする。

Paint		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Noise Suppression ノイズサプレスの機能の設定	Setting <b>On / Off</b>	ノイズサプレス機能をON/OFFする。
	Level Low / <b>Mid</b> / High	ノイズサプレスのレベルを選択する。
Knee ニー補正の設定	Setting <b>On / Off</b>	ニー補正機能をON/OFFする。 (Gamma設定のGamma CategoryがSTDのときのみ有効)
	Auto Knee <b>On / Off</b>	オートニー機能をON/OFFする。
	Point 75%~109% ( <b>90%</b> )	ニーポイントを設定する。
	Slope -99~+99 ( <b>±0</b> )	ニースロープを設定する。
	Knee Saturation <b>On / Off</b>	Onにすると、ニーサチュレーション（ニーポイントより上の部分の色つき具合）の調整が有効になる。
	Knee Saturation Level -99~+99 ( <b>±0</b> )	ニーポイントより上の部分の色つき具合（ニーサチュレーション）を調整する。
White Clip ホワイトクリップ調整の設定	Setting <b>On / Off</b>	ホワイトクリップ調整機能をON/OFFする
	Level 90.0%~ <b>109.0%</b>	ホワイトクリップレベルを設定する。

**ご注意**

- Black GammaとKneeのKnee Saturationの機能は同時に使用できません。
- Low Key SaturationとKnee Saturationの機能は同時に使用できません。

Paint			
メニュー項目	細目と設定値	内容	
Detail(QFHD) ディテール調整 の設定	Manual Setting On / <b>Off</b>	ディテール調整機能をON/OFFする。	
	Level -99～+99 ( <b>±0</b> )	ディテールレベルを設定する。	
	H/V Ratio -99～+99 ( <b>±0</b> )	HディテールレベルとVディテールレベルのミックス比を設定する。	
	Crispening -99～+99 ( <b>±0</b> )	クリスプニングレベルを設定する。	
	Frequency -99～+99 ( <b>±0</b> )	ディテールの中心周波数（ディテールの太さ）を設定する。中心周波数を高くするとディテールは細くなり、中心周波数を低くするとディテールは太くなる。	
	Knee Aperture On / <b>Off</b>	ニアパーチャータラ補正機能をON/OFFする。	
	Knee Aperture Level -99～+99 ( <b>±0</b> )	ニアパーチャータラレベルを設定する。	
	White Limit -99～+99 ( <b>±0</b> )	白側のディテールリミッターを設定する。	
	Black Limit -99～+99 ( <b>±0</b> )	黒側のディテールリミッターを設定する。	
	V Detail Creation NAM / Y / G / <b>G+R</b>	垂直ディテールを生成するための元とする信号を、NAM（GとRのどちらか大きい方）、Y、G、G+Rのいずれかから選択する。	
	Detail (HD)	Manual Setting On / <b>Off</b>	ディテール調整機能をON/OFFする。
		Level -99～+99 ( <b>±0</b> )	ディテールレベルを設定する。
		H/V Ratio -99～+99 ( <b>±0</b> )	HディテールレベルとVディテールレベルのミックス比を設定する。
Crispening -99～+99 ( <b>±0</b> )		クリスプニングレベルを設定する。	
Frequency -99～+99 ( <b>±0</b> )		ディテールの中心周波数（ディテールの太さ）を設定する。中心周波数を高くするとディテールは細くなり、中心周波数を低くするとディテールは太くなる。	
Knee Aperture On / <b>Off</b>		ニアパーチャータラ補正機能をON/OFFする。	
Knee Aperture Level -99～+99 ( <b>±0</b> )		ニアパーチャータラレベルを設定する。	
White Limit -99～+99 ( <b>±0</b> )		白側のディテールリミッターを設定する。	
Black Limit -99～+99 ( <b>±0</b> )		黒側のディテールリミッターを設定する。	
V Detail Creation NAM / Y / G / <b>G+R</b>		垂直ディテールを生成するための元とする信号を、NAM（GとRのどちらか大きい方）、Y、G、G+Rのいずれかから選択する。	

Paint			
メニュー項目	細目と設定値	内容	
Detail (SD)	Manual Setting On / Off	ディテール調整機能をON/OFFする。	
	Level -99~+99 (±0)	ディテールレベルを設定する。	
	H/V Ratio -99~+99 (±0)	HディテールレベルとVディテールレベルのミックス比を設定する。	
	Crispensing -99~+99 (±0)	クリスピーニングレベルを設定する。	
	Frequency -99~+99 (±0)	ディテールの中心周波数（ディテールの太さ）を設定する。 中心周波数を高くするとディテールは細くなり、中心周波数を低くするとディテールは太くなる。	
	Knee Aperture On / Off	ニアパーチャー補正機能をON/OFFする。	
	Knee Aperture Level -99~+99 (±0)	ニアパーチャーレベルを設定する。	
	White Limit -99~+99 (±0)	白側のディテールリミッターを設定する。	
	Black Limit -99~+99 (±0)	黒側のディテールリミッターを設定する。	
	V Detail Creation NAM / Y / G / <b>G+R</b>	垂直ディテールを生成するための元とする信号を、NAM（GとRのどちらか大きい方）、Y、G、G+Rのいずれかから選択する。	
	Skin Detail スキンディテール補正の設定	Setting On / Off	スキンディテール補正機能をON/OFFする。
		Area Detection Execute / Cancel	スキンディテール補正の対象となる色を検出する。 Execute：実行
		Area Indication On / Off	スキンディテール補正の対象となる色のエリアにゼブラを表示する機能をON/OFFする。
Level -99~+99 (±0)		スキンディテールレベルを設定する。	
Saturation -99~+99 (±0)		スキンディテール補正の対象となる色の飽和度（サチュレーション）を設定する。	
Hue 0~359		スキンディテール補正の対象となる色の色相（ヒュー）を設定する。	
Width 0~90 (40)		スキンディテール補正の対象となる色の色相の範囲を設定する。	
Aperture アパーチャー補正の設定		Setting On / Off	Onにすると、アパーチャー補正（ビデオ信号に、高周波数のアパーチャー信号を加えて周波数特性による劣化を補正し、解像度を高める処理）が有効になる。
	Level -99~+99 (±0)	アパーチャー補正のレベルを設定する。	

Paint		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Matrix マトリクス補正 の設定	Setting <b>On / Off</b>	マトリクス補正機能をON/OFFする。
	Adaptive Matrix <b>On / Off</b>	アダプティブマトリクス機能をON/OFFする。
	Preset Matrix <b>On / Off</b>	プリセットマトリクス機能をON/OFFする。
	Preset Select 1:SMPTE 240M / <b>2:ITU-709</b> / 3:SMPTE Wide / 4:NTSC / 5:EBU / 6:PAL	プリセットマトリクスを選択する。
	User Matrix <b>On / Off</b>	ユーザーマトリクス補正機能をON/OFFする。
	User Matrix Level -99~+99 ( <b>±0</b> )	映像全域の色の濃さ（サチュレーション）を調整する。
	User Matrix Phase -99~+99 ( <b>±0</b> )	映像全域の色あい（フェーズ）を調整する。
	User Matrix R-G -99~+99 ( <b>±0</b> )	R-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。
	User Matrix R-B -99~+99 ( <b>±0</b> )	R-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
	User Matrix G-R -99~+99 ( <b>±0</b> )	G-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
	User Matrix G-B -99~+99 ( <b>±0</b> )	G-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
	User Matrix B-R -99~+99 ( <b>±0</b> )	B-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
	User Matrix B-G -99~+99 ( <b>±0</b> )	B-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。
	Multi Matrix マルチマトリク ス補正の設定	Setting <b>On / Off</b>
Area Indication <b>On / Off</b>		Area Indication機能をON/OFFする。
Color Detection Execute / Cancel		Multi Matrix補正の対象となる色を検出する。
Reset Execute / Cancel		各軸のHueとSaturationをすべて初期値にする。
Axis <b>B / B+ / MG- / MG / MG+ / R / R+ / YL- / YL / YL+ / G- / G / G+ / CY / CY+ / B-</b>		Axisを選択する。
Hue -99 ~ +99 ( <b>±0</b> )		Multi Matrix補正の対象となる色の色相（ヒュー）を設定する。
Saturation -99 ~ +99 ( <b>±0</b> )		Multi Matrix補正の対象となる色の飽和度（サチュレーション）を設定する。
Maintenance メンテナンスの 設定		Test Saw <b>On / Off</b>



## Audioメニュー

Audio		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Audio Input 音声入力の設定	CH2 EXT Input Select <b>INPUT1</b> / INPUT2	記録チャンネル2の入力を選択する。EXT音源選択時のみ有効。
	CH3 Input Select Off / INPUT1 / <b>Internal MIC</b> / Shoe CH1	記録チャンネル3の入力を選択する。
	CH4 Input Select Off / INPUT1 / INPUT2 / <b>Internal MIC</b> / Shoe CH2	記録チャンネル4の入力を選択する。
	INPUT1 MIC Reference -80dB / -70dB / <b>-60dB</b> / -50dB / -40dB / -30dB	INPUT1スイッチの設定がMICの場合の基準入力レベルを選択する。
	INPUT2 MIC Reference -80dB / -70dB / <b>-60dB</b> / -50dB / -40dB / -30dB	INPUT2スイッチの設定がMICの場合の基準入力レベルを選択する。
	Internal MIC Level -12dB / -6dB / <b>0dB</b> / +6dB / +12dB	内蔵マイクレベルを選択する。AUDIO LEVELダイヤルの設定に関わらず選択できる。
	Line Input Reference <b>+4dB</b> / 0dB / -3dB / EBUL	INPUT1/INPUT2スイッチの設定がLINEの場合の基準入力レベルを選択する。
	Reference Level <b>-20dB</b> / -18dB / -16dB / -12dB / EBUL	基準入力レベルの1kHz信号の記録レベルを選択する。
	CH1 Wind Filter On / <b>Off</b>	記録チャンネル1の風音低減フィルターをON/OFFする。
	CH2 Wind Filter On / <b>Off</b>	記録チャンネル2の風音低減フィルターをON/OFFする。
	CH3 Wind Filter On / <b>Off</b>	記録チャンネル3の風音低減フィルターをON/OFFする。
	CH4 Wind Filter On / <b>Off</b>	記録チャンネル4の風音低減フィルターをON/OFFする。
	Limiter Mode <b>Off</b> / -6dB / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB	オーディオ入力レベルの手動調節時、大きな信号に対するリミッター特性（飽和レベル）を選択する。
	CH1&2 AGC Mode Mono / <b>Stereo</b>	記録チャンネル1と記録チャンネル2の自動レベル調整モードを選択する。Stereo時は、チャンネル間でAGCが連動する。
	CH3&4 AGC Mode <b>Mono</b> / Stereo	記録チャンネル3と記録チャンネル4の自動レベル調整モードを選択する。Stereo時は、チャンネル間でAGCが連動する。
	AGC Spec <b>-6dB</b> / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB	オーディオ入力レベルの自動調節時、大きな信号に対するAGC特性（飽和レベル）を選択する。
	1kHz Tone on Color Bars On / <b>Off</b>	カラーバー表示中の1kHzの基準音声信号をON/OFFする。

Audio		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Audio Output 音声出力の設定	Monitor CH <b>CH1/CH2</b> / CH3/CH4 / MIX ALL / CH1/ CH2 / CH3 / CH4	ヘッドホン端子および内蔵スピーカーに出力する音声チャンネルを選択する。
	Headphone Out Mono / <b>Stereo</b>	ヘッドホンをモノラル (Mono) にするか、ステレオ (Stereo) にするかを選択する。
	Alarm Level 0~7 ( <b>4</b> )	アラーム音量を設定する。
	HDMI Output CH <b>CH1/CH2</b> / CH3/CH4	HDMIに出力する音声チャンネルの組み合わせを選択する。
	Analog Output CH <b>CH1/CH2</b> / CH3/CH4	アナログオーディオ出力に出力される音声チャンネルの組み合わせを選択する。

## Videoメニュー

Video		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Output On/Off 映像出力の設定	SDI <b>On</b> / Off	SDI出力をON/OFFする。
	HDMI <b>On</b> / Off	HDMI出力をON/OFFする。
	VIDEO <b>On</b> / Off	VIDEO出力をON/OFFする。
Output Format 出力フォーマットの設定 • 設定項目について詳しくは、「ビデオフォーマットと出力信号」(146ページ)をご覧ください。	SDI	SDI出力の解像度設定をする。 SET：実行
	HDMI	HDMI出力の解像度設定をする。 SET：実行
	VIDEO	解像度とスキャン方式を表示する (表示のみ)。
Output Display 出力信号の設定	SDI/HDMI/VIDEO <b>On</b> / <b>Off</b>	SDI/HDMI/VIDEO出力信号にメニューやステータスを加えるかどうかを選択する。
SDI/HDMI Rec Control 外部接続機器のコントロール設定	Setting <b>On</b> / <b>Off</b>	SDI/HDMI出力信号による外部接続機器の記録/停止制御をON/OFFする。

Video		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Down Converter ダウンコンバーターの動作モードの選択	Edge Crop / Letter Box / Squeeze	SD信号の出力モード（アスペクト）を設定する。 Edge Crop：16:9画像の両端をカットして4:3画像として出力する。 Letter Box：4:3画像の上下をマスクして、画面中央に16:9映像を表示する。 Squeeze：16:9画像を左右方向に縮小して4:3画像として出力する。

## LCD/VFメニュー

LCD/VF		
メニュー項目	細目と設定値	内容
LCD Setting 液晶画面（LCD）の設定	Brightness -99～+99（±0）	液晶画面（LCD）の明るさを調整する。
VF Setting ビューファインダーの設定	Brightness -99～+99（±0） Color Mode Color / B&W	ビューファインダー映像の明るさを調整する。 E-E表示/記録時のビューファインダーの表示モードを選択する。
Peaking ピーキングの設定	Setting On / Off Type Normal / Color Normal Peaking Frequency Normal / High Normal Peaking Level 0～99（50） Color B&W / Red / Yellow / Blue Color Peaking Level 0～99（50）	ピーキング機能をON/OFFする。 ピーキングの種類を選択する。 Normal：通常のピーキング Color：カラーピーキング ピーキング周波数を標準（Normal）にするか高く（High）するかを選択する。 ノーマルピーキングのレベルを設定する。 カラーピーキングの信号色を選択する。 カラーピーキングのレベルを設定する。

LCD/VF		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Marker マーカー表示の 設定	Setting <b>On / Off</b>	すべてのマーカー表示をまとめてON/OFFする。
	Color <b>White / Yellow / Cyan / Green / Magenta / Red / Blue</b>	マーカーの表示色を選択する。
	Center Marker <b>1 / 2 / 3 / 4 / Off</b>	センターマーカーをON/OFFする。
	Safety Zone <b>On / Off</b>	セーフティーゾーンマーカーをON/OFFする。
	Safety Area <b>80% / 90% / 92.5% / 95%</b>	セーフティーゾーンマーカーの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
	Aspect Marker <b>Line / Mask / Off</b>	アスペクトマーカーを選択する。 Line：白線で表示する。 Mask：マーカー範囲外のビデオ信号レベルを下げた表示する。 Off：表示しない。
	Aspect Mask <b>0~15 (12)</b>	Aspect MarkerがMaskのとき、アスペクトマーカーの外側の映像の明るさを選択する。
	Aspect Safety Zone <b>On / Off</b>	アスペクトセーフティーゾーンマーカーをON/OFFする。
	Aspect Safety Area <b>80% / 90% / 92.5% / 95%</b>	アスペクトセーフティーゾーンマーカーの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
	Aspect Select <b>4:3 / 13:9 / 14:9 / 15:9 / 16:9 / 17:9 / 1.66:1 / 1.85:1 / 2.35:1 / 2.4:1</b>	アスペクトマーカーの比を選択する。
	Guide Frame <b>On / Off</b>	ガイドフレーム表示をON/OFFする。
	100% Marker <b>On / Off</b>	100%のセーフティーゾーンマーカーの表示をON/OFFする。
	User Box <b>On / Off</b>	ボックスカーソルの表示をON/OFFする。
	User Box Width <b>40~999 (500)</b>	ボックスカーソルの幅（中心から左右端までの距離）を設定する。
	User Box Height <b>70~999 (500)</b>	ボックスカーソルの高さ（中心から上下端までの距離）を設定する。
	User Box H Position <b>-479~+479 (±0)</b>	ボックスカーソルの中心の水平位置を設定する。
	User Box V Position <b>-464~+464 (±0)</b>	ボックスカーソルの中心の垂直位置を設定する。

LCD/VF		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Zebra ゼブラパターン の設定	Setting On / <b>Off</b>	ゼブラ機能をON/OFFする。
	Zebra Select 1 / 2 / Both	ゼブラ表示の種類（ゼブラ1、ゼブラ2、または両方）を選択する。
	Zebra1 Level 0%～107% ( <b>70%</b> )	ゼブラ1を表示するレベルを設定する。
	Zebra1 Aperture Level 1%～20% ( <b>10%</b> )	ゼブラ1のアーチャーレベルを設定する。
	Zebra2 Level 0%～109% ( <b>100%</b> )	ゼブラ2を表示するレベルを設定する。
Gamma Display Assist ガンマ表示アシ ストの設定	Setting <b>Auto</b> / HLG → 709 (800%) / S-Log3 → 709 (800%) / Off	ガンマ表示アシスト機能の設定値を選択する。
Display On/Off 画面表示項目の 設定	Network Status <b>On</b> / Off	液晶画面やビューファインダー画面に表示する項目を選択する。
	File Transfer Status <b>On</b> / Off	
	Rec/Play Status <b>On</b> / Off	
	Tally <b>On</b> / Off	
	NCM/Streaming Status <b>On</b> / Off	
	Battery Remain <b>On</b> / Off	
	Focus Mode <b>On</b> / Off	
	Focus Position <b>Meter</b> / Feet / Off	
	Focus Macro <b>On</b> / Off	
	Face Detection Frame <b>On</b> / Off	
	Lens Info Meter / Feet / <b>Off</b>	
	Rec Format <b>On</b> / Off	
	Frame Rate <b>On</b> / Off	
	Zoom Position <b>Number</b> / Bar / Off	
	Digital Extender <b>On</b> / Off	
	GPS <b>On</b> / Off	

メニュー項目	細目と設定値	内容
Display On/Off 画面表示項目の 設定	SteadyShot	
	<b>On</b> / Off	
	Gamma	
	<b>On</b> / Off	
	SDI/HDMI Rec Control	
	<b>On</b> / Off	
	Gamma Display Assist	
	<b>On</b> / Off	
	Proxy Status	
	<b>On</b> / Off	
	Focus Assist Indicator	
	On / <b>Off</b>	
	Focus Assist Area	
	<b>On</b> / Off	
	Media Status	
	<b>On</b> / Off	
	Video Signal Monitor	
	<b>Off</b> / Waveform / Vector / Histogram	
	Clip Name	
	<b>On</b> / Off	
	White Balance	
	<b>On</b> / Off	
	Scene File	
<b>On</b> / Off		
Auto Exposure Mode		
<b>On</b> / Off		
Auto Exposure Level		
<b>On</b> / Off		
Timecode		
<b>On</b> / Off		
ND Filter		
<b>On</b> / Off		
Iris		
<b>On</b> / Off		
Gain		
<b>On</b> / Off		
Shutter		
<b>On</b> / Off		
Audio Level Meter		
<b>On</b> / Off		
Video Level Warning		
<b>On</b> / Off		

LCD/VF		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Display On/Off	Clip Number	
画面表示項目の 設定	<b>On / Off</b> Notice Message <b>On / Off</b>	

## TC/UBメニュー

TC/UB		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Timecode	Mode	タイムコードの歩進モードを設定する。
タイムコードの 設定	<b>Preset</b> / Regen / Clock	Preset (プリセット) : 設定された状態から歩進する。 Regen (リジェネ) : 前のクリップのタイムコードに続けて歩進する。 Clock (クロック) : 内蔵時計をタイムコードとして使用する。
	Run	Rec Run : 記録時のみ歩進する。 Free Run : 記録に関係なく常に歩進する。
	Setting	タイムコードを任意の値に設定する。 SET : 決定
	Reset	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。
	Execute / Cancel	Execute : 実行
	TC Format	タイムコードのフォーマットを設定する。
	<b>DF</b> / NDF	DF : ドロップフレーム NDF : ノンドロップフレーム
Users Bit	Mode	ユーザービットのモードを設定する。
ユーザービット に関する設定	<b>Fix</b> / Time	Fix : ユーザービットに任意の固定値を使用する。 Time : ユーザービットに現在年月日を使用する。
	Setting	ユーザービットを任意の値に設定する。
HDMI TC Out	Setting	HDMIを利用して、他の業務用機器にタイムコードを出力するかどうかを設定する。
	<b>On / Off</b>	

## Recordingメニュー

Recording		
メニュー項目	細目と設定値	内容
S&Q Motion	Setting	スロー&クイックモーションモードをON/OFFする。
スロー&クイック モーション モードの設定	<b>On / Off</b> Frame Rate	
	1fps~60fps	S&Q設定がOnの場合に、スロー&クイックモーション撮影時のフレームレートを設定する。 設定値の範囲は、選択されているシステム周波数やコーデック、ビデオフォーマットによって異なる。

Recording		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Interval Rec インターバル レックモードの 設定	Setting On / Off	インターバルレックモードをON/OFFする
	Interval Time 1sec / 2sec / 3sec / 4sec / 5sec / 6sec / 7sec / 8sec / 9sec / 10sec / 15sec / 20sec / 30sec / 40sec / 50sec / 1min / 2min / 3min / 4min / 5min / 6min / 7min / 8min / 9min / 10min / 15min / 20min / 30min / 40min / 50min / 1hour / 2hour / 3hour / 4hour / 6hour / 12hour / 24hour	Interval RecがOnの場合に、インターバル撮影時の録画 間隔（インターバル）を選択する。
	Number of Frames システム周波数の設定に応 じて変わる。 2frames / 6frames / 12frames 1frame / 3frames / 6frames / 9frames	Interval RecがOnの場合に、インターバル撮影時の1回 の記録フレーム数を選択する。  記録フォーマットのフレームレートが50P、59.94Pの とき 記録フォーマットのフレームレートが上記以外のとき
	Pre-Lighting Off / 2sec / 5sec / 10sec	インターバルレック撮影開始時にビデオライトを点灯 させる場合は何秒前に点灯させるかを選択、点灯させ ない場合はOffを選択する。
	Picture Cache Rec ピクチャー キャッシュレック モードの設定	Setting On / Off
Clip Continuous Rec クリップコン ティニュアス レックモードの 設定	Cache Rec Time 設定値は記録フォーマット の設定により変わる。	ピクチャーキャッシュメモリーに画像を蓄積する時間 (キャッシュレック開始時にさかのぼる時間)を設定す る。
	Setting On / Off	クリップコンティニュアスレックモードをON/OFFす る。
Simul Rec 同時記録の設定	Find Mode Clip / Rec Start	NEXTボタン/PREVボタンを押したときの動作を選択す る。
	Setting On / Off	本線同時記録機能のON/OFFと記録先メディアを一括設 定する。
	Rec Button Set Rec Button: <input type="text" value="A"/> <input type="text" value="B"/> Handle Rec Button: <input type="text" value="A"/> <input type="text" value="B"/> / Rec Button: <input type="text" value="A"/> Handle Rec Button: <input type="text" value="B"/> / Rec Button: <input type="text" value="B"/> Handle Rec Button: <input type="text" value="A"/>	記録メディアごとに録画ボタンの割り当てを行う。



Recording		
メニュー項目	細目と設定値	内容
4K & HD (Sub) Rec 4K & HD (Sub) 記録の設定	Setting On / <b>Off</b>	4K & HD (Sub) 記録をON/OFFする。
Proxy Rec プロキシ記録 モードの設定	Setting On / <b>Off</b>  Proxy Format 1920×1080(9Mbps) / 1280×720(9Mbps) / 1280×720(6Mbps) / <b>640×360(3Mbps)</b> / 480×270(1Mbps) / 480×270(0.5Mbps)  Audio Channel <b>CH1/CH2</b> / CH3/CH4	プロキシ記録モードをON/OFFする。  プロキシファイル用の映像のサイズを設定する。 1920×1080(9Mbps)に設定した場合、システム周波数が23.98のときはプログレッシブで、システム周波数が23.98以外の場合はインターレースで記録される。 1920×1080(9Mbps)以外に設定した場合は、システム周波数に関わらずプログレッシブで記録される。  プロキシデータに記録するオーディオチャンネルを選択する。
Rec Review レックレビュー の設定	Setting <b>3sec</b> / 10sec / Clip	レックレビューで直前に記録したクリップを再生する時間を選択する。

## Thumbnailメニュー

Thumbnail		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Display Clip Properties クリップ詳細情報画面の表示		クリップ詳細情報画面を開く。
Set Shot Mark ショットマークの設定	Delete Shot Mark1	Shot Mark1を削除する。
	Delete Shot Mark2	Shot Mark2を削除する。
Set Clip Flag クリップフラグの編集	Add OK	OKフラグを付ける。
	Add NG	NGフラグを付ける。
	Add KEEP	Keepフラグを付ける。
	Delete Clip Flag	すべてのフラグを外す。
Lock / Unlock Clip クリップの保護設定	Select Clip	保護/保護解除するクリップを選択して実行する。
	Lock All Clips	すべてのクリップを保護する。
	Unlock All Clips	すべてのクリップを保護解除する。
Delete Clip クリップの削除	Select Clip	任意のクリップを削除する。
	All Clips	表示されているすべてのクリップを削除する。
Copy Clip クリップのコピー	Select Clip	任意のクリップをコピーする。
	All Clips	メディア内のすべてのクリップをコピーする。
Copy Sub Clip サブクリップのコピー	All Clips	メディア内の4K & HD (Sub) 記録で記録されたすべてのサブクリップを、別のメディアにメインクリップとしてコピーする。
Set Index Picture クリップの代表画の設定		クリップの代表画を設定する。
Thumbnail View サムネイル画面の表示形態の設定	Essence Mark Thumbnail All / Rec Start / Shot Mark1 / Shot Mark2 / Shot Mark3 / Shot Mark4 / Shot Mark5 / Shot Mark6 / Shot Mark7 / Shot Mark8 / Shot Mark9 / Shot Mark0	エッセンスマークのついているフレームをサムネイル表示する。
	Clip Thumbnail	記録されているクリップのサムネイルを表示する。
Filter Clips 表示するクリップの設定	OK	OKフラグのついたクリップのみを表示する。
	NG	NGフラグのついたクリップのみを表示する。
	KEEP	Keepフラグのついたクリップのみを表示する。
	None	フラグのついていないクリップのみを表示する。
	All	フラグのありなしによらず、すべてのクリップを表示する。

Thumbnail		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Customize View	Thumbnail Caption	サムネイル画像直下の表示内容を切り替える。
	Date Time / <b>Time Code</b> /	
静止画サムネイル画面の表示	Duration / Sequential Number	

## Mediaメニュー

Mediaメニューは、対象となるメディアが未装着のときは無効になります。

Media		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Update Media メモリーの更新	Media(A) Execute / Cancel	スロットAのSxSメモリーカード内の管理ファイルを更新する。
	Media(B) Execute / Cancel	スロットBのSxSメモリーカード内の管理ファイルを更新する。
Format Media メモリーの初期化	Media(A) Execute / Cancel	スロットAのSxSメモリーカードを初期化する。 Execute：実行
	Media(B) Execute / Cancel	スロットBのSxSメモリーカードを初期化する。 Execute：実行
	Utility SD/MS Execute / Cancel	UTILITY SD/MSスロットのメディアを初期化する。 Execute：実行
USB SxSメモリーカードスロットに挿入された記録メディア内のクリップをUSBメディアにコピーする操作に関する設定	Select Folder	USBメディア内のフォルダーを選択する。 USBメディア内に新しいフォルダーを作成する。
	View Clip List	USBメディアのクリップ一覧を表示する。
	Rename Folder	USBメディア内のフォルダー名を編集する。
	Error Check On / <b>Off</b>	USBメディアへクリップをコピーするときに、エラーチェックを行うかどうかを選択する。
	Format USB Execute / Cancel	USBメディアを初期化する。 Execute：実行
	Copy to USB <b>Media(A) to USB</b> / Media(B) to USB / Media(A)(B) to USB	SxSメモリーカードスロット内のクリップをUSBメディアへフォルダーごとコピーする場合の対象スロットを選択する。
	Media Remain	USBメディアの空き容量を表示する（表示のみ）。

Media		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Clip Naming クリップの名称 や削除に関する 設定	Auto Naming Title / <b>Plan</b>	クリップ名の設定方法を選択する。 Title: Title Prefixで任意に設定する。 Plan: プランニングメタデータで設定したクリップ名がある場合はその名称にする。ない場合はTitle Prefixで設定した名称にする。
	Title Prefix <b>nnn_</b> (nnnはシリアルNo. の下3桁) (最大7文字表示)	クリップ名のタイトル部分 (4~46文字) を設定する Edit File Name画面を呼び出す。 <b>Edit File Name画面の構成</b> 文字選択エリア (3行) : Title Prefixエリアのカーソル位置に挿入する文字を選択する。 !#\$%()+,-.:;=@[ ]^_`0123456789 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ カーソル操作エリア (1行) : Space: カーソル位置にスペースを挿入する。 ←: カーソルを左に移動する。 →: カーソルを右に移動する。 BS: カーソル位置の左の文字を削除する。 Title Prefixエリア (1行) : タイトルを入力するエリア。 <b>タイトルを設定するには</b> 1     ボタンを使って、文字選択エリアからTitle Prefixエリアのカーソル位置に入れる文字を選択 (ハイライト表示) し、SEL/SETダイヤルを押す。(選択した文字が入り、カーソルが右に移動する。) 2 手順1を繰り返し、タイトルを設定する。(必要に応じて、BSを使用する。) 3 タイトル名の設定が終わったら、Doneを選択してEdit File Name画面を閉じる。
	Number Set Auto NamingがTitleのとき <b>0001</b> ~9999 Auto NamingがPlanのとき <b>00001</b> ~99999	クリップ名の最後の番号部分 (4桁) を設定する。 プランニングメタデータを使用する場合は、5桁になります。

Media		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Planning Metadata	Load Media(A) または Load Media(B)	スロットAまたはBのメモリーカードからプランニングメタデータを読み込む。
プランニングメタデータの操作に関する設定	Execute / Cancel	Executeを選択するとスロットAまたはBのメモリーカードに保存されているプランニングメタデータのファイルリストが表示される。ファイルを選択し、Load → Executeで読み込み実行。
<div style="background-color: #cccccc; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"><b>ご注意</b></div> <ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルリストには、ファイルは64個まで表示されます。プランニングメタデータファイルの総数が64個以下であっても、メモリーカード内のプランニングメタデータファイルと同じディレクトリー(XDROOT/General/Sony/Planning)に512個以上のファイルがあると、すべてのプランニングメタデータファイルが表示されないことがあります。</li> <li>読み込みを開始した後は、完了メッセージが表示されるまで、メモリーカードを抜かないでください。</li> </ul>		
Properties	Execute / Cancel	Executeを選択すると本機のメモリーに読み込まれているプランニングメタデータの内容を表示する。 File Name：ファイル名 Assign ID：アサインID Created：ファイルの生成日時 Modified：ファイルの最終更新日時 Modified by：ファイルの更新者 Title1：ファイルで指定されたTitle1の内容（ASCII形式のクリップ名） Title2：ファイルで指定されたTitle2の内容（UTF-8形式のクリップ名） Material Group：マテリアルグループ（同じプランニングメタデータを使用して収録したクリップ群）の数 Shot Mark0～9：ショットマーク0～9の名前
Clear Memory	Execute / Cancel	Executeを選択すると本機のメモリーに読み込まれているプランニングメタデータの内容を消去する。
Clip Name Display	Title1(ASCII) / Title2(UTF-8)	プランニングメタデータでクリップ名を設定する場合の表示形式を設定する。

## Fileメニュー

File		
メニュー項目	細目と設定値	内容
User File ユーザーファイルの操作に関する設定	Load Utility SD/MS Execute / Cancel	ユーザーファイルの設定をSDカードまたは“メモリースティック”から呼び出す。 Execute：実行
	Save Utility SD/MS Execute / Cancel	ユーザーファイルの設定をSDカードまたは“メモリースティック”へ保存する。 Execute：実行
	File ID	ユーザーファイルのFile ID表示と編集を行う画面を表示する。
	Load Customize Data On / <b>Off</b>	Load Utility SD/MSの実行時にUserメニューの構成カスタマイズ情報を読み込むかどうかを設定する。
	Load White Data On / <b>Off</b>	Load Utility SD/MSの実行時にホワイトバランス情報を読み込むかどうかを設定する。
All File Allファイルに関する設定	Load Utility SD/MS Execute / Cancel	Allファイル呼び出す。 Execute：実行
	Save Utility SD/MS Execute / Cancel	Allファイルを保存する。 Execute：実行
	File ID	ファイルに名前を付ける。
	Load Network Data On / <b>Off</b>	Load Utility SD/MSの実行時に、Networkメニューの設定情報を読み込むかどうかを設定する。
Scene File Scene Fileに関する設定	Recall Internal Memory Execute / Cancel	内蔵メモリーからSceneファイル呼び出す。 Execute：実行
	Store Internal Memory Execute / Cancel	内蔵メモリーにSceneファイルを保存する。 Execute：実行
	Load Utility SD/MS Execute / Cancel	Executeを選択するとSDカードから呼び出しを実行する。
	Save Utility SD/MS Execute / Cancel	Executeを選択するとSDカードへ保存を実行し、セットアップファイルを下記のディレクトリーに保存する。 /PRIVATE/SONY/PRO/CAMERA/PXW-Z280V/
	File ID	ファイルに名前を付ける。
	Scene White Data On / <b>Off</b>	Scene Fileを呼び出し時にWhite Balanceのデータを反映させるかどうかを設定する。

## Networkメニュー

Network		
項目	細目と設定値	内容
Access Authentication 認証に関する設定	User Name	アクセス認証のためのユーザー名を設定する。
	Password	アクセス認証のためのパスワードを設定する。
Wireless LAN ワイヤレスLAN 接続に関する設定	Setting	ワイヤレスLAN接続の動作モードを選択する。
	Access Point Mode / Station Mode / <b>Off</b>	
	WPS Execute / Cancel	WPS (Wi-Fi Protected Setup) による接続設定を開始する。 Execute：実行
	NFC Execute / Cancel	NFC (Near Field Communication) による接続設定を開始する。 Execute：実行
	MAC Address	本機のワイヤレスLANインターフェースのMACアドレスを表示する（表示のみ）。
AP Mode Settings アクセスポイントモードでの接続に関する設定	Channel Auto(5GHz) / <b>Auto</b> / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11	ワイヤレスLANのチャンネルを設定する。
	Camera SSID & Password	本機のSSIDとパスワードを表示する。
	Regenerate Password Execute / Cancel	パスワードを再生成する。 Execute：実行
	IP Address	本機のアクセスポイントモードでのIPアドレスを表示する。
	Subnet Mask	本機のアクセスポイントモードでのサブネットマスクを表示する。

Network		
項目	細目と設定値	内容
ST Mode Settings ステーション モードでの接続 に関する設定	Camera Remote Control Enable / <b>Disable</b>	ステーションモードで本機とワイヤレスLAN接続されているデバイスからのリモートコントロールを許可するかどうかを設定する。
	Connected Network	接続中のワイヤレスLANネットワーク（アクセスポイント）を表示する。
	SSID	接続先アクセスポイントのSSIDを表示する。
	Security	接続先アクセスポイントのセキュリティ種別を表示する。
	Password	接続先アクセスポイントのパスワードを表示する。 セキュリティがWEP/WPA時：***** セキュリティがNone時：空欄
	DHCP	DHCPの有効（On）、無効（Off）を表示する。
	IP Address	DHCPがOffのときに本機のIPアドレスを表示する。
	Subnet Mask	DHCPがOffのときに本機のサブネットマスクを表示する。
	Gateway	DHCPがOffのときに本機のデフォルトゲートウェイを表示する。
	DNS Auto	DNS自動取得のON/OFFを表示する。
	Primary DNS Server	DNS AutoがOffのときに本機のプライマリー DNSサーバーを表示する。
	Secondary DNS Server	DNS AutoがOffのときに本機のセカンダリー DNSサーバーを表示する。
	Scan Networks	ワイヤレスLANネットワーク（アクセスポイント）を検出し、リスト表示する。 リストから接続先を選択し、接続する。
	SSID	接続先アクセスポイントのSSIDを表示する。
	Security	接続先アクセスポイントのセキュリティ種別を表示する。
	Password	接続先アクセスポイントのパスワードを入力する。
	DHCP On / Off	DHCPの有効（On）、無効（Off）を設定する。
	IP Address	DHCPがOffのときに本機のIPアドレスを入力する。
	Subnet Mask	DHCPがOffのときに本機のサブネットマスクを入力する。
	Gateway	DHCPがOffのときに本機のデフォルトゲートウェイを入力する。
DNS Auto On / Off	DNS自動取得をON/OFFする。	
Primary DNS Server	DNS AutoがOffのときに本機のプライマリー DNSサーバーを入力する。	
Secondary DNS Server	DNS AutoがOffのときに本機のセカンダリー DNSサーバーを入力する。	



Network			
項目	細目と設定値	内容	
ST Mode Settings ステーション モードでの接続 に関する設定	Manual Register	アクセスポイントと手動接続する。	
	SSID	接続先アクセスポイントのSSIDを入力する。	
	Security None / WEP / WPA	接続先アクセスポイントのセキュリティ種別を設定する。接続先アクセスポイントのセキュリティ種別がWPAまたはWPA2の場合は、WPAを選択。	
	Password	接続先アクセスポイントのパスワードを入力する。	
	DHCP On / Off	DHCPの有効 (On)、無効 (Off) を設定する。	
	IP Address	DHCPがOffのときに本機のIPアドレスを入力する。	
	Subnet Mask	DHCPがOffのときに本機のサブネットマスクを入力する。	
	Gateway	DHCPがOffのときにデフォルトのゲートウェイを入力する。	
	DNS Auto On / Off	DNS自動取得をON/OFFする。	
	Primary DNS Server	DNS AutoがOffのときにプライマリー DNSサーバーを入力する。	
	Secondary DNS Server	DNS AutoがOffのときにセカンダリー DNSサーバーを入力する。	
	Wired LAN 有線LAN接続に 関する設定	Setting On / Off	有線LANをON/OFFする。
Camera Remote Control Enable / Disable		本機と有線LAN接続されているデバイスからのリモートコントロールを許可するかどうかを設定する。	
Detail Settings		有線LAN接続の詳細設定を行う。	
DHCP On / Off		DHCPの有効 (On)、無効 (Off) を設定する。	
IP Address		DHCPがOffのときに本機のIPアドレスを入力する。	
Subnet Mask		DHCPがOffのときに本機のサブネットマスクを入力する。	
Gateway		DHCPがOffのときにデフォルトのゲートウェイを入力する。	
DNS Auto On / Off		DNS自動取得をON/OFFする。	
Primary DNS Server		DNS AutoがOffのときにプライマリー DNSサーバーを入力する。	
Secondary DNS Server		DNS AutoがOffのときにセカンダリー DNSサーバーを入力する。	
Modem モデムの使用に 関する設定		Setting On / Off	モデム接続の有効 (On)、無効 (Off) を設定する。
		Modem1 Device Name	モデム1のDevice Nameを表示する。
	Modem1 IP Address	モデム1のIPアドレスを表示する。	
	Modem1 Subnet Mask	モデム1のサブネットマスクを表示する。	
	Modem2 Device Name	モデム2のDevice Nameを表示する。	
	Modem2 IP Address	モデム2のIPアドレスを表示する。	
	Modem2 Subnet Mask	モデム2のサブネットマスクを表示する。	

Network		
項目	細目と設定値	内容
Network Client Mode	Setting On / <b>Off</b>	ネットワーククライアントモードを開始 (On) または停止 (Off) する。
	NCM Settings Select	ネットワーククライアントモードの接続先設定を、あらかじめ設定したプリセット設定 (NCM Settings1/ NCM Settings2/NCM Settings3) から選択する。
ネットワーククライアントモードに関する設定	NCM Settings1	
	Display Name	NCM Settingsのメニュー上の表示名を入力する。
	CCM Address	接続先CCMまたはXDCAM airのアドレスを設定する。 ホスト名またはIPアドレス
	CCM Port (1~65535 <b>(8443)</b> )	接続先CCMまたはXDCAM airのポート番号を設定する。
	User Name	CCM接続の認証用ユーザー名を設定する。
	Password	CCM接続の認証パスワードを設定する。
	CCM Certificate Load / Clear / <b>None</b>	CCMまたはXDCAM airに接続する際の証明書の読み込み、削除を設定する。
	CCM Certificate Status Loaded / <b>Default</b>	CCMまたはXDCAM airに接続する際の証明書の読み込み状態を表示する。
	Camera Control Enable / <b>Disable</b>	CCM接続時のCCMまたはXDCAM airからのカメラコントロール許可／不許可を設定する。
	Camera Setting Always / Onetime / <b>Off</b>	CCM接続時のCCMまたはXDCAM airからのAll File操作の許可／不許可を設定する。 Always：常にCCMまたはXDCAM airからのAll File 操作を許可する Onetime：1回だけCCMまたはXDCAM airからのAll File 操作 (Load) を許可する Off：CCMまたはXDCAM airからのAll File操作を許可しない
	Reset Execute / Cancel	NCM Settingsの設定を初期値に戻す。 Execute：実行
	NCM Settings2	NCM Settings1と同じ
	NCM Settings3	NCM Settings1と同じ

Network		
項目	細目と設定値	内容
File Transfer ファイルの転送 に関する設定	Auto Upload (Proxy) On / <b>Off</b>	プロキシファイルの自動転送をON/OFFする。
	Auto Upload Server	プロキシファイルの自動転送先サーバーを選択する。 Server Settings (NCM)、Server Settings 1~3で設定したDisplay Nameを表示する。
	Clear Completed Jobs Execute / Cancel	転送完了済みのジョブをリストからクリアする。 Execute : 実行
	Clear All Jobs Execute / Cancel	すべての転送ジョブをリストからクリアする。 Execute : 実行
	Server Settings(NCM)	NCMサーバーのDisplay Nameおよびサービス (CCM) を表示する (表示のみ)。
	Display Name	NCMサーバーのDisplay名を表示する (表示のみ)。
	Service	サービスを表示する (表示のみ)。
	Server Settings1	
	Display Name	転送先設定のメニュー上の表示名を入力する。
	Service FTP	サーバーの種類を表示する (表示のみ)。
	Host Name	転送先サーバーのアドレスを設定する。 ホスト名またはIPアドレス
	Port (1~65535 (21))	転送先サーバーのポート番号を設定する。
	User Name	転送先サーバー接続の認証用ユーザー名を設定する。
	Password	転送先サーバー接続の認証パスワードを設定する。
	Passive Mode On / <b>Off</b>	PASVモードのON/OFFする。
	Destination Directory	転送先ディレクトリーを入力する。
	Using Secure Protocol On / <b>Off</b>	セキュアなFTP転送 (FTPSのExplicit Mode : FTPES) を行うか (On)、行わないか (Off) を設定する。
	Root Certificate Load / Clear / <b>None</b>	セキュアなFTP転送ためのルート証明書の読み込み、削除を設定する。
	Root Certificate Status Loaded / <b>No Certificate</b>	セキュアなFTP転送ためのルート証明書の読み込み状態を表示する。
	Reset Execute / Cancel	Server Settingsの設定を初期値に戻す。 Execute : 実行
	Server Settings2	Server Settings1と同じ
	Server Settings3	Server Settings1と同じ

Network			
項目	細目と設定値	内容	
Streaming	Setting On / <b>Off</b>	ストリーミングを開始 (On) または停止 (Off) する。	
	Destination Select	ストリーミングの送信先設定を、あらかじめ設定したプリセット設定 (Destination Settings1/Destination Settings2/Destination Settings3) から選択する。	
	Destination Settings1		
	Display Name	ストリーミングの送信先設定のメニュー上の表示名を入力する。	
	Streaming Type	ストリーミング送信先のストリーミング方式を表示する (表示のみ)。	
	Streaming Format 1920x1080 9M / 1920x1080 6M / 1920x1080 3M / 1280x720P 9M / 1280x720P 6M / 1280x720P 3M / 1280x720P 2M / <b>640x360P 3M</b> / 640x360P 2M / 640x360P 1M / 480x270P 1M / 480x270P 0.5M / 480x270P 0.3M / 480x270P 0.2M / 320x180P 0.2M	ストリーミングする映像のフォーマットを選択する。	
	Audio Channel CH1/CH2 / CH3/CH4 / CH1 / CH2 / CH3 / CH4	ストリーミングする音声のチャンネルを選択する。	
	Destination Address	ストリーミングの送信先サーバーのアドレスを設定する。 ホスト名またはIPアドレス	
	Destination Port (1~65535 <b>(1234)</b> )	ストリーミングの送信先サーバーのポート番号を設定する。	
	Reset Execute / Cancel	Destination Settingsの設定を初期値に戻す。 Execute : 実行	
	Destination Settings2	Destination Settings1と同じ	
	Destination Settings3	Destination Settings1と同じ	
	Network Reset	Reset	ネットワークの設定をリセットする。
		Execute / Cancel	Execute : 実行

## Systemメニュー

System			
メニュー項目	細目と設定値	内容	
Base Setting 撮影モードの設定	Shooting Mode <b>SDR</b> / HDR	ダイナミックレンジのモードを選択する。	
HDR Setting ダイナミックレンジの設定	Rec/Out <b>HDR(HLG)</b> / HDR(S-Log3)	HDRモード時の記録と出力信号のガンマカーブを選択する。	
Rec Format 記録フォーマットの設定	Frequency <b>59.94</b> / 50 / 29.97 / 25 / 23.98	システム周波数を選択する。	
	File System <b>exFAT</b> / UDF / FAT	ファイルシステムを選択する。	
	Codec XAVC-I / XAVC-L / MPEG HD 422 / MPEG HD 420 / DVCAM(MXF)	記録・再生モードを設定する。	
	Video Format Frequency、File System、 Codecの設定に応じて変わる。	録画フォーマットを設定する。 SET：実行	
	<b>File System</b>	<b>Frequency</b>	<b>Codec</b>
	exFAT	59.94	XAVC-I
			<b>3840×2160P</b> 1920×1080P 1920×1080i 1280×720P
			XAVC-L
			<b>3840×2160P</b> 1920×1080P 50 1920×1080P 35 1920×1080i 50 1920×1080i 35 1920×1080i 25 1280×720P 50
			MPEG HD422
			<b>1920×1080i 50</b> 1280×720P 50
			MPEG HD420
			<b>1920×1080i HQ</b> 1440×1080i HQ 1280×720P HQ
			DVCAM(MXF)
			<b>720×480i</b>

System				
メニュー項目	細目と設定値	内容		
Rec Format 記録フォーマットの設定	50	XAVC-I	<b>3840×2160P</b> 1920×1080P 1920×1080i 1280×720P	
		XAVC-L	<b>3840×2160P</b> 1920×1080P 50 1920×1080P 35 1920×1080i 50 1920×1080i 35 1920×1080i 25 1280×720P 50	
		MPEG HD422	<b>1920×1080i 50</b> 1280×720P 50	
		MPEG HD420	<b>1920×1080i HQ</b> 1440×1080i HQ 1280×720P HQ	
		DVCAM(MXF)	<b>720×576i</b>	
		29.97	XAVC-I	<b>3840×2160P</b> 1920×1080P
			XAVC-L	<b>3840×2160P</b> 1920×1080P 50 1920×1080P 35
			MPEG HD422	<b>1920×1080P 50</b> 1280×720P 50
			MPEG HD420	<b>1920×1080P HQ</b>
			DVCAM(MXF)	<b>720×576i</b>
		25	XAVC-I	<b>3840×2160P</b> 1920×1080P
			XAVC-L	<b>3840×2160P</b> 1920×1080P 50 1920×1080P 35
			MPEG HD422	<b>1920×1080P 50</b> 1280×720P 50
			MPEG HD420	<b>1920×1080P HQ</b>
DVCAM(MXF)	<b>720×576i</b>			
23.98	XAVC-I	<b>3840×2160P</b> 1920×1080P		
	XAVC-L	<b>3840×2160P</b> 1920×1080P 50 1920×1080P 35		
	MPEG HD422	<b>1920×1080P 50</b> 1280×720P 50		
	MPEG HD420	<b>1920×1080P HQ</b>		
	DVCAM(MXF)	<b>720×576i</b>		

System						
メニュー項目	細目と設定値		内容			
Rec Format 記録フォーマットの設定	UDF	59.94	MPEG HD422	<b>1920×1080i 50</b> 1280×720P 50		
			MPEG HD420	<b>1920×1080i HQ</b> 1440×1080i HQ 1280×720P HQ		
			DVCAM(MXF)	<b>720×480i</b>		
	50		MPEG HD422	<b>1920×1080i 50</b> 1280×720P 50		
			MPEG HD420	<b>1920×1080i HQ</b> 1440×1080i HQ 1280×720P HQ		
			DVCAM(MXF)	<b>720×576i</b>		
	29.97		MPEG HD422	<b>1920×1080P 50</b> 1280×720P 50		
			MPEG HD420	<b>1920×1080P HQ</b>		
	25		MPEG HD422	<b>1920×1080P 50</b> 1280×720P 50		
			MPEG HD420	<b>1920×1080P HQ</b>		
	23.98		MPEG HD422	<b>1920×1080P 50</b> 1280×720P 50		
			MPEG HD420	<b>1920×1080P HQ</b>		
	FAT	59.94		MPEG HD420	<b>1920×1080i HQ</b> 1440×1080i HQ 1280×720P HQ	
				50	MPEG HD420	<b>1920×1080i HQ</b> 1440×1080i HQ 1280×720P HQ
				29.97	MPEG HD420	<b>1920×1080P HQ</b>
25		MPEG HD420	<b>1920×1080P HQ</b>			
23.98		MPEG HD420	<b>1920×1080P HQ</b>			
Aspect Ratio (SD)				DVCAM記録時のアスペクト比を設定する。 <b>16:9 / 4:3</b>		

System		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Assignable Button アサインナブルボタンへの機能割り当て設定	<1>~<10>	アサインナブルボタンに機能を割り当てる。
	Push AF/Push MF / Face Detection AF / ND Filter	Push AF/Push MF : プッシュオートフォーカス機能の実行 Face Detection AF : 顔検出AF機能ON/OFF切り替え
	Position / Auto ND Filter / Push Auto ND / Push Auto Iris / Turbo Gain / AGC / Shutter / Auto Exposure Level / Spotlight / Backlight / Flash Band Reduce / Digital Extender x2 /	ND Filter Position : NDフィルターのポジションの切り替え Auto ND Filter : Auto ND Filter機能のON/OFF切り替え Push Auto ND : Auto ND Filterの機能の一時実行 Push Auto Iris : ワンプッシュオートアイリス機能の実行
	Handle Zoom / Color Bars / Preset White Select / ATW / ATW Hold / Marker / Zebra / Peaking / Video Signal	Turbo Gain : Turbo GainのON/OFF切り替え AGC : オートゲインコントロール機能の切り替え Shutter : オートシャッター / マニュアルシャッターの切り替え
	Monitor / Focus Magnifier / Lens Info / LCD/VF Adjust / VF Mode / Gamma Display Assist / Display / Rec / S&Q Motion / Clip Continuous	Auto Exposure Level : AEレベルの調節 Spotlight : AE ModeのSpotlightに切り替え Backlight : AE ModeのBacklightに切り替え Flash Band Reduce : フラッシュバンド補正機能のON/OFF切り替え
	Rec / Picture Cache Rec / Proxy Rec Start/Stop / Rec	Digital Extender x2 : 画面拡大 (2倍) 機能のON/OFF切り替え
	Review / Last Clip Del. / Thumbnail / Shot Mark1 / Shot Mark2 / Clip Flag OK / Clip Flag NG / Clip Flag	Handle Zoom : ハンドルズーム動作の切り替え Color Bars : カラーバー表示のON/OFF切り替え Preset White Select : ホワイトバランス プリセットモード値の切り替え
	Keep / NFC / Network Client Mode / Intercom	ATW : ATWのON/OFF切り替え ATW Hold : ATW の動作を一時ホールド
	Level / Streaming / Auto Upload (Proxy) / Direct Menu / User Menu / Menu	Marker : マーカー機能のON/OFF切り替え Zebra : ゼブラ機能のON/OFF切り替え Peaking : ピーキング機能のON/OFF切り替え Video Signal Monitor : 映像信号モニター (ヒストグラムなど) の表示切り替え Focus Magnifier : ピント拡大機能のON/OFF切り替え Lens Info : 被写界深度表示の切り替え LCD/VF Adjust : 液晶画面/ビューファインダー画面の明るさ調節用レベルバーの表示 VF Mode : ビューファインダー画面のカラー /モノクロ切り替え Gamma Display Assist : ガンマ表示アシスト機能の切り替え Display : モニター画面表示のON/OFF切り替え Rec : 記録の開始または停止 S&Q Motion : スロー&クイックモーション機能のON/OFF切り替え、フレームレート設定画面の表示 Clip Continuous Rec : クリップコンティニューアスレック機能のON/OFF切り替え Picture Cache Rec : ピクチャーキャッシュレック機能のON/OFF切り替え Proxy Rec Start/Stop : プロキシ単独記録の開始または停止



System		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Assignable Button アサインابلボタンへの機能割り当て設定		Rec Review：レックレビューの開始
		Last Clip Del.：ラストクリップデリート（リテイク）機能の実行
		Thumbnail：サムネイル画面表示のON/OFF切り替え
		Shot Mark1：記録中または再生中のクリップにショットマーク1を追加
		Shot Mark2：記録中または再生中のクリップにショットマーク2を追加
		Clip Flag OK：記録中または再生中のクリップにOKフラグを設定、解除
		Clip Flag NG：記録中または再生中のクリップにNGフラグを設定、解除
		Clip Flag Keep：記録中または再生中のクリップにKeepフラグを設定、解除
		NFC：NFC機能の実行
		Network Client Mode：ネットワーククライアントモードのON/OFF切り替え
		Intercom Level：インカムの受話レベル調整用レベルバーの表示
		Streaming：ストリーミングの実行または停止
		Auto Upload (Proxy)：プロキシファイルの自動転送のON/OFF切り替え
		Direct Menu：ダイレクトメニューの設定
		User Menu：Userメニューの表示
	Menu：セットアップメニューの表示	
Tally 記録/タリーランプの設定	Front <b>On</b> / Off	記録/タリーランプ（Front）をON/OFFする。
	Rear <b>On</b> / Off	記録/タリーランプ（Rear）をON/OFFする。
Language 言語の設定	Select	表示する言語を設定する。 SET：実行
Clock Set 内蔵時計に関する設定	Time Zone UTC -12:00~UTC +14:00	UTCからの時差を30分単位で設定する。
	Date Mode <b>YYMMDD</b> / MMDDYY / DDMMYY	年月日の表示方式を選択する。 YYMMDD：年月日の順 MMDDYY：月日年の順 DDMMYY：日月年の順
	12H/24H 12H / <b>24H</b>	時刻の表示形式を選択する。 12H：12時間表示 24H：24時間表示
	Date	現在の日付を設定する。 SET：決定
	Time	現在の時刻を設定する。 SET：決定
	Hours(Meter)	積算使用時間（リセット不可）を表示する。
	Hours(Reset)	積算使用時間（リセット可）を表示する。
Hours Meter 積算時間の表示	Reset	Hours（Reset）表示を0にリセットする。
	Execute / Cancel	Execute：実行

System		
メニュー項目	細目と設定値	内容
GPS	GPS	GPSをON/OFFする。
GPSの設定	<b>On</b> / Off	
<b>Battery Alarm</b>	Low Battery	バッテリー電圧低下警告を表示する残量を設定する
バッテリー電圧低下警告の設定	5% / <b>10%</b> / 15% / ... / 45% / 50%	(5%刻み)。
	Battery Empty	バッテリー切れ警告を表示する残量を設定する (1%刻み)。
	<b>3%</b> ~7%	
<b>DC Voltage Alarm</b>	DC Low Voltage1	DC INへの入力電圧の低下警告を表示する電圧を設定する (0.1V刻み)。
	11.2V ~ 14.0V ( <b>11.3V</b> )	
DC IN入力電圧低下警告の設定	DC Low Voltage2	DC INへの入力電圧の不足警告を表示する電圧を設定する (0.1V刻み)。
	<b>11.0V</b> ~ 14.0V	
<b>Menu Settings</b>	Direct Menu with <SET>	ダイレクトメニュー操作を、SETボタンを押すことで開始できるようにするかを設定する。
メニューに関する設定	<b>On</b> / <b>Off</b>	
		<b>ご注意</b>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>Onにすると、顔検出AF機能での登録顔登録操作ができなくなります。また、現在登録されている登録顔がクリアされます。</li> </ul>
	User Menu Only	メニューを表示したときに、Userメニューだけを表示するか (On)、メニューリストを表示するか (Off) を設定する。
	<b>On</b> / <b>Off</b>	
	User Menu with Lock	メニュー表示にロックをかけて、Userメニューだけの表示にするかどうかを設定する。
	<b>On</b> / <b>Off</b>	
		<b>ご注意</b>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>通常のメニュー表示操作では表示されません。メニュー表示の操作方法は、98ページをご覧ください。</li> </ul>
<b>Fan Control</b>	Setting	ファンの制御モードを選択する。
ファン制御の設定	<b>Auto</b> / Minimum / Off in Rec	
<b>All Reset</b>	Reset	工場出荷状態へのリセットを実行する。
工場出荷状態へのリセット	Execute / Cancel	Execute : 実行
	Reset without Network	Networkの設定を除いたメニュー設定値を工場出荷状態にリセットする。
	Execute / Cancel	Execute : 実行
<b>Version</b>	Version Number	本機のソフトウェアバージョンを表示する。
本機のバージョンの表示	x.xx	
	Version Up	本機をバージョンアップ*する。
	Execute / Cancel	Execute : 実行
		* バージョンアップは本機のソフトウェアをアップデートする機能です。




## 使用上のご注意

### 海外で使う

#### 電源について

本機は、海外でも使えます。  
ACアダプター（別売）やチャージャー BC-U1A/U2A（別売）は、全世界の電源（AC 100V～240V、50Hz/60Hz）で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたすねの上、ご用意ください。電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

#### 海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例		
	主に北米	主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

#### 時差補正機能について

海外で使うとき、SystemメニューのClock SetのTime Zone（137ページ）を設定します。

安全にご使用いただくために、別紙の取扱説明書と併せてご覧ください。

### 取り扱い・保管上のご注意

#### 強い衝撃を与えない

内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。

#### 動作中は布などで包まないでください

内部の温度が上がり、好ましくありません。

#### 使い終わったら

電源スイッチをSTANDBYにして電源を切ってください。

#### 長時間使わないときは

バッテリーを抜いておいてください。

#### レンズを太陽光に向けて放置しない

太陽光がレンズを通して内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

#### レンズに向けてレーザーなどの光線を照射しない

イメージセンサーが破損し、カメラが故障することがあります。

### 輸送

- メモリーカードは必ず取り出しておいてください。
- トラック、船、航空機など、本機を貨物として扱う輸送では、お買い上げ時の梱包材をご使用ください。

### バッテリーについて

#### 充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の範囲で、チャージャーの充電ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

#### バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
  - バッテリーをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
  - 高容量バッテリーを使う。

- 本機で撮影や再生をしないときは、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

### バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください（21ページ）。

### バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

---

## 本機の取り扱いについて

---

### 使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所  
炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所  
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所  
正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く  
雑音が入ることがあります。

- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所  
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やビューファインダー、レンズが太陽に向けたままとなる場所（窓際や室外など）  
液晶画面やビューファインダー内部を傷めます。

### 長期間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから、保管してください。

### 結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

### 結露が起きたときは

電源を入れずに、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

### 結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スクールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

### 結露を起りにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

### 液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

## お手入れ

液晶表面にはコーティング処理がされており、傷をつけるとコーティングが剥がれることがあります。

お取り扱い、お手入れの際は下記の点にご注意ください。

- 手の脂、ハンドクリーム等が付いたままにするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- 汚れを拭き取る前に埃や砂などはブローなどであらかじめ払い落とし落としてください。
- 汚れを拭き取るときは清潔な眼鏡拭き等、柔らかい生地の布でやさしく拭き取ってください。

## 本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、次のことは避けてください。
  - －シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類。
  - －上記が手に付いたまま本機を扱う。
  - －ゴムやビニール製品との長時間接触。

## レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

## 内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機がACアダプターでコンセントにつながっているか、バッテリーが入っている限り常に充電されています。ACアダプターで電源につなが

い、またはバッテリーを入れないままで**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

---

## 携帯電話や無線機などによる電波障害を防止するために

---

携帯電話や無線機などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。本機の近くでは、携帯電話や無線機などの電源はできるだけ切ってください。

---

## 画面について

---

- 画面を太陽にむけたままにすると、画面を傷めます。屋外でご使用のときは、太陽に向けて放置しないでください。
- 画面を強く押ししたり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、パネルの故障の原因になります。
- 使用中に画面が暖かくなることがありますが、故障ではありません。

---

## 液晶画面・有機EL画面の輝点・減点について

---

本機の液晶パネル・有機ELパネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や減点がある場合があります。また、液晶パネル・有機ELパネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの点が記録されることはありません。

---

## 有機ELパネルの表示について

---

一般に、有機ELパネルはその特性上、焼き付き、輝度低下などが発生することがあります。

これらは故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

ファインダー内で視線を動かした場合などに原色が見えることがあります。故障ではありません。  
また、原色が実際にメモリーカードに記録されることはありません。

---

## 有寿命部品について

- ファン、バッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です。  
常温でのご使用の場合、5年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はお買い上げ店にご相談ください。
- ACアダプターと電解コンデンサの寿命は約5年です。  
(常温で1日に8時間、1カ月で25日間、通常に使用すると想定した場合)  
したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。
- 機器に搭載されているバッテリー端子(バッテリーパックやACアダプターとの接点部分)は消耗品です。  
振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。  
長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することをお願いします。  
点検につきましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

---

## 画面表示に関するご注意

- 次のような場合、液晶画面やビューファインダーの映像が乱れることがあります。
  - フォーマットを切り替えたとき
  - サムネイル画面から再生を開始したとき

---

## ファイルの断片化について

画像が正しく記録・再生されないときは記録メディアをフォーマット(初期化)してください。長期間、映像の記録・クリップの消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化(フラグメンテーション)して、映像が正しく記録・保存で

きなくなる場合があります。このような場合は、クリップのバックアップを取ったあと、MediaメニューのFormat Media(123ページ)で記録メディアのフォーマット(初期化)を行ってください。

---

## セキュリティに関するご注意

- 安全に設計されたファイアウォールの下で使用してください。信用できない機器に接続される可能性があるネットワークには、本機を接続しないでください。
- FTPはコンテンツ、ユーザー名、パスワードが暗号化されないため、FTPSを使用できる場合はFTPSを使用してください。
- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上で使用ください。
- 利用者が気付かないうちに、電波が届くところから意図せぬ第三者に通信内容を盗み見られてしまうおそれがあります。無線LAN通信を利用する際は、通信内容を保護するために、適切なセキュリティ対策をしてください。
- セキュリティの面から、製品をネットワークに接続してご使用になる際は、アクセス制限設定を工場出荷時の設定値から変更して設定することを強く推奨します(127ページ)。特にOpenのネットワークに接続する場合はご注意ください。また、定期的にパスワードを変更することを推奨します。
- 設定作業中または設定作業後のブラウザで他のサイトを閲覧しないでください。ブラウザにログインした状態が残りますので、意図しない第三者の使用や悪意のあるプログラムの実行を防ぐために、設定作業が完了したら必ずブラウザを終了してください。

---

## GPSについて

---

GPS (Global Positioning System) とは、米国の高精度な航空衛星を利用した、地球上のどこにいても自分の正確な位置を知ることができるシステムです。

GPS衛星は、高度20,000kmの6つの軌道上に各4個、24個以上が設置されています。GPS衛星からの電波を受信し、衛星の軌道情報 (アルマナックデータ) と電波の伝播時間のデータなどから自分の位置を計算します。

位置を計算することを測位と呼び、衛星を3機以上受信できれば、経度、緯度がわかります。

- GPS衛星の配置は常に変化しているため、ご使用になる場所や時刻などの条件によっては測位に時間がかかったり、測位できないことがあります。
- GPSは衛星から電波を受信し、測位するシステムです。ビルや木立の陰など、電波を遮断・反射してしまう場所を避け、できるだけ上空の開けた場所でご使用ください。
- GPS衛星からの電波が届かない以下のような場所や状況では、測位情報を記録できないことがあります。
  - －トンネルの中・屋内やビルの陰
  - －高層ビルの間・建物間の狭い道路
  - －地下・密集した樹木の間・高架の下・高圧電線など、近くに磁気を発生するものがある場合
  - －1.5GHz帯の携帯電話など、近くに同じ周波数帯の電波を発生するものがある場合
- GPSがOnの状態で撮影した画像をインターネットに公開、共有すると、意図せずに撮影場所が第三者に知られる場合があります。その場合はGPSをOffにして撮影してください (138ページ)。

### 誤差について

- GPSをOnにした直後に移動すると、移動しなかった場合に比べて、測位までの時間が長くなる場合があります。
- GPS衛星自体による誤差  
本機は、3個以上のGPS衛星からの電波を受信すると自動的に現在地を測位します。

GPS衛星自体による誤差は、約10m程度ですが、測位する周辺的环境によってはさらに大きな誤差を生じることがあります。このような場合は、実際に居た場所と地図上での位置が異なることがあります。また、GPS衛星は米国国防省により管理されており、意図的に精度が変更されることがあります。

- 測位時間による誤差  
本機では、測位中に測位情報を定期的に取得しています。

### 規制について

使用する国や地域の規制に従ってGPS機能をお使いください。

### 測地系について

本機では、測地系として、「WGS-84」を採用しています。

# ビデオフォーマットについて

## 記録メディアについて

### 記録メディアと対応フォーマット

#### ■ 通常記録

	ファイルシステム	SxS Pro+	SxS Pro	SxS-1	XQD	SDXC	SDHC
XAVC-I	exFAT	3840x2160	○	-	-	○	-
		1920x1080	○	○	-	○	-
		1280x720	○	-	-	○	-
XAVC-L	exFAT	3840x2160	○	○	○	○	-
		1920x1080	○	○	○	○	-
		1280x720	○	○	○	○	-
MPEG	exFAT	○	○	○	○	○	-
HD422	UDF	○	○	○	○	-	-
MPEG	exFAT	○	○	○	○	○	-
HD420	UDF	○	○	○	○	-	-
	FAT	-	-	-	-	-	○
DVCAM	exFAT	○	○	○	○	○	-
	UDF	○	○	○	○	-	-

○：対応

-：非対応

#### ■ S&Q モード

	ファイルシステム	SxS Pro+	SxS Pro	SxS-1	XQD	SDXC	SDHC
XAVC-I	exFAT	○	-	-	○	-	-
XAVC-L		○	○	○	○	-	-
MPEG HD422		○	○	○	○	○	-
MPEG HD420		○	○	○	○	○	-

○：対応

-：非対応

ソニー製SxSメモリーカードとソニー製XQDメモリーカード（Gシリーズ、S（EB Stream）シリーズ）以外のメモリーカードでの動作は、保証いたしません。



## 特殊記録の対応

	XAVC-I	XAVC-L	MPEG HD422		MPEG HD420			DVCAM
	exFAT	exFAT	exFAT	UDF	exFAT	UDF	FAT	
インターバルレック	○	○	○	-	○	-	-	-
クリップコンティニユア スレック	○	○	○	○	○	○	-	-
ピクチャーキャッシュ レック	○	○	○	○	○	○	○	-
スロー&クイックモー ション	○	○	○	-	○	-	-	-
2スロット同時記録	○	○	○	○	○	○	-	-
4K & HD (Sub) 記録	○	○	-	-	-	-	-	-

○：対応

-：非対応

## クリップの最大記録時間

記録フォーマット	連続撮影時間 (メディア1枚当たり)	リレー記録の記録可能時間
XAVC-I	約24時間	約24時間
XAVC-L	約24時間	約24時間
MPEG HD422	約24時間	約24時間
MPEG HD420	約24時間	約24時間
DVCAM	約24時間	約24時間

# 出力のフォーマットと制限

## ビデオフォーマットと出力信号

### SDI OUT端子の出力フォーマット

記録フォーマット設定		SDI出力設定	出力信号・変換方式	
Systemメニュー Rec FormatのFrequency	Systemメニュー Rec FormatのVideo Format	Videoメニュー Output FormatのSDI	出力信号	
59.94	3840x2160P	3840x2160P	3840x2160 59.94P	
		1920x1080P (Level A)	1920x1080 59.94P Level-A	
		1920x1080P (Level B)	1920x1080 59.94P Level-B	
		1920x1080i	1920x1080 59.94i	
	1920x1080P	1920x1080P (Level A)	1920x1080 59.94P Level-A	
		1920x1080P (Level B)	1920x1080 59.94P Level-B	
		1920x1080i	1920x1080 59.94i	
		720x486i	720x486 59.94i	
	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 59.94i	
		720x486i	720x486 59.94i	
	1440x1080i	1920x1080i	1920x1080 59.94i	
		720x486i	720x486 59.94i	
	1280x720P	1280x720P	1280x720 59.94P	
		720x486i	720x486 59.94i	
29.97	3840x2160P	1920x1080PsF	1920x1080 29.97PsF	
		720x486i	720x486 59.94i (PsF)	
	1280x720P	1280x720P	1280x720 59.94P (2-2RP)	
		720x486i	720x486 59.94i (PsF)	
	23.98	3840x2160P	1920x1080PsF	1920x1080 23.98PsF
			1920x1080i (2-3PD)	1920x1080 59.94i (2-3PD)
		1920x1080P	1920x1080PsF	1920x1080 23.98PsF
1920x1080i (2-3PD)			1920x1080 59.94i (2-3PD)	
720x486i (2-3PD)			720x486 59.94i (2-3PD)	
1280x720P	1280x720P (2-3PD)	1280x720 59.94P (2-3PD)		
	720x486i (2-3PD)	720x486 59.94i (2-3PD)		

記録フォーマット設定		SDI出力設定	出力信号・変換方式
Systemメニュー Rec FormatのFrequency	Systemメニュー Rec FormatのVideo Format	Videoメニュー Output FormatのSDI	出力信号
50	3840x2160P	3840x2160P	3840x2160 50P
		1920x1080P (Level A)	1920x1080 50P Level-A
		1920x1080P (Level B)	1920x1080 50P Level-B
		1920x1080i	1920x1080 50i
	1920x1080P	1920x1080P (Level A)	1920x1080 50P Level-A
		1920x1080P (Level B)	1920x1080 50P Level-B
		1920x1080i	1920x1080 50i
		720x576i	720x576 50i
	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 50i
		720x576i	720x576 50i
	1440x1080i	1920x1080i	1920x1080 50i
		720x576i	720x576 50i
	1280x720P	1280x720P	1280x720 50P
		720x576i	720x576 50i
720x576i	720x576i	720x576 50i	
25	3840x2160P	1920x1080PsF	1920x1080 25PsF
	1920x1080P	1920x1080PsF	1920x1080 25PsF
		720x576i	720x576 50i (PsF)
	1280x720P	1280x720P	1280x720 50P (2-2RP)
		720x576i	720x576 50i (PsF)

## HDMI OUT端子の出力フォーマット

記録フォーマット設定		HDMI出力設定	出力信号・変換方式
Systemメニュー Rec FormatのFrequency	Systemメニュー Rec FormatのVideo Format	Videoメニュー Output FormatのHDMI	出力信号
59.94	3840x2160P	3840x2160P	3840x2160 59.94P
		1920x1080P	1920x1080 59.94P
		1920x1080i	1920x1080 59.94i
	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080 59.94P
		1920x1080i	1920x1080 59.94i
		720x480i	720x480 59.94i
	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 59.94i
		720x480i	720x480 59.94i
	1440x1080i	1920x1080i	1920x1080 59.94i
		720x480i	720x480 59.94i
	1280x720P	1280x720P	1280x720 59.94P
		720x480i	720x480 59.94i
	720x486i	720x480i	720x480 59.94i
		720x480P	720x480 59.94P

記録フォーマット設定		HDMI出力設定	出力信号・変換方式	
Systemメニュー Rec FormatのFrequency	Systemメニュー Rec FormatのVideo Format	Videoメニュー Output FormatのHDMI	出力信号	
29.97	3840x2160P	3840x2160P	3840x2160 29.97P	
		1920x1080i	1920x1080 59.94i (PsF)	
	1920x1080P	1920x1080i	1920x1080 59.94i (PsF)	
		720x480i	720x480 59.94i (PsF)	
	1280x720P	1280x720P	1280x720 59.94P (2-2RP)	
		720x480i	720x480 59.94i (PsF)	
23.98	3840x2160P	3840x2160P	3840x2160 23.98P	
		1920x1080P	1920x1080 23.98P	
		1920x1080i (2-3PD)	1920x1080 59.94i (2-3PD)	
	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080 23.98P	
		1920x1080i (2-3PD)	1920x1080 59.94i (2-3PD)	
		720x480i (2-3PD)	720x480 59.94i (2-3PD)	
	1280x720P	1280x720P (2-3PD)	1280x720 59.94P (2-3PD)	
		720x480i (2-3PD)	720x480 59.94i (2-3PD)	
	50	3840x2160P	3840x2160P	3840x2160 50P
			1920x1080P	1920x1080 50P
1920x1080i			1920x1080 50i	
1920x1080P		1920x1080P	1920x1080 50P	
		1920x1080i	1920x1080 50i	
		720x576i	720x576 50i	
1920x1080i		1920x1080i	1920x1080 50i	
		720x576i	720x576 50i	
1440x1080i		1920x1080i	1920x1080 50i	
		720x576i	720x576 50i	
1280x720P		1280x720P	1280x720 50P	
		720x576i	720x576 50i	
720x576i		720x576i	720x576 50i	
		720x576P	720x576 50P	
25	3840x2160P	3840x2160P	3840x2160 25P	
		1920x1080i	1920x1080 50i (PsF)	
	1920x1080P	1920x1080i	1920x1080 50i (PsF)	
		720x576i	720x576 50i (PsF)	
	1280x720P	1280x720P	1280x720 50P (2-2RP)	
		720x576i	720x576 50i (PsF)	

# GENLOCK INVIDEO OUT端子の出力フォーマット

## VIDEO 出力信号

記録フォーマット設定		出力信号・変換方式	
Systemメニュー Rec FormatのFrequency	Systemメニュー Rec FormatのVideo Format	同期信号	出力信号
59.94	3840x2160P	HD-Sync	1920x1080 59.94i
		HD-Y	1920x1080 59.94i
	1920x1080P	HD-Sync	1920x1080 59.94i
		HD-Y	1920x1080 59.94i
		Composite	720x486 59.94i
	1920x1080i	HD-Y	1920x1080 59.94i
		Composite	720x486 59.94i
	1440x1080i	HD-Y	1920x1080 59.94i
		Composite	720x486 59.94i
	1280x720P	HD Sync	1920x1080 59.94i
			Composite
		720x486i	Composite
29.97	3840x2160P	HD-Sync	1920x1080 59.94i
		HD-Y	1920x1080 29.97PsF
	1920x1080P	HD-Y	1920x1080 29.97PsF
		Composite	720x486 59.94i (PsF)
	1280x720P	HD-Sync	1920x1080 29.97PsF
		Composite	720x486 59.94i (PsF)
23.98	3840x2160P	HD-Sync	1920x1080 23.98PsF
		HD-Y	1920x1080 23.98PsF
	1920x1080P	HD-Y	1920x1080 23.98PsF
		HD-Sync	1920x1080 23.98PsF
		Composite	720x486 59.94i (2-3PD)
	1280x720P	HD-Sync	1920x1080 23.98PsF
		Composite	720x486 59.94i (2-3PD)
50	3840x2160P	HD-Sync	1920x1080 50i
		HD-Y	1920x1080 50i
	1920x1080P	HD-Sync	1920x1080 50i
		HD-Y	1920x1080 50i
		Composite	720x576 50i
	1920x1080i	HD-Y	1920x1080 50i
		Composite	720x576 50i
	1440x1080i	HD-Y	1920x1080 50i
		Composite	720x576 50i
	1280x720P	HD Sync	1920x1080 50i
		Composite	720x576 50i
	720x576i	Composite	720x576 50i
		SD-Sync	720x576 50i

記録フォーマット設定		出力信号・変換方式	
Systemメニュー Rec FormatのFrequency	Systemメニュー Rec FormatのVideo Format	同期信号	出力信号
25	3840x2160P	HD-Sync	1920x1080 50i
		HD-Y	1920x1080 25PsF
	1920x1080P	HD-Y	1920x1080 25PsF
		Composite	720x576 50i (PsF)
	1280x720P	HD-Sync	1920x1080 25PsF
		Composite	720x576 50i (PsF)

### ご注意

- 再生クリップの画サイズが、VIDEOメニューのOutput FormatのSDI、HDMIの出力に設定されている画サイズよりも小さい場合、それぞれの端子からは映像信号が出力されません。

## ネットワークと映像出力の組み合わせ

SDI	HDMI	VIDEO	有線LAN	モデム	無線LAN	LCDモニター
ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	
ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	省電力モード
ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	省電力モード
OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	省電力モード
OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	省電力モード
OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	省電力モード
OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	省電力モード
OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON	
OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	

### ご注意

- 省電力モードでは、液晶画面の明るさが暗くなります。

## 記録機能間の制約

Recordingメニュー	S&Q Motion	Interval Rec	Picture Cache Rec	Clip Continuous Rec	Simul Rec	4K & HD(Sub) Rec	Proxy Rec
S&Q Motion	-	×	×	×	×	×	×
Interval Rec	×	-	×	×	×	×	×
Picture Cache Rec	×	×	-	×	×	×	×
Clip Continuous Rec	×	×	×	-	×	×	○
Simul Rec	×	×	×	×	-	×	×
4K & HD(Sub) Rec	×	×	×	×	×	-	×
Proxy Rec	×	×	×	○	×	×	-

○：使用できる、×：使用できない

# All File/Scene Fileに保存される項目

## 表凡例

○：ファイルに保存されます

×：ファイルに保存されません

-：ファイルに保存されません（一時的動作メニュー）

## Camera

細目1	細目2	All File	Scene File
Focus	Face Detection AF	○	×
ND Filter	Preset1	○	○
	Preset2	○	○
	Preset3	○	○
Gain	Gain<L>	○	○
	Gain<M>	○	○
	Gain<H>	○	○
	Gain <Turbo>	○	○
	High Sensitivity Mode	○	○
	Shockless Gain	○	○
Shutter	Mode	○	○
	Shutter Speed	○	○
	Shutter Angle	○	○
	ECS	○	○
	ECS Frequency	○	○
Auto Exposure	Level	○	○
	Mode	○	○
	Speed	○	○
	Auto ND Filter	○	○
	AGC	○	○
	AGC Limit	○	○
	AGC Point	○	○
	Auto Shutter	○	○
	A.SHT Limit	○	○
	A.SHT Point	○	○
	Clip High light	○	×
	Detect Window	○	×
	Detect Window Indication	○	○
	Average Peak Level Ratio	○	×
	Custom Width	○	×
Custom Height	○	×	
Custom H Position	○	×	
Custom V Position	○	×	

細目1	細目2	All File	Scene File
Color Bars	Setting	×	×
	Type	○	×
Flicker Reduce	Mode	○	×
	Frequency	○	×
Flash Band Reduce	Setting	×	×
Handle Zoom	Setting	○	×
	High	○	×
	Low	○	×
Auto Black Balance	Auto Black Balance	-	-
Auto FB Adjust	Auto FB Adjust	-	-
Video Light Set	Video Light Set	○	×

## Paint

1) : FileメニューのScene FileのScene White DataがOffのときは保存されません。

細目1	細目2	All File	Scene File
HDR Paint Setting	HLG Type	○	○
	HDR Black Offset	○	○
	HDR Knee	○	○
	HDR Knee Point	○	○
	HDR Knee Slope	○	○
White	Preset White	○	×
	Color Temp <A>	○	○ <sup>1)</sup>
	Color Temp Balance <A>	○	○ <sup>1)</sup>
	R Gain <A>	○	○ <sup>1)</sup>
	B Gain <A>	○	○ <sup>1)</sup>
	Color Temp <B>	○	○ <sup>1)</sup>
	Color Temp Balance <B>	○	○ <sup>1)</sup>
	B Gain <B>	○	○ <sup>1)</sup>
White Setting	Shockless White	○	×
	ATW Speed	○	×
	ATW Mode	○	○
	White Switch<B>	○	○
	Filter White Memory	○	×
Offset White	Offset White <A>	○	×
	Warm Cool <A>	○	×
	Warm Cool Balance <A>	○	×
	Offset White <B>	○	×
	Warm Cool <B>	○	×
	Warm Cool Balance <B>	○	×
	Offset White<ATW>	○	×
	Warm Cool<ATW>	○	×
Warm Cool Balance<ATW>	○	×	
Black	Setting	○	○
	Master Black	○	○



細目1	細目2	All File	Scene File
Gamma	Setting	○	○
	Master Gamma	○	○
	Gamma Category	○	○
	Gamma Select	○	○
Black Gamma	Setting	○	○
	Range	○	○
	Master Black Gamma	○	○
Low Key Saturation	Setting	○	○
	Level	○	○
	Range	○	○
Saturation Mode	Saturation Mode	○	○
	Knee Saturation	○	○
	Black Gamma	○	○
	Low Key Saturation	○	○
Noise Suppression	Setting	○	○
	Level	○	○
Knee	Setting	○	○
	Auto Knee	○	○
	Point	○	○
	Slope	○	○
	Knee Saturation	○	○
	Knee Saturation Level	○	○
White Clip	Setting	×	○
	Level	○	○
Detail(QFHD)	Manual Setting	○	○
	Level	○	○
	H/V Ratio	○	○
	Crispeneing	○	○
	Frequency	○	○
	Knee Aperture	○	○
	Knee Aperture Level	○	○
	White Limit	○	○
	Black Limit	○	○
V Detail Creation	○	○	
Detail(HD)	Manual Setting	○	○
	Level	○	○
	H/V Ratio	○	○
	Crispeneing	○	○
	Frequency	○	○
	Knee Aperture	○	○
	Knee Aperture Level	○	○
	White Limit	○	○
	Black Limit	○	○
V Detail Creation	○	○	

細目1	細目2	All File	Scene File
Detail(SD)	Manual Setting	○	○
	Level	○	○
	H/V Ratio	○	○
	Crispeneing	○	○
	Frequency	○	○
	Knee Aperture	○	○
	Knee Aperture Level	○	○
	White Limit	○	○
	Black Limit	○	○
V Detail Creation	○	○	
Skin Detail	Setting	○	○
	Area Detection	-	-
	Area Indication	×	×
	Level	○	○
	Saturation	○	○
	Hue	○	○
	Width	○	○
Aperture	Setting	○	○
	Level	○	○
Matrix	Setting	○	○
	Adaptive Matrix	○	○
	Preset Matrix	○	○
	Preset Select	○	○
	User Matrix	○	○
	User Matrix Level	○	○
	User Matrix Phase	○	○
	User Matrix R-G	○	○
	User Matrix R-B	○	○
	User Matrix G-R	○	○
	User Matrix G-B	○	○
	User Matrix B-R	○	○
User Matrix B-G	○	○	
Multi Matrix	Setting	○	○
	Area Indication	×	×
	Color Detection	-	-
	Reset	-	-
	Axis	×	×
	Hue	○	○
	Saturation	○	○
Maintenance	Test Saw	○	×

## Audio

細目1	細目2	All File	Scene File
Audio Input	CH2 EXT Input Select	○	×
	CH3 Input Select	○	×
	CH4 Input Select	○	×
	INPUT1 MIC Reference	○	×
	INPUT2 MIC Reference	○	×
	Internal MIC Level	○	×
	Line Input Reference	○	×
	Reference Level	○	×
	CH1 Wind Filter	○	×
	CH2 Wind Filter	○	×
	CH3 Wind Filter	○	×
	CH4 Wind Filter	○	×
	Limiter Mode	○	×
	CH1&2 AGC Mode	○	×
	CH3&4 AGC Mode	○	×
AGC Spec	○	×	
1kHz Tone on Color Bars	○	×	
Audio Output	Monitor CH	○	×
	Headphone Out	○	×
	Alarm Level	○	×
	HDMI Output CH	○	×
	Analog Output CH	○	×

## Video

細目1	細目2	All File	Scene File
Output On/Off	SDI	○	×
	HDMI	○	×
	VIDEO	○	×
Output Format	SDI	○	×
	HDMI	○	×
	VIDEO	×	×
Output Display	SDI/HDMI/VIDEO	○	×
SDI/HDMI Rec Control	Setting	○	×
Down Converter	Down Converter	○	×

## LCD/VF

細目1	細目2	All File	Scene File
LCD Setting	Brightness	○	×
VF Setting	Brightness	○	×
	Color Mode	○	×

細目1	細目2	All File	Scene File
Peaking	Setting	○	×
	Type	○	×
	Normal Peaking Frequency	○	×
	Normal Peaking Level	○	×
	Color	○	×
Marker	Color Peaking Level	○	×
	Setting	○	×
	Color	○	×
	Center Marker	○	×
	Safety Zone	○	×
	Safety Area	○	×
	Aspect Marker	○	×
	Aspect Mask	○	×
	Aspect Safety Zone	○	×
	Aspect Safety Area	○	×
	Aspect Select	○	×
	Guide Frame	○	×
	100% Marker	○	×
	User Box	○	×
	User Box Width	○	×
User Box Height	○	×	
User Box H Position	○	×	
User Box V Position	○	×	
Zebra	Setting	○	×
	Zebra Select	○	×
	Zebra1 Level	○	×
	Zebra1 Aperture Level	○	×
	Zebra2 Level	○	×
Gamma Display Assist	Setting	○	×

細目1	細目2	All File	Scene File
Display On/Off	Network Status	○	×
	File Transfer Status	○	×
	Rec/Play Status	○	×
	Tally	○	×
	NCM/Streaming Status	○	×
	Battery Remain	○	×
	Focus Mode	○	×
	Focus Position	○	×
	Focus Macro	○	×
	Face Detection Frame	○	×
	Lens Info	○	×
	Rec Format	○	×
	Frame Rate	○	×
	Zoom Position	○	×
	Digital Extender	○	×
	GPS	○	×
	SteadyShot	○	×
	Gamma	○	×
	SDI/HDMI Rec Control	○	×
	Gamma Display Assist	○	×
	Proxy Status	○	×
	Focus Assist Indicator	○	×
	Focus Assist Area	○	×
	Media Status	○	×
	Video Signal Monitor	○	×
	Clip Name	○	×
	White Balance	○	×
	Scene File	○	×
	Auto Exposure Mode	○	×
	Auto Exposure Level	○	×
	Timecode	○	×
	ND Filter	○	×
	Iris	○	×
	Gain	○	×
	Shutter	○	×
	Audio Level Meter	○	×
Video Level Warning	○	×	
Clip Number	○	×	
Notice Message	○	×	

## TC/UB

細目1	細目2	All File	Scene File
Timecode	Mode	○	×
	Run	○	×
	Setting	×	×
	Reset	–	–
	TC Format	○	×
Users Bit	Mode	○	×
	Setting	×	×
HDMI TC Out	Setting	○	×

## Recording

細目1	細目2	All File	Scene File
S&Q Motion	Setting	○	×
	Frame Rate	○	×
Interval Rec	Setting	×	×
	Interval Time	○	×
	Number of Frames	○	×
	Pre-Lighting	○	×
Picture Cache Rec	Setting	○	×
	Cache Rec Time	○	×
Clip Continuous Rec	Setting	○	×
	Find Mode	○	×
Simul Rec	Setting	○	×
	Rec Button Set	○	×
4K & HD (Sub) Rec	Setting	○	×
Proxy Rec	Setting	○	×
	Proxy Format	○	×
	Audio Channel	○	×
Rec Review	Setting	○	×

## Thumbnail

細目1	細目2	All File	Scene File
Display Clip Properties	–	–	–
Set Shot Mark	Delete Shot Mark1	–	–
	Delete Shot Mark2	–	–
Set Clip Flag	Add OK	–	–
	Add NG	–	–
	Add KEEP	–	–
	Delete Clip Flag	–	–

細目1	細目2	All File	Scene File
Lock/Unlock Clip	Select Clip	-	-
	Lock All Clips	-	-
	Unlock All Clips	-	-
Delete Clip	Select Clip	-	-
	All Clips	-	-
Copy Clip	Select Clip	-	-
	All Clips	-	-
Copy Sub Clip	All Clips	-	-
Set Index Picture	-	-	-
Thumbnail View	Essence Mark Thumbnail	-	-
	Clip Thumbnail	-	-
Filter Clips	OK	-	-
	NG	-	-
	KEEP	-	-
	None	-	-
	All	-	-
Customize View	Thumbnail Caption	○	○

## Media

細目1	細目2	All File	Scene File
Update Media	Media(A)	-	-
	Media(B)	-	-
Format Media	Media(A)	-	-
	Media(B)	-	-
	Utility SD/MS	-	-
USB	Select Folder	-	-
	View Clip List	-	-
	Rename Folder	-	-
	Error Check	○	×
	Format USB	-	-
	Copy to USB	-	-
	Media Remain	-	-
Clip Naming	Auto Naming	○	×
	Title Prefix	○	×
	Number Set	×	×
Planning Metadata	Load Media(A)	-	-
	Load Media(B)	-	-
	Properties	-	-
	Clear Memory	-	-
	Clip Name Display	○	×

## File

細目1	細目2	All File	Scene File
User File	Load Utility SD/MS	–	–
	Save Utility SD/MS	–	–
	File ID	×	×
	Load Customize Data	○	×
	Load White Data	○	×
All File	Load Utility SD/MS	–	–
	Save Utility SD/MS	–	–
	File ID	○	×
	Load Network Data	×	×
Scene File	Recall Internal Memory	–	–
	Store Internal Memory	–	–
	Load Utility SD/MS	–	–
	Save Utility SD/MS	–	–
	File ID	×	○
	Scene White Data	○	×

## Network

細目1	細目2	細目3	All File	Scene File
Access Authentication	User Name	–	×	×
	Password	–	×	×
Wireless LAN	Setting	–	○	×
	WPS	–	–	–
	NFC	–	–	–
	MAC Address	–	–	–
AP Mode Settings	Channel	–	○	×
	Camera SSID & Password	–	–	–
	Regenerate Password	–	–	–
	IP Address	–	–	–
	Subnet Mask	–	–	–



細目1	細目2	細目3	All File	Scene File
ST Mode Settings	Camera Remote Control	-	○	×
	Connected Network	SSID	○	×
		Security	○	×
		Password	×	×
		DHCP	○	×
		IP Address	○	×
		Subnet Mask	○	×
		Gateway	○	×
		DNS Auto	○	×
		Primary DNS Server	○	×
	Secondary DNS Server	○	×	
	Scan Networks	SSID	○	×
		Security	○	×
		Password	×	×
		DHCP	○	×
		IP Address	○	×
		Subnet Mask	○	×
		Gateway	○	×
		DNS Auto	○	×
		Primary DNS Server	○	×
	Secondary DNS Server	○	×	
	Manual Register	SSID	○	×
		Security	○	×
		Password	×	×
		DHCP	○	×
		IP Address	○	×
		Subnet Mask	○	×
		Gateway	○	×
		DNS Auto	○	×
		Primary DNS Server	○	×
Secondary DNS Server	○	×		
Wired LAN	Setting	-	○	×
	Camera Remote Control	-	○	×
	Detail Settings	DHCP	○	×
		IP Address	○	×
		Subnet Mask	○	×
		Gateway	○	×
		DNS Auto	○	×
		Primary DNS Server	○	×
	Secondary DNS Server	○	×	

細目1	細目2	細目3	All File	Scene File	
Modem	Setting	–	○	×	
	Modem1 Device Name	–	–	–	
	Modem1 IP Address	–	–	–	
	Modem1 Subnet Mask	–	–	–	
	Modem2 Device Name	–	–	–	
	Modem2 IP Address	–	–	–	
Network Client Mode	Setting	–	○	×	
	NCM Settings Select	–	○	×	
	NCM Settings1	Display Name	–	○	×
		CCM Address	–	○	×
		CCM Port	–	○	×
		User Name	–	×	×
		Password	–	×	×
		CCM Certificate	–	×	×
		CCM Certificate Status	–	×	×
		Camera Control	–	○	×
		Camera Setting	–	×	×
	Reset	–	–	–	
	NCM Settings2	NCM Settings1に同じ			
NCM Settings3	NCM Settings1に同じ				
File Transfer	Auto Upload (Proxy)	–	○	×	
	Auto Upload Server	–	○	×	
	Clear Completed Jobs	–	–	–	
	Clear All Jobs	–	–	–	
	Server Settings(NCM)	Display Name	–	○	–
		Service	–	○	–
	Server Settings1	Display Name	–	○	×
		Service	–	○	×
		Host Name	–	○	×
		Port	–	○	×
		User Name	–	×	×
		Password	–	×	×
		Passive Mode	–	○	×
		Destination Directory	–	○	×
		Using Secure Protocol	–	○	×
		Root Certificate	–	×	×
	Root Certificate Status	–	×	×	
Reset	–	–	–		
Server Settings2	Server Settings 1に同じ				
Server Settings3	Server Settings 1に同じ				

細目1	細目2	細目3	All File	Scene File	
Streaming	Setting	–	×	×	
	Destination Select	–	○	×	
	Destination Settings1	Display Name		○	×
		Streaming Type		○	×
		Streaming Format		○	×
		Audio Channel		○	×
		Destination Address		○	×
		Destination Port		○	×
Reset		–	–		
Destination Settings2	Destination Settings1に同じ				
Destination Settings3	Destination Settings1に同じ				
Network Reset	Reset	–	–	–	

## System

細目1	細目2	All File	Scene File
Base Setting	Shooting Mode	○	×
HDR Setting	Rec/Out	○	×
Rec Format	Frequency	○	×
	File System	○	×
	Codec	○	×
	Video Format	○	×
	Aspect Ratio (SD)	○	×
Assignable Button	<1>	○	×
	<2>	○	×
	<3>	○	×
	<4>	○	×
	<5>	○	×
	<6>	○	×
	<7>	○	×
	<8>	○	×
	<9>	○	×
	<10>	○	×
Tally	Front	○	×
	Rear	○	×
Language	Select	○	×
Clock Set	Time Zone	○	×
	Date Mode	○	×
	12H/24H	○	×
	Date	–	–
	Time	–	–
Hours Meter	Hours(System)	–	–
	Hours(Reset)	–	–
	Reset	–	–
GPS	GPS	○	×

細目1	細目2	All File	Scene File
Battery Alarm	Low Battery	○	×
	Battery Empty	○	×
DC Voltage Alarm	DC Low Voltage1	○	×
	DC Low Voltage2	○	×
Menu Settings	Direct Menu with <SET>	○	×
	User Menu Only	○	×
	User Menu with Lock	×	×
Fan Control	Setting	○	×
All Reset	Reset	-	-
	Reset without Network	-	-
Version	Version Number	-	-
	Version Up	-	-

# トラブル時の対処

## 電源

症状	原因	対策
電源が入らない。	バッテリーパックからの電源、DC IN電源のどちらも供給されていない。	バッテリーパックを取り付ける（20ページ）か、ACアダプターを使用してAC電源に接続する（21ページ）。
	バッテリーパックが完全に消耗している。	充電済みのバッテリーパックと交換する（20ページ）。
電源が途中で切れる。	バッテリーパックが消耗している。	充電済みのバッテリーパックと交換する（20ページ）。
バッテリーパックがすぐ消耗する。	温度が極端に低いところで使用している。	バッテリーパックの特性によるもので、故障ではありません。
	充電が不充分。	バッテリーパックをもう一度充電し直す（20ページ）。フル充電してもすぐに消耗する場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックに交換してください。

## 記録・再生

症状	原因	対策
録画ボタンを押しても記録が始まらない。	SxSメモリーカードがプロテクトされている。	プロテクトを解除するか、またはプロテクトされていないSxSメモリーカードに交換する。
	SxSメモリーカードの容量がいっぱいになっている。	十分な空き容量のあるSxSメモリーカードに交換する。
	修復が必要なSxSメモリーカードが入っている。	SxSメモリーカードを修復する（25ページ）。
音声記録できない。	AUDIO LEVEL（CH1/CH2/CH3/CH4）ダイヤルが最小の位置になっている。	AUDIO LEVEL（CH1/CH2/CH3/CH4）ダイヤルを調節する（37ページ）。
記録した音声がひずんでいる。	音声レベルが高すぎる。	AUDIO LEVEL（CH1/CH2/CH3/CH4）ダイヤルを調節する（37ページ）。
雑音が多い。	音声レベルが低すぎる。	AUDIO LEVEL（CH1/CH2/CH3/CH4）ダイヤルを調節する（37ページ）。外部マイク選択時は、AudioメニューのAudio InputのINPUT MIC Referenceの設定値も調節する（113ページ）。

症状	原因	対策
クリップを再生できない。	クリップが編集されている。	コンピューターでフォルダーやファイル名を変更したり、クリップを加工したりすると、再生できない場合があります。故障ではありません。
	クリップが他機で記録されている。	他機で記録したクリップは、再生できなかったり、正しいサイズで表示されなかったりすることがあります。故障ではありません。

## 外部機器

症状	対策
本機がコンピューターに認識されない。	コンピューターからUSBケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。 コンピューターからUSBケーブルを抜き、コンピューターを再起動してから正しい手順でもう一度コンピューターと本機をつなぐ。
クリップがコンピューターに取り込めない。	コンピューターからUSBケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。 クリップをコンピューターに取り込むにはアプリケーションソフトウェアのダウンロードが必要です (92ページ)。

## ワイヤレスLAN使用時

### ご注意

- 本機とワイヤレスLANアクセスポイントまたは端末機器間の障害物や電波状況、壁の材質など、周囲の環境によって通信可能距離が短くなったり、接続できなくなったりすることがあります。本機の場所を移動するなど、本機とアクセスポイントまたは端末機器の距離を近づけて、接続/通信状態を確認してください。

症状	対策
端末機器から本機にアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワイヤレスLANの接続(IPアドレスなど)を確認してください</li> <li>アクセスポイントのクライアント間の通信設定が無効になっている可能性があります。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。</li> </ul>
ログインできない	登録したユーザー名、パスワードが正しいか確認してください。
Webリモコンが表示できない	IPアドレスを確認してください。

## インターネット接続

症状	対策
ファイル転送が失敗する	サーバーのユーザー名/パスワードが間違っている可能性があります。正しい値を入力してください。
ファイル転送ができない	3G/4Gの電波状態が悪い可能性があります。移動して再度試してください。

## NDフィルターダイヤルについて

NDフィルターが動かない場合は、次の作業により、手動でClearの位置に移動させることができます。

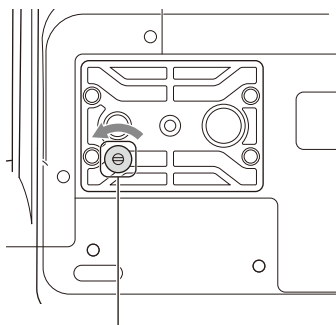
1. 本機の電源スイッチをSTANDBYにする。

2. 底面の丸いフタを外す。

3. ドライバーを穴に差し込んで左に回す。

左に回すことで、NDフィルターがCLEAR側に動きます。CLEARの位置になるまで回し続けてください。

φ2.4以下のマイナスドライバーを使用してください。ドライバー挿入部の深さは約3.2cmです。



ドライバー挿入部（フタを外した状態）

4. ND FILTERモード切り替えスイッチ（8ページ）をPRESETの位置にして、ND FILTERスイッチ（8ページ）をCLEARの位置にする。

### ご注意

- 上記の作業は、通常の動作時には行わないでください。NDフィルターが動かなくなった場合のみに行ってください。通常の動作時に行うと、NDユニットが故障するおそれがあります。
- 上記の作業を行ったあと、サービスセンターで本機を修理してください。
- 上記の作業を行ってもエラーメッセージが出たままの場合がありますが、撮影は可能です。

## エラー/警告表示

本機では警告、注意、動作確認などが必要な状況では、ビューファインダー画面のメッセージ表示、記録/タリーランプの点滅、および警告音で対応します。

警告音は、内蔵スピーカーまたはヘッドホン端子に接続したヘッドホンに出力します。

### エラー表示

次のような表示が出た場合は、本機は動作を停止します。

液晶画面/ビューファインダー警告表示	警告音	記録/タリーランプ	原因と対策
E+エラーコード	断続音	高速点滅	本体の異常の可能性があります。ビューファインダー画面上に●Recと表示されていても記録は止まっています。 電源を切り、接続している機器やケーブル類、メディアに異常がないか確認してください。これらに異常がないときは、再度電源を入れ、エラーが継続する場合はソニーのサービス窓口にご連絡ください。 (電源スイッチをSTANDBYにしても電源が切れない場合は、バッテリーパックやDC IN電源も外してください。) 本機の状態によっては、エラー表示や警告音が出ない場合があります。

### 警告表示

次のような表示が出た場合は、メッセージに従って対策してください。

液晶画面/ビューファインダー警告表示	警告音	記録/タリーランプ	原因と対策
Battery Near End	断続音	点滅	バッテリーパックの残量が少なくなっています。 早い機会に充電してください。
Battery End	連続音	高速点滅	バッテリーパックが消耗しました。記録はできません。 いったん操作を中止し、バッテリーパックを交換してください。
Temperature High	断続音	点滅	内部温度が上昇しました。 いったん電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。
Voltage Low	断続音	点滅	DC IN電圧が低くなっています(段階1)。供給電源を確認してください。
Insufficient Voltage	連続音	高速点滅	DC IN電圧が低すぎます(段階2)。記録はできません。 他の電源に接続し直してください。



液晶画面/ビューファインダー警告表示	警告音	記録/タ リーラン プ	原因と対策
Media Near Full	断続音	点滅	SxSメモリーカードの残量が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
Media Full	連続音	高速点滅	SxSメモリーカードの残量がないため、記録、コピー、クリップ分割はできません。 交換してください。
Clips Near Full	断続音	点滅	SxSメモリーカードに記録できる残りのクリップ数が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
Clips Full	連続音	高速点滅	SxSメモリーカードに記録できるクリップ数の上限に達しました。 これ以上記録やコピーはできません。交換してください。
Last Clip Recording	断続音	点滅	記録中のクリップの記録を完了すると、記録可能なクリップ数の上限に達します。 新しいSxSメモリーカードをご用意ください。
Media(A) <sup>1)</sup> Near Full	断続音	点滅	同時記録機能使用時
Media(A) <sup>1)</sup> Full	連続音	高速点滅	同時記録機能使用時
Media(A) <sup>1)</sup> Clips Near Full	断続音	点滅	同時記録機能使用時
Media(A) <sup>1)</sup> Clips Full	連続音	高速点滅	同時記録機能使用時
Media(A) <sup>1)</sup> Last Clip Rec	断続音	点滅	同時記録機能使用時

1) スロットBに入れたカードの場合は(B)

## 注意・動作確認表示

画面中央部分に次のような注意・動作確認表示が現れることがあります。この場合は次表に従って対処してください。

表示内容	原因と対策
Battery Error Please Change Battery	バッテリーパックに異常が検出されました。 正常なバッテリーパックに交換してください。
Unknown Media(A) <sup>1)</sup> Please Change	パーティションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を超過して記録されたメモリーカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換してください。
Cannot Use Media(A) <sup>1)</sup> Unsupported File System	ファイルシステムの異なるカードまたはフォーマットされていないカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換または本機でフォーマットしてください。
Media Error Media(A) <sup>1)</sup> Needs to be Restored	メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。 メモリーカードの修復を行ってください。
Media Error Cannot Record to Media(A) <sup>1)</sup>	メモリーカードが故障して、記録ができなくなりました。 再生は可能ですので、コピーをとるなどして、新しいメモリーカードに交換することをお勧めします。

表示内容	原因と対策
Media Error Cannot Use Media(A) <sup>1)</sup>	メモリーカードが故障して記録も再生もできなくなりました。 本機では扱えませんので、他のカードに交換してください。
Media(A) <sup>1)</sup> Error Recording Halted Playback Halted	メモリーカードに異常が発生したため、記録または再生が停止しました。 頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。
Media Reached Rewriting Limit Change Media(A) <sup>1)</sup>	メモリーカードの寿命がきました。 バックアップをとり、速やかに交換してください。継続して使用すると、正常に記録・再生できない可能性があります。 ◆ 詳しくは、メモリーカードの取扱説明書を参照してください。
Copy All Sub Clips NG: Reached Clip Number Limit NG: Same File Already Exists NG: Not Enough Capacity	Copy All Sub Clipsの全コピーが、表示されている理由で完了しませんでした。 <ul style="list-style-type: none"> <li>最大クリップ数になった</li> <li>同名のファイルが存在する</li> <li>メディアの残量が足りない</li> </ul> メディアを交換してください。
Invalid setting value was reset: Media/Clip Naming/Camera Position Please save All File again	不正なAllファイルが呼び出されたため、Clip Namingの設定値をリセットしました。 希望の設定値に合わせて、再度Allファイルの保存を実行してください。
The specified address is invalid.	指定したアドレスが間違っています。 正しく設定しているか確認してください。
Cannot Use Specified Port Number	指定したポート番号が間違っています。 正しく設定しているか確認してください。
Accessing the memory card failed.	メモリーカードへのアクセスに失敗しました。 XAVC-I 3840×2160P 59.94/50Pで記録中は、UTILITY SD/MSスロットのメディアへのアクセスができないため、本エラーが出る可能性があります。記録終了後に再設定してください。
Failed.	DHCP Onでアドレスが割り当てられない場合、本エラーが出る可能性があります。 DHCPサーバーの設定を確認してください。
Cannot add auto upload job of Proxy file because maximum number of upload jobs was reached.	転送ジョブの数が上限に達しています。 不要なジョブをクリアしてください。また、プロキシーファイルの自動転送先設定が間違っている可能性があります。正しく設定しているか確認してください。
<SSID>Not found.	指定した<SSID>のネットワーク（アクセスポイント）が見つかりません。 正しく設定しているか確認してください。
<SSID>Authentication Failed	指定した<SSID>のネットワーク（アクセスポイント）の接続認証に失敗しました。 パスワードなどを正しく設定しているか確認してください。
An IP address conflict has occurred. Please check the network settings.	ワイヤレスLANと有線LANかモデム、またはモデム同士のネットワークアドレスが衝突しています。 アドレスを手動で変更するか、お使いのネットワークルーターの設定を変更してください。

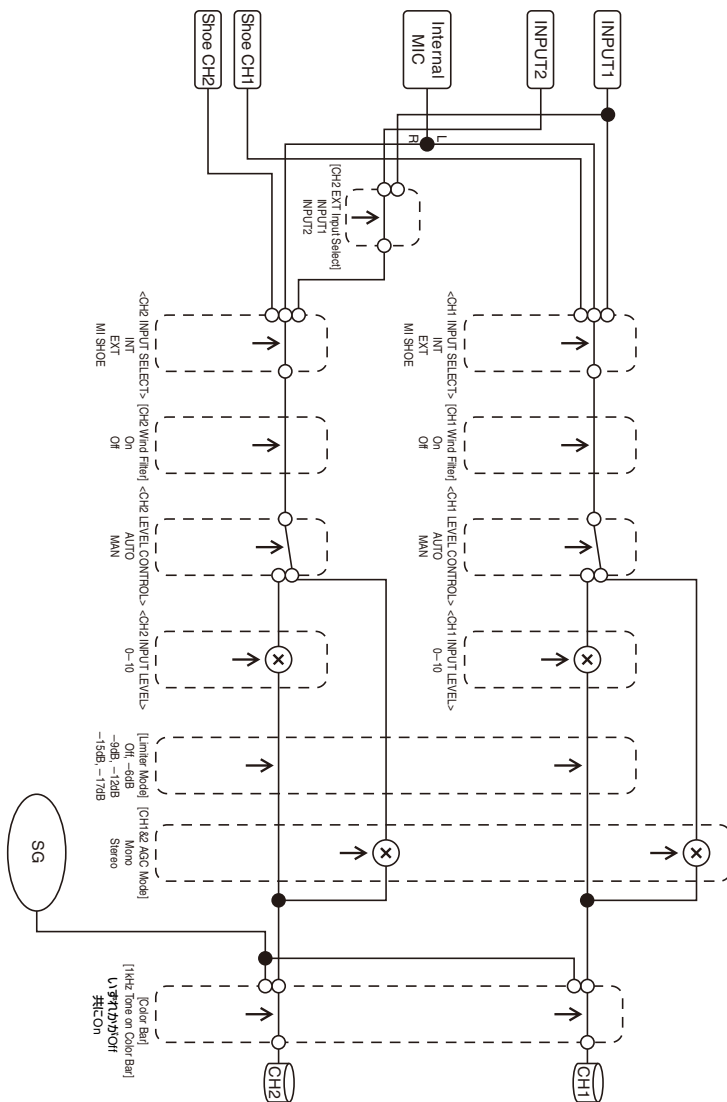
表示内容	原因と対策
The IP address of the Wireless LAN Access Point Mode has been changed due to an IP address conflict.	ワイヤレスLANアクセスポイントモードと有線LAN、またはモデムのネットワークアドレスが衝突したため、ワイヤレスLANアクセスポイントモードのIPアドレスを変更しました。 IPアドレスを確認してください。

1) スロットBに入れたカードの場合は(B)

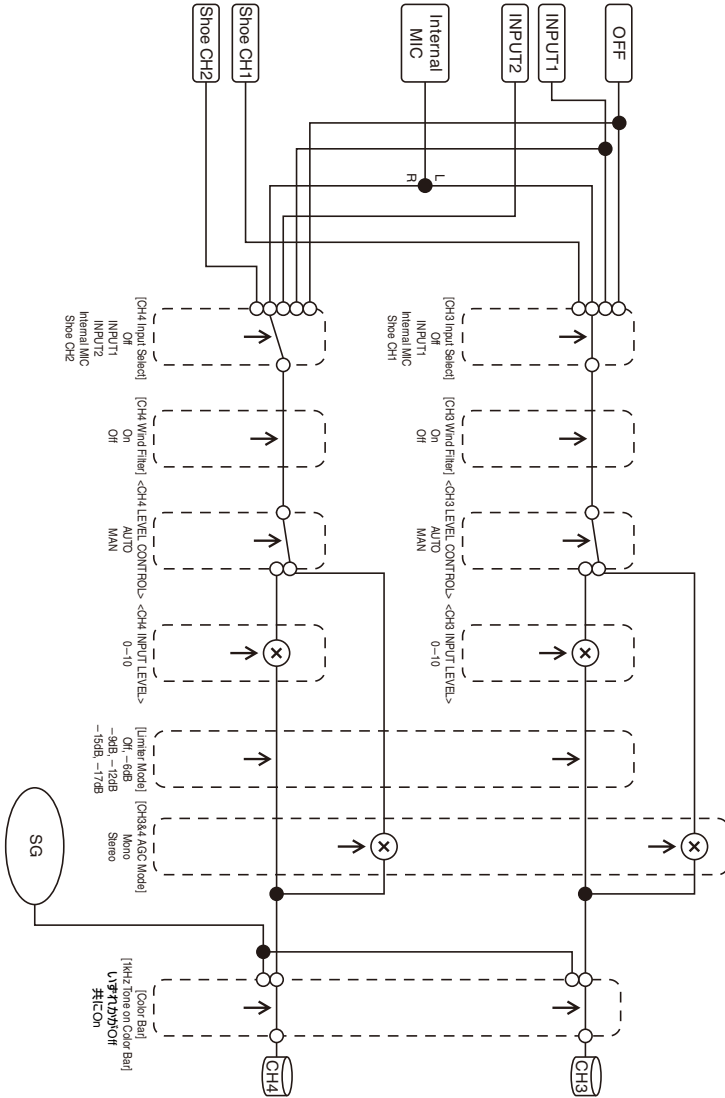
# ブロックダイアグラム

「記録する音声を設定する」(37ページ)と「セットアップメニュー一覧」(101ページ)の関連項目をあわせてご覧ください。

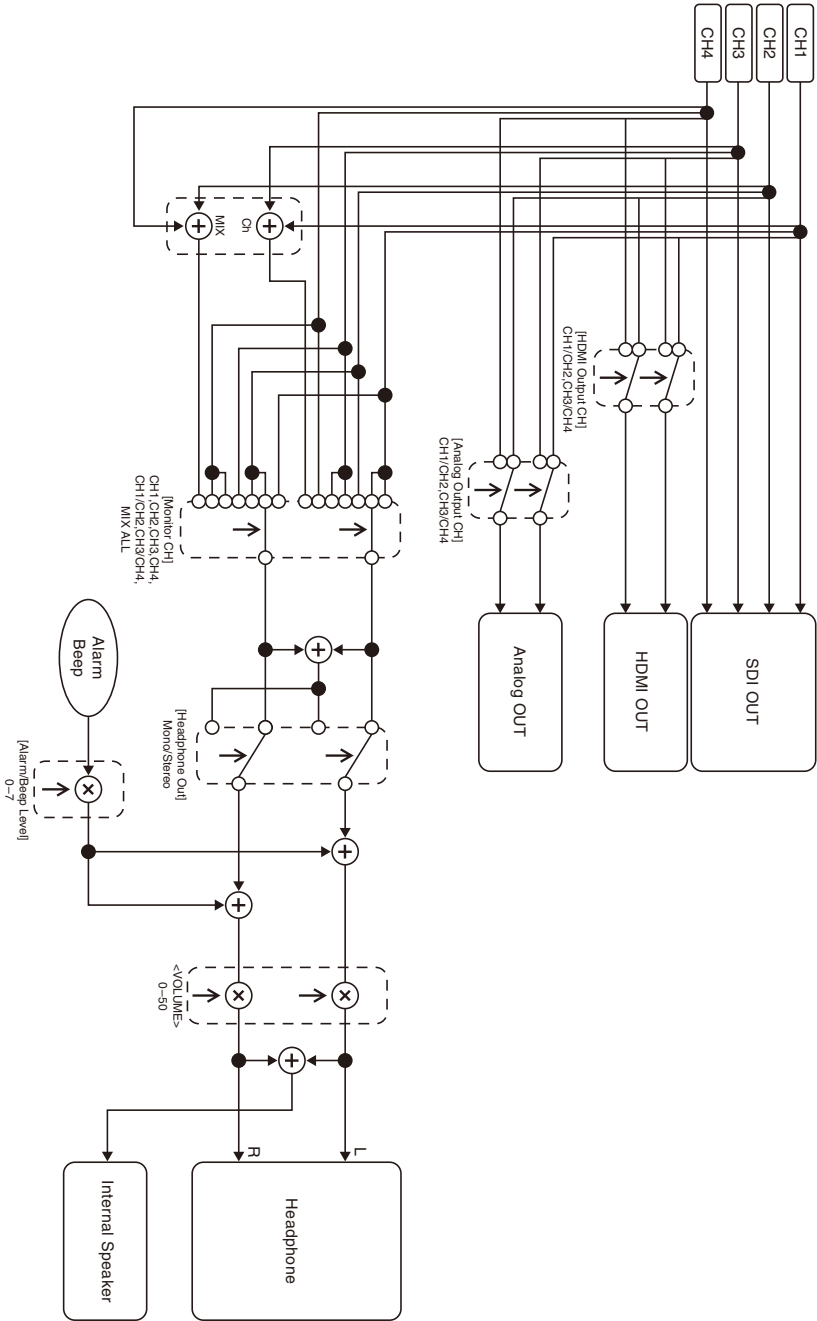
## Audio Input (CH1&2)



# Audio Input (CH3&4)



# Audio Output



# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

### それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

# 主な仕様

## 一般仕様

### 質量

約2.6 kg (本体のみ)  
約3.0 kg (レンズフード、アイカップ、  
バッテリーパックBP-U30、SxSメモ  
リーカード各1装着時)

### 外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)

178.4 mm × 202.0 mm × 426.3 mm  
最大外形寸法。奥行きはレンズフード  
前面から大型アイカップまでの長さ。

### 電源電圧

DC 12 V (11 V ~ 16.5 V)

### 消費電力

約24W  
記録時、液晶画面：Off、ビューファイン  
ダー：On、外部機器接続なし  
約36W  
記録時、液晶画面：On、ビューファイン  
ダー：On、HD SDI、HDMI、外部機  
器接続端子を使用  
約36W  
USBメディアへのコピー時

### 動作温度

0°C ~ 40°C

### 保存温度

-20°C ~ +60°C

### 連続動作時間

約3時間15分 (バッテリーパックBP-U90使  
用時)  
約2時間10分 (バッテリーパックBP-U60使  
用時)  
約1時間5分 (バッテリーパックBP-U30使  
用時)  
(記録時、液晶画面：Off、ビューファイン  
ダー：On、外部機器接続なし)

---

**記録フォーマット (ビデオ)****XAVC Intra**

XAVC-I QFHDモード：CBG、最大ビット  
レート600Mbps、MPEG-4 AVC/  
H.264

XAVC-I HDモード：CBG、最大ビットレ  
ート222Mbps、MPEG-4 AVC/H.264

**XAVC Long**

XAVC-L QFHDモード：VBR、最大ビット  
レート150Mbps、MPEG-4 H.264/  
AVC

XAVC-L HD 50モード：VBR、最大ビット  
レート50Mbps、MPEG-4 H.264/AVC

XAVC-L HD 35モード：VBR、最大ビット  
レート35Mbps、MPEG-4 H.264/AVC

XAVC-L HD 25モード：VBR、最大ビット  
レート25Mbps、MPEG-4 H.264/AVC

**MPEG-2 Long GOP**

MPEG HD422モード：CBR、最大ビット  
レート50Mbps、MPEG-2 422P@HL

MPEG HD420 HQモード：VBR、最大ビッ  
トレート35Mbps、MPEG-2 MP@HL

**DVCAM**

CBR、25Mbps

**Proxy**

AVC/H.264 Main Profile 4:2:0 Long GOP、  
VBR

1920x1080/9Mbps、1280x720/9Mbps、  
1280x720/6Mbps、640x360/3Mbps、  
480x270/1Mbps、480x270/500Kbps

---

**記録フォーマット (オーディオ)****XAVC Intra**

XAVC-I モード：LPCM 24ビット、48kHz、  
4チャンネル

**XAVC Long**

XAVC-Lモード：LPCM 24ビット、48kHz、  
4チャンネル

**MPEG-2 Long GOP**

MPEG HD422 モード：LPCM 24ビット、  
48kHz、4チャンネル

MPEG HD420 HQ モード：LPCM 16ビッ  
ト、48kHz、4チャンネル

**DVCAM**

LPCM 16ビット、48kHz、4チャンネル

**Proxy**

AAC-LC、128 kbps、2チャンネル

---

---

**記録フレームレート****XAVC Intra**

XAVC-I QFHDモード：3840x2160/  
59.94P、50P、29.97P、23.98P、  
25P

XAVC-I HDモード：1920x1080/59.94P、  
59.94i、50P、50i、29.97P、  
23.98P、25P

1280x720/59.94P、50P

**XAVC Long**

XAVC-L QFHDモード：3840x2160/  
59.94P、50P、29.97P、23.98P、  
25P

XAVC-L HD 50モード：1920x1080/  
59.94P、50P、59.94i、50i、  
29.97P、23.98P、25P

1280x720/59.94P、50P

XAVC-L HD 35モード：1920x1080/  
59.94P、50P、59.94i、50i、  
29.97P、23.98P、25P

XAVC-L HD 25モード：1920x1080/  
59.94i、50i

**MPEG-2 Long GOP**

MPEG HD422 モード：1920x1080/59.94i、  
50i、29.97P、23.98P、25P

1280x720/59.94P、50P、29.97P、  
23.98P、25P

MPEG HD420 HQ モード：1920x1080/  
59.94i、50i、29.97P、23.98P、  
25P

1440x1080/59.94i、50i

1280x720/59.94P、50P

**DVCAM**

720x480/59.94i、29.97PsF  
720x576/50i、25PsF

---



---

## 記録・再生時間

### XAVC Intra

XAVC-I QFHDモード

約22分：SBP-128B（128GB）使用時

XAVC-I HD（1920x1080）モード

約57分：SBP-128B（128GB）使用時

XAVC-I HD（1280x720）モード

約105分：SBP-128B（128GB）使用時

### XAVC Long

XAVC-L QFHDモード

約86分：SBP-128B（128GB）使用時

XAVC-L HD 50モード

約230分：SBP-128B（128GB）使用時

XAVC-L HD 35モード

約310分：SBP-128B（128GB）使用時

XAVC-L 25モード

約420分：SBP-128B（128GB）使用時

### MPEG-2 Long GOP

MPEG HD422 モード

約215分：SBP-128B（128GB）使用時

MPEG HD420 HQ モード

約330分：SBP-128B（128GB）使用時

### DVCAM

約405分：SBP-128B（128GB）使用時

### 4K & HD (Sub) 記録

XAVC-I QFHDモード

約20分：SBP-128B（128GB）使用時

XAVC-L QFHDモード

約62分：SBP-128B（128GB）使用時

## ご注意

- 記録再生時間は、使用条件やメモリーの特性などにより、多少の誤差が生じる場合があります。

---

## レンズ

---

### レンズマウント

固定式

---

### ズーム比

17倍

---

---

## 焦点距離

5.6 mm ~ 95.2 mm

(35 mm換算 30.3 mm ~ 515 mm)

---

## フォーカス範囲

AF/MF/Full MF切り替え可能

800 mm ~ ∞ (マクロOFF)

50 mm ~ ∞ (マクロON、広角端)

800 mm ~ ∞ (マクロON、望遠端)

---

## 絞り

自動/手動切り替え可能

F1.9 ~ F16およびC (クローズ)

---

## 手ぶれ補正

ON/OFF可能、シフトレンズ方式

---

## フィルター径

M77 mm、ピッチ0.75 mm

---

## マクロ

ON/OFF可能

---

---

## カメラ部

---

### 撮像素子

1/2型 ExmorR 3CMOSセンサー

---

### 有効画素数

3840 (H) × 2160 (V)

---

### 分光系

F1.6 プリズムシステム

---

### 内蔵フィルター

NDフィルター

CLEAR: クリア

1: 1/4ND

2: 1/16ND

3: 1/64ND

リアア可変ND (1/4ND~1/128ND相当)

---

### 感度 (2000ルクス、89.9%反射)

F12 (標準、1920x1080/59.94pモード)

F13 (標準、1920x1080/50pモード)

F12 (標準、3840x2160/59.94p、高感度モード)

F13 (標準、3840x2160/50p、高感度モード)

---

### 最低被写体照度

0.0013 lx (標準、1920x1080/59.94i)

(F1.9、+42dB、高感度モード、64フレーム蓄積)

---

### SN比

63 dB (Y) (標準)

---

---

## 水平解像度

2000 TV本以上 (3840x2160pモード)  
1000 TV本以上 (1920x1080Pモード)

---

## シャッタースピード

64F ~ 1/8000秒

---

## スロー&クイックモーション

XAVC Intra、XAVC Long  
2160P : 1~60フレーム  
1080P : 1~60フレーム  
720P : 1~60フレーム

### MPEG HD422

1080P : 1~30フレーム  
720P : 1~60フレーム

### MPEG HD420 HQ

1080P : 1~30フレーム  
720P : 1~60フレーム

---

## ホワイトバランス

プリセットモード (3200K)、  
メモリー Aモード、メモリー Bモード/  
ATWモード

---

## ゲイン

-3、0、3、6、9、12、15、18 dB、42dB  
(Turbo Gain ON)、AGC

---

## ガンマカーブ

切り替え可能

---

## ワイヤレスLAN

---

### 対応規格

IEEE 802.11a/b/g/n/ac

---

### 使用周波数帯

2.4GHz帯  
5.2/5.3/5.6GHz帯

---

### セキュリティー

WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK  
NFCフォーラム Type 3 Tag準拠

---

## 入出力

---

### オーディオ入力

XLR型3ピン (2)、凹型、LINE/MIC/  
MIC+48V切り替え可能  
LINE : +4dBu/0dBu/-3dBu(EBUL) / 10 k $\Omega$   
MIC : -80dBu ~ -30dBu / 3 k $\Omega$   
(基準レベル 0 dBu=0.775 Vrms)

---

### オーディオ出力

マルチ/マイクロUSB

---

---

## ビデオ出力

BNC型 (1)、GENLOCK IN端子と切り替え  
可能、HD-Y/HD-SYNC/コンポジット  
信号  
1.0 Vp-p、75  $\Omega$

---

## SDI出力

BNC型 (1)、12G/3G/HD/SD切り替え可能

---

## タイムコード入力

BNC型 (1)、TC OUT端子と切り替え可能  
0.5 V ~ 18 Vp-p、3.3 k $\Omega$

---

## タイムコード出力

BNC型 (1)、TC IN端子と切り替え可能  
1.0 Vp-p、75  $\Omega$

---

## GENLOCK入力

BNC型 (1)、VIDEO OUT端子と切り替え可  
能  
1.0 Vp-p、75  $\Omega$

---

## USB端子

マルチ/マイクロUSB (1)  
ホスト : USB 3.0/2.0 type A (1)、USB 2.0  
type A (1)

---

## ヘッドホン出力

ステレオミニジャック (1)  
-16dBu 16  $\Omega$

---

## スピーカー出力

モノラル  
出力 : 500 mW

---

## DC入力

DC ジャック

---

## HDMI出力

HDMIコネクタ (Type A)

---

## リモート端子

ステレオミニミニジャック ( $\phi$ 2.5 mm)

---

## 有線LAN端子

RJ-45 (1)、1000BASE-T、100BASE-T、  
10BASE-T

---

## 表示部

---

### ビューファインダー

画面サイズ : 1.3 cm (0.5型)  
有効画素数 : 約236万ドット

---

### 液晶画面

画面サイズ : 8.8 cm (3.5型)  
有効画素数 : 約156万ドット

---

## 内蔵マイク

### 内蔵マイク

無指向性ステレオエレクトレットコンデンサマイク

## メディアスロット部

### タイプ

ExpressCard/34 (2)、SD/MS (1)

## 付属品

USBケーブル (1)  
レンズフード (1)  
大型アイカップ (1)  
ショルダーストラップ (1)  
CD-ROM 「Operating instructions」 (1)  
ご使用になる前に (1)  
保証書 (1)

## ソフトウェアのダウンロードについて

本機をPCと接続して使用する際は、必要に応じてデバイスドライバーや各種プラグインソフトウェア、アプリケーションソフトウェアをソニープロフェッショナル/業務用製品サイトからダウンロードしてお使いください。

ソニープロフェッショナル/業務用製品サイト ホームページ：

アメリカ合衆国 <http://pro.sony.com>  
カナダ <http://www.sonybiz.ca>  
ラテンアメリカ <http://sonypro-latin.com>  
ヨーロッパ、中東、アフリカ  
<http://www.pro.sony.eu>  
日本 <http://www.sonybsc.com>  
アジア <http://pro.sony-asia.com>  
韓国 <http://bp.sony.co.kr>  
中国 <http://pro.sony.com.cn>

記録した素材は、情報が複数のファイル、複数のフォルダーにまたがって置かれていますが、専用アプリケーションソフトウェアでは、これらの情報やディレクトリー構

造を、ユーザーが意識することなく、容易に扱えるようになっています。

### ご注意

- Explorer (Windows環境) やFinder (Mac環境) を使用して、SxSメモリーカード内のクリップのコピーなどを行うと、クリップが持つ情報を保持できなくなることがあります。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機内、記録メディア、外部のストレージ等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

## 商標について

- “XDCAM”はソニー株式会社の商標です。
- “XAVC”および **XAVC** はソニー株式会社の登録商標です。
- XQD、および **XQD** はソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows MediaはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI

Licensing LLCの米国およびその国における登録商標です。

- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobat は、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他における登録商標または商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、“メモリースティック デュオ”、“メモリースティック PRO デュオ”、“Catalyst Browse”、“Content Browser Mobile”、“Content Browser Mobile”ロゴはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- SxS、SxS PRO、およびSxS-1はソニー株式会社の商標です。
- ExpressCardワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International Association (PCMCIA) の所有であり、ソニーへライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属します。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- iOSは、米国シスコの商標もしくは登録商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi PROTECTED SETUPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

---

## ライセンスに関する注意

---

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動をを行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致

したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいますが）にエンコードすること。

(ii) AVC VIDEO（消費者が個人的又は他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

## GPL/LGPL 適用ソフトウェアの入手について

本製品はGPL/LGPL適用のソフトウェアを使用しており、お客様には、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。これらのソースコードはインターネットのサーバーからダウンロードすることが可能です。以下のURLにアクセスすれば、具体的なダウンロードの方法がわかるようになっております。

<http://www.sony.net/Products/Linux/common/search.html>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容（英文）に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをマストレージ接続し、「PMHOME」- 「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

# 索引

## あ行

アイリスリング	33
アサインボタン	43
インカム通話	74
液晶画面	12
エラー表示	168
音声	32
オートホワイトバランス	36

## か行

海外で使う	139
外部モニター	89
顔検出 AF	12, 40
クリップ	30, 82, 83, 91
クリップ名	30
警告表示	168
ゲイン	34
結露	140
広角	30
コンセント	21

## さ行

サムネイル画面	81
自動追尾ホワイトバランス	35
出力信号	146
ショルダーストラップ	10
ズーム	30
ズームリング	31
ズームレバー	30
セットアップメニュー	95, 97, 101

## た行

タイムコード	39
タイムデータ	39
チャージャー	20
注意・動作確認表示	169
手ぶれ補正	39
時計	22

## な行

内蔵充電式電池	141
ノンリニア編集	92

## は行

バッテリーバック	20
ハンドルズーム	30
ハンドルズームスイッチ	30
ハンドルズームレバー	30
日付/時刻	22
ビデオフォーマット	146
ビューファインダー	12
視度調整つまみ	23
ピント拡大	32
フォーカスリング	31
フォーマット (初期化)	25, 26, 27
プランニングメタデータ	53
プリセットモード	35
ヘッドホン端子	32
望遠	30
ホワイトバランス	35

## ま行

メディアアダプター	26
メモリー A モード	35
メモリー B モード	35
モニター音量	32

## や行

ユーザービット	39
---------	----

## ら行

レンズ	141
レンズカバー付きフード	22
録画ボタン	29

## A

AC アダプター	21
All File	51, 126
All Reset	138
Aperture	111
Assignable Button	43, 136
ATW	35
Audio Input	113
AUDIO INPUT1 端子	37
AUDIO INPUT2 端子	37
Audio Output	114
Audio メニュー	113
Auto Black Balance	105

Auto Exposure ..... 103

## B

Battery Alarm ..... 138

Black ..... 107

Black Gamma ..... 108

## C

Camera メニュー ..... 102

Change Thumbnail View ..... 122

Clip ..... 124

Clip Continuous Rec ..... 120

Clock Set ..... 137

Color Bars ..... 104

Customize View ..... 123

## D

Delete Clip ..... 122

Detail (HD mode) ..... 110

Detail (SD Mode) ..... 111

Display Clip Properties ..... 84, 122

Display On/Off ..... 117

Down Converter ..... 115

## F

Face Detection AF ..... 12, 40

File メニュー ..... 126

Filter Clips ..... 122

Flicker Reduce ..... 104

FOCUS スイッチ ..... 31

Format Media ..... 123

Full MF モード ..... 31

## G

Gain ..... 102

GAIN スイッチ ..... 34

Gamma ..... 108

GENLOCK/VIDEO 端子 ..... 89, 149

GPS ..... 138

## H

Handle Zoom ..... 105

HDMI OUT 端子 ..... 89, 147

HDMI TC Out ..... 119

Hours Meter ..... 137

## I

INPUT1 スイッチ ..... 37

INPUT2 スイッチ ..... 37

IRIS スイッチ ..... 33

## K

Knee ..... 109

## L

Language ..... 137

LCD Setting ..... 115

LCD/VF メニュー ..... 115

Lock / Unlock Clip ..... 122

## M

Maintenance ..... 112

Marker ..... 116

Matrix ..... 112

MEAD-SD02 ..... 27

Media Full ..... 25

Media Near Full ..... 25

Media メニュー ..... 123

MENU ボタン ..... 97

Multi Matrix ..... 112

## N

ND Filter ..... 102

ND フィルター ..... 34

Network メニュー ..... 127

## O

Output Display ..... 114

Output Format ..... 114

Output On/Off ..... 114

## P

Paint メニュー ..... 106

Peaking ..... 115

Planning Metadata ..... 125

Proxy Recording Mode ..... 121

PUSH (レンズフード取り外し) ボタン  
..... 22

## R

Rec Format ..... 133

Recording メニュー ..... 119

## S

Scene File ..... 51, 126

SD カード ..... 27

SDI OUT 端子 ..... 89, 146

SEL/SET ダイアル ..... 97

Set Clip Flag ..... 122

Set Index Picture ..... 122

Set Shot Mark ..... 122

Shutter ..... 103

Simul Rec ..... 120

Skin Detail ..... 111

SLOT SELECT ボタン ..... 24

SxS メモリーカード ..... 24

System メニュー ..... 133

S&Q Motion ..... 119

## T

TC/UB メニュー ..... 119

Thumbnail メニュー ..... 122

Time Zone ..... 22

Timecode ..... 119

## U

Update Media ..... 123

USB ケーブル ..... 91

USB ワイヤレス LAN モジュール ..... 59

User File ..... 50, 126

User メニュー ..... 101

Users Bit ..... 119

UTC ..... 22

## V

Version ..... 138

VF Setting ..... 115

Video Light Set ..... 105

Video メニュー ..... 114

VOLUME ボタン ..... 32

## W

WB SET ボタン ..... 35

Web リモコン ..... 76

White ..... 106

White Clip ..... 109

White Switch ..... 107

WHT BAL スイッチ ..... 36

## X

XQD メモリーカード ..... 26

## Z

Zebra ..... 117